

# 松倉中学校支障物件移転工事

## 図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A- 001	特記仕様書-1	A- 029	体育倉庫・部室 展開図－2	E- 001	電気設備工事仕様書（１）
A- 002	特記仕様書-2	A- 030	体育倉庫・部室 雑詳細図・家具図	E- 002	電気設備工事仕様書（２）
A- 003	特記仕様書-3	A- 031	体育倉庫・部室 構造特記仕様書	E- 003	電気設備工事仕様書（３）
A- 004	特記仕様書-4	A- 032	体育倉庫・部室 基礎伏図	E- 004	凡例・開閉器盤結線図
A- 005	特記仕様書-5	A- 033	体育倉庫・部室 土台伏図	E- 005	照明器具姿図
A- 006	特記仕様書-6	A- 034	体育倉庫・部室 小屋伏図	E- 006	（現況）構内配電線路 系統図
A- 007	特記仕様書-7	A- 035	体育倉庫・部室 母屋伏図	E- 007	【移転後】構内配電線路 系統図
A- 008	特記仕様書-8	A- 036	体育倉庫・部室 基礎詳細図	E- 008	（現況）構内通信線路 系統図
A- 009	特記仕様書-9	A- 037	体育倉庫・部室 金物配置図	E- 009	【移転後】構内通信線路 系統図
A- 010	案内図	A- 038	体育倉庫・部室 構造軸組図－1	E- 010	（現況）配置図（１）
A- 011	敷地求積図	A- 039	体育倉庫・部室 構造軸組図－2	E- 011	（現況）配置図（２）
A- 012	敷地面積表	A- 040	バックネット 詳細図	E- 012	【移転後】配置図（１）
A- 013	建物 求積図・面積表	A- 041	防球ネット 詳細図－1	E- 013	【移転後】配置図（２）
A- 014	（現況）全体配置図	A- 042	防球ネット 詳細図－2		
A- 015	【移転後】全体配置図	A- 043	国旗掲揚台 詳細図	参考図	【撤去】体育倉庫
A- 016	（現況）配置図－1	A- 044	野球ベース 詳細図		
A- 017	【移転後】配置図－1	A- 045	外構詳細図－1		
A- 018	（現況）配置図－2	A- 046	外構詳細図－2		
A- 019	【移転後】配置図－2	A- 047	【撤去】防球ネット 詳細図		
A- 020	体育倉庫・部室 仕様書・仕上げ表	A- 048	【撤去】バックネット・国旗掲揚台 詳細図		
A- 021	体育倉庫・部室 平面図	A- 049	【撤去】鉄棒、PU型側溝 詳細図		
A- 022	体育倉庫・部室 屋根伏図	A- 050	仮設計画図－1		
A- 023	体育倉庫・部室 立面図－1	A- 051	仮設計画図－2		
A- 024	体育倉庫・部室 立面図－2	A- 052	工事計画図【参考図】		
A- 025	体育倉庫・部室 断面図	A- 053	工事計画工程表【参考図】		
A- 026	体育倉庫・部室 矩計図	A- 054	平均地盤算定（日影図）【参考図】		
A- 027	体育倉庫・部室 建具図	A- 055	時刻日影図【参考図】		
A- 028	体育倉庫・部室 展開図－1	A- 056	等時間日影図【参考図】		

建築工事特記仕様書

No. 1/8

I 工 事 概 要

1. 工事名称

松倉中学校支障物件移転工事（建築）

2. 工事場所

岐阜県高山市上岡本町 地内

3. 用途地域

二種住居、準工業

4. 防火地域

・防火地域

・準防火地域

・指定なし

・

5. 工事種別

○新 築

・増 築

・改 修

・耐震改修

・

6. 敷地面積

27,609.24 m<sup>2</sup>

7. 建物概要

体育倉庫（撤去・新設）72.0 m<sup>2</sup> 防球ネット、照明設備（撤去・新設）1.0 式  
バックネット、野球ベース（撤去、新設）1.0 式 国旗掲揚台（撤去、新設）1.0 式  
排水側溝（撤去、新設）1.0 式 植栽（一部撤去）1.0 式  
鉄棒（撤去）1.0 式 グラウンド整地 1.0 式

3) 付属施設

8. 別途工事

・電気設備工事

・給排水衛生設備工事

・空調調設備工事

・ガス設備工事

・カーテン取付工事

・植栽工事

・外構工事

・

※本工事の工期は設備工事の工期と工事検査期間としての14日を含んでいる。  
※契約締結後 14 日以内に実施工程表を提出する。

9. 消防法に基づく防火対象物

消防法施行令別表ー（ー）項

1 0. その他

高山土木事務所の国道拡幅工事に合わせて行う工事であるため、高山土木事務所と工程を調整し、施工を行うこと。

II 建 築 工 事 仕 様

1. 共通仕様

(1) この特記仕様書、図面及び現場説明書（質疑応答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（令和7年版）{以下「標仕」という}、公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）{以下「改標仕」という}による。  
電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

(2) 設計図書間に相違がある場合の優先順位は次による。  
1) 質疑回答書 5) 図面  
2) 現場説明書 6) 標仕  
3) 特記仕様書 7) 改標仕  
4) 標準特記仕様書（添付された場合に限り）  
参考内訳書、参考数量書、事後公開資料等は設計図書に含まないものとする。  
入札時に設計図書間に相違がある場合、契約後の着手前協議において設計図書の優先順位に基づき調整を行い、工事着手後の設計図書以外の資料（参考内訳書、参考数量書、事後公開資料等）に基づく増減は行わないものとする。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

(6) ⊞印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章

項

特 記 事 項

①

①

適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁営繕部建築課監修 最新版）

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修）

○建築物解体工事共通仕様書、同解説（平成31年版）

②

②

工事実績データ作成

工事実績データの作成、登録（請負金額500万円以上の場合をいう）受注時又は変更時において、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム（(財)日本建設情報総合センター）に基づき、受注、変更、完成後10日以内に、訂正時は適宜、登録機関に登録申請しなければならない。（ただし、工事請負金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は変更時の提出を省略できる。

③

③

概成工事

・総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。

④

④

品質計画

・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。(1.2.2)  
※風速（Vo＝30）  
※地表面粗度区分（ⅠⅡⅢⅣ）  
・積雪区分 告示第1455号 別表（1.9m）(1.2.2)

⑤

⑤

施工計画書  
施工図等

※次に該当する工事の施工計画書、施工図等を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。  
○仮設工事・鉄骨プレス工事・増設RC壁設置工事・柱打増し工事・リフト設置工事・撤去工事  
○土工事・地業工事○鉄筋工事○コンクリート工事・鉄骨工事・ALCパネル工事・防水工事  
○石、タイル工事○木工事○屋根及びとい工事・金属工事○建具工事○塗装工事○内装工事  
・ユニット工事○外構工事○解体工事・耐震工事・アスベスト処理○その他監督員の指示するもの

⑥

⑥

施工管理技術者

※適用する適用しない

⑦

⑦

電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。  
○要不要

8

8

条件明示項目

①

⑨

施工中の安全確保及び環境保全

※次の工種の工事の工事を施工する場合は、工事車両の通行する各所に保安員を配置して（1.3.7）通行者の安全確保を図る。  
○仮設工事○コンクリート工事・鉄骨工事  
○主要資材の搬入搬出が頻繁に行われる時○その他必要と認められる時

⑩

⑩

発生材の処理等

産業廃棄物の適正処理について  
受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現場確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分場に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。  
※引き渡しを要するもの（金属類○PCB含有物）  
○特別管理産業廃棄物（※廃石棉）  
・現場にて再利用を図るもの（）  
・再生資材の活用を図るもの（）  
○アスベスト成型板としての処理を要するもの  
※解体特記による  
・PCB含有シーリング材の分析調査  
・第一次調査  
現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う  
採取箇所数（計箇所）  
採取場所（※図示）  
・第二次調査  
専門分析機関にてPCB含有の分析を行う  
分析個数（計個）  
・除去処理工事  
撤去工法「標準施工要領書（日本シーリング工業共同組合連合会/日本日本シーリング材工業会）」による。  
除去範囲（※図示・）  
※建設副産物情報交換システム（COBRIS）  
本工事は、建設副産物情報交換システム（以下「システム」という。）の登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。監督職員への報告（提出）はシステムにより作成した〔再資源利用計画書（実施書）〕及び〔再資源利用促進計画書（実施書）〕により行うものとする。  
本工事の施工にあたっては「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。  
※特定建設資材の再資源化等  
本工事が、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法第104条以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事（以下「対象工事」という。）である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずるものとする。  
また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等完了した年月日、再資源化をしたしせつの名称及び所在地、再資源化に要した費用を書面に監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式2〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。  
本工事が、「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。  
工事の施工に先立ち、建物及び敷地周辺の記録写真を十分に撮影し既存築造物部分、工事目的物の施工済み部分等に汚染又は損傷を与えた場合は、請負者の責任において構造及び仕上げを原型に復旧する。  
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJISマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。  
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること  
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること  
（3）安定的な供給が可能であること  
（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること  
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること  
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること  
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。  
ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。  
使用資材（木材）について  
本工事において使用する木材は、岐阜証明材推進制度実施要領（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知。以下「要領」という。）第12条により証明された木材の使用に努めること。  
ただし、岐阜証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要綱（平成13年8月1日森第351号農山村整備局長通知。平成19年3月31日付で廃止。）第8条による認証を受けたものについては、要領第12条により証明されたものとみなす。  
木材は高山市産材（県産材）の使用に努めること。  
本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は、高山市内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は高山市内での生産品（高山市内での生産のないものにあつては、岐阜県産）を選定するよう努めること。  
室内に使用する合板、接着剤等は揮発性有機化合物（VOC）の放出量の少ない材料とし、監督員の承諾を受けること。  
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1）から5）を満たすものとする。  
1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。  
4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。

①

一般共通事項

⑭

⑭

特別な材料の工法

⑮

⑮

技能士

⑯

⑯

施工の検査等

監督員の指示による(1.5.5)

⑰

⑰

施工の立会等

監督員の指示による(1.5.7)

⑱

⑱

施工調査

※施工計画調査  
本工事当該部位及び関連部位について既存施設(埋設配管等を含む)について事前調査、情報収集を行う。  
・埋設配管の試験掘※行わない・行う（範囲、復旧方法・図示・）  
・外壁改修施工数量調査  
調査範囲※全面・図示  
調査項目※びり割れ部  
（幅0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）  
※はがれ及び剥落部、浮き部  
※シーリング剥離等  
・  
調査方法目視及びミリスケール等  
足場※「2章仮設工事1足場」による  
・防水改修施工数量調査  
調査範囲※全面・図示  
調査項目※図示  
調査方法・図示  
  
報告書監督職員に3部提出する（立面図等に記載、必要に応じ写真を添付）  
調査業者外壁、防水については、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。  
  
○別途工事などの学校施設の着工前調査

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図名	特記仕様書ー1		
縮尺	ー	番号	69 枚の内 A-001 号
設計年月日	令和8年3月		
設計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹		
高山市			

建築工事特記仕様書

No. 2/8

章

項

特記事項

①

19

化学物質の濃度測定

下記化学物質について厚生労働省の指針値以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に報告すること。

又、濃度が基準値以上だった場合は、請負業者が直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用は全て請負者の負担とする。

測定対象化学物質	厚生省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	100 $\mu$ g/m <sup>3</sup> (0.08ppm) 以下
トルエン	260 $\mu$ g/m <sup>3</sup> (0.07ppm) 以下
キシレン	870 $\mu$ g/m <sup>3</sup> (0.20ppm) 以下
パラジクロロベンゼン	240 $\mu$ g/m <sup>3</sup> (0.04ppm) 以下
スチレン	220 $\mu$ g/m <sup>3</sup> (0.05ppm) 以下
エチルベンゼン	3800 $\mu$ g/m <sup>3</sup> (0.88ppm) 以下

検査確認場所

測定箇所数 ・ 図示

測定回数 ・ 着工前 ※着工後 1回以上

測定方法 ※パンプン採取による蒸気拡散式分析法 ・ 厚生労働省の標準法

換気 測定対象室を30分間換気した後、すべて窓及び扉を5時間閉鎖する。

ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は開放したまとする。

測定 測定は、次のイからロによる。

イ) 測定は、「閉鎖」の状態のままで行う。

ロ) 測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定(10時30分～18時30分)とする。

測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。

②0

完成時の提出書類

○高山市ホームページに指定する。

○完成図(施工図、施工計画書を除く) ※新規に作成 ・ 既存完成図を修正記載内容について、監督職員と協議する。

完成図CADデータ(CD-R)

○保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・ 各 部)

○施工図

本工事に係る施工図の著作権の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。

提出部数は、施工図の原因及びその謄画複写図(1部)とする。ただし、製作図で原因図として提出ができないものは、原因にかわるものとしてよい。

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
○カラー ※キャビネ版 ※べた焼	外部( ) 内部( )	※2 ・ 6	※100×125以上
(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)			
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部( ) 内部(各室2) その他監督職員の指示による	※2	
○電子データ	外部( ) 内部( )	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

②1

完成写真

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
○カラー ※キャビネ版 ※べた焼	外部( ) 内部( )	※2 ・ 6	※100×125以上
(他に外観正面1カットのみ5枚(カラーキャビネ版)提出)			
※カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部( ) 内部(各室2) その他監督職員の指示による	※2	
○電子データ	外部( ) 内部( )	※2	※200万画素以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)

②2

設備工事との取合い

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

②3

設計G L

※図示 ・ 設計G L＝現状G L

②4

工事写真

・「営繕工事電子納品要領(案)(平成14年11月改訂版)」による。

②

①

工事現場仮囲い

現場仮囲い ・ ナイロンロープ張り ・ 木製仮囲い ○鋼製仮囲い ・ しない

②

監督員事務所(2.3.1)

監督員事務所の概要

・設ける(  $\text{m}^2$ 程度) ○設けない

・備品等( ・ 冷房 ・ 暖房 ・ 冷暖房 ・ 机、椅子 ・ Wi Fi通信 ・ )

③

受注者事務所等

受注者事務所等 ○敷地内へ建てることできる。 ・ できない

④

工事用水(2.3.1)

構内既存の施設 ○有償で利用できる ・ 無償で利用できる ・ 利用できない(副メーター設置等)

⑤

工事用電力

構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ・ 無償で利用できる ○利用できない

⑥

引渡しまでの光熱水費

光熱水費 ・ 本引込みより引渡しまでの基本料金 ※受注者負担 ・ 別途

・ 本引込みより引渡しまでの使用料金 ※受注者負担 ・ 別途

⑦

安全対策

・ 工事中は第三者の安全確保に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。

・ 敷地内の工作物は必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任にて復旧する。

・

⑧

足場その他(2.2.4)

※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について 」(厚生労働省平成21年4月)の手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

⑨

現況確認

・ 工事の着手に先立ち、監督員立会いのうえ図面に基ついて敷地や周辺の状況及び高低差などを確認する。

⑩

工事現場の表示(2.3.1)

現場の見えやすい位置に、監督員が指示する次の表示板(900mm×600mm以上)を設置する。

※工事名称、発注者等を示す表示板 ・ 工事概要等の説明看板

⑪

確認済みの表示

工事現場の適切な場所に、建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。

③

①

埋戻し及び盛土(3.2.3)(表3.2.1)

種 別 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種

D種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化工材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う。

②

建設発生土の処理(3.2.5)

※構外搬出適切処理(再資源化処理施設へ搬入する) ・ 構内指示の場所に敷きならし

・ 構内指示の場所に堆積

③

建設発生土処分先(3.2.5)

※当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。

搬出場所 関係法令等に従い、適切に処理する公の関与する埋立地に搬出するものとする。

搬出先は、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、計量伝票等をまとめ完成時に提出する。

④

①

基礎

基礎の種類 ○ベタ基礎 ・ 布基礎 ・ 独立基礎 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (1)直接基礎による

※直接基礎( ・ 地盤改良( ・ 表層改良 ・ 鋼管改良 ・ 柱状改良 ・ ) )

支持地盤の位置及び種類(ラッフルコンクリートの底面位置含む)

※構造図による

支持地盤の設計地耐力 30 KN/㎡

・ 杭基礎 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (2)杭基礎による

支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端位置含む)

※構造図による(試験杭位置含む)

2

試験及び報告書(4.2.2～4.2.4)

試験杭 位置、本数及び寸法 ・ 最初の1本 ・ 図示による

杭の載荷試験 ※行わない ・ 図示による

地盤の載荷試験 ※行わない ・ 図示による

3

既製コンクリート(4.3.2)(4.3.6)

設計支持力 KN/本(φ )

杭地業

支持力の算定方法 ※平成13年国土交通省告示第1113号による。

支持地盤の位置及び種類 ※図示による ・

杭の水平方向への位置ずれの精度 ※図示による ・

杭の種類

・ PHC 杭

・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭

規格・材質など

・ JIS規格品 ・ 評価品

・ A種 ・ B種 ・ C種

長さ(m)

断面寸法(mm)

長期設計支持力(KN/本)

継手

・ なし ・ あり( 箇所)

工法

・ アーク溶接 ・ 無溶接継手( )

先端部形式及び形状

・ 開放形 ・ 閉そく平たん形

(4.3.7)

杭頭の処理

※行わない ・ 行う

(4.3.4)

工法

・ セメントミルク工法

支持地盤への掘削深さ m 根入れ深さ m

(4.3.5)

・ 特定埋込杭工法 定められた条件に基づく責任施工とする。

・ プレボーリング拡大根固め工法

・ 中掘り拡大根固め工法

・ 回転根固め工法

4

場所打ちコンクリート杭地業(4.5.1)(4.5.2)(4.5.4)

施工管理技術者 ※適用する ・

工法

・ アースドリル工法 ・ リバース工法

・ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・ 拡底杭工法

鉄筋の種類

※5章「鉄筋工事」による。

※図示による ・

最小かぶり厚さ

・ 100 mm ・ 125 mm ・ mm

設計基準強度

N/㎡

コンクリートの種類

・ A 種 ・ B 種

構造体強度補正値(S)

※図示による ・ 3 N/㎡

孔壁の超音波測定

・ 適用する ・ 適用しない

⑤

砂利及び砂地業(4.6.3)(4.6.2)

厚さ(mm) ※60

○100 ・ 50 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

材料

○直接基礎

※切込砂利又は切込碎石

○その他

※再生クラッシャーラン

・ 構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

⑥

捨コンクリート地業(4.6.4)

厚さ(mm) ※50

・ 30 ・ 構造設計標準仕様書 4章 (4)各部の地業による

⑦

床下防湿層(4.6.5)

材料

○ポリエチレンフィルム 厚さ(mm) ※0.15 mm ・

⑧

断熱材

断熱材 押出法ポリスチレンフォーム3種b t50

※19章「内装工事」9項「断熱材」による。

⑤

①

鉄筋の種類(表5.2.1)

※JIS G 3112 のJIS表示認証製品

鉄筋の種類 ○下表による ・ 構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

類 別

種 別

径(mm)

異形鉄筋

○ SD295A

D10以上

・ SD295B

・ SD345

・ SR235

丸鋼

②

溶接金網(5.2.2)

※JIS G 3551 のJIS表示認証製品

溶接金網

・ 下記による ・ 構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

網目の形状、寸法及び径(mm) ・ 100x100x6

施工場所( )

⑤

鉄筋工事

3

柱・梁の鉄筋の継手(5.3.4)

鉄筋の継手 ・ 構造設計標準仕様書 2章 (3)鉄筋の表による

継手位置

・ ガス圧接(SD295Aは不可) ・ 重ね継手 ・ 機械式継手

※鉄筋工事仕様書による。 ・ 各部配筋参考図 ・

4

梁貫通孔補強

貫通孔補強 ※鉄筋工事仕様書による。 ・ 各部配筋参考図 ・

5

圧接完了後の検査(5.4.9)

検査方法 ※超音波深傷試験 ・ 引張試験

6

柱の帯筋

柱の帯筋 ・ 構造設計標準仕様書 5章 (2)柱の帯筋(H00P)の加工方法による

・ 組み立ての形はS P形とする。(鉄筋工事仕様書による)

・ H型(タガ型) ・ W型(溶接型) ・ I形 ・ II形 ・ III形 ・ 丸形

⑥

①

コンクリートの強度(6.2.2)(6.2.4)(表6.2.2)

コンクリート ○下記による ・ 構造設計標準仕様書 2章 (1)コンクリートの表による

※普通コンクリート

設計基準強度 Fc(N/㎡)

スランブ(cm)

適用箇所

○ 21

18

基礎・躯体

土間

捨てコン、ラッフル

(6.10.1～6.10.4)

②

コンクリートの種類(6.2.1)(表6.2.1)

※軽量コンクリート

設計基準強度 Fc(N/㎡)

種類

スランブ(cm)

適用箇所

・ 1種 ・ 2種

※構造体コンクリートの強度は、材令91日において設計基準強度以上とする。

※屋根床版のスランブは15 cmとする。

③

水セメント比(6.3.2)

※I類 ・ II類

④

コンクリート中の塩化物量(6.3.2)

※0.30kg/㎡以下

⑤

コンクリートのアルカリ総量(6.5.4)

・ アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、

コンクリート中の総アルカリ量を3.0 kg/㎡以下とする。

⑥

コンクリートの仕上り(6.2.5)(表6.2.3)(6.9.6)

打放し仕上りの種別

※合板せき板を使用する場合

種 別

せき板の種類

表面・せき板の程度

適用箇所

・ A種 J A S (表面加工品)

表6.2.4

※ 図示 ・

※ B種 J A S B-C

表6.2.4

・

・ C種 J A S B-C

表6.2.4

・

⑦

コンクリートの材料(6.3.1)

セメント ※普通ポルトランドセメント ・ 混合セメントA種

混和材料

※A E 剤、A E 減水剤又は高性能A E 減水剤(J I S A 6204)

※フライアッシュ(J I S A 6201) I 種、II 種若しくはIV 種

※高炉スラグ微粉末(J I S A 6206)

※シリカフューム(J I S A 6207)又は膨張材(J I S A 6202)

⑧

コンクリート製造工場の選定(6.4.1)

※コンクリート製造工場の選定は、監督員の承諾を受ける。

⑨

強度(6.3.2)(表6.3.2)

構造体強度補正値 S(N/㎡)

4～10月

11月

12月

1月

2月

3月

全て

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

上旬

中旬

下旬

普通ポルトランドセメント

一般地域

3.0

6.0

3.0

早強ポルトランドセメント

北部地域

3.0

6.0

3.0

その他

3.0

6.0

3.0

・ 一般地域：

・ 北部地域：

・ その他：

○飛騨地域基準による

※日平均気温の平年値が25℃を超える期間にコンクリートを打ち込む場合

構造体強度補正値 S(N/㎡)

6.0 N/㎡

10

暑中コンクリート(6.12.1～6.12.4)

11

寒中コンクリート(6.11.1～6.11.6)

適用期間(飛騨地域基準による)

工事名

松倉中学校支障物件移転工事

図 名

特記仕様書－2

縮 尺

－

番 号

69 枚の内 A-002 号

設 計 年 月 日

令和8年3月

設 計

株式会社 斐太プランニング

一級建築士 第268975号 門 秀樹

高 山 市

建築工事特記仕様書 No. 3/8

章		項	特 記 事 項													
⑥ コン ク リ ー ト 工 事	⑫	コンクリートの強度試験 (6.9.1～6.9.5)	※「建築標準仕様書」表 6.9.2 による。													
	13	外部に面する コンクリート 打放し仕上	※打増厚さ (mm)	※20	・											
	⑭	型枠のせき板 (6.8.3)	せき板の材料 ※合板 (12mm) ・合板 (15mm) ・ ・床型枠用鋼製デッキプレート ( 実績等の資料を提出 ) ・メッシュ型枠 ( 25mm以下かつ熱抵抗値 1m <sup>2</sup> ℃/Kcal 以上 ) ・断熱材兼用型枠 ( ) ・MCR工法用シート ( 気泡発泡ポリエチレンシート )													
	15	マスコンクリート (6.13.2)	セメントの種類 ( ) 適用箇所 ( )													
	16	水密コンクリート	<table><tr><td>水セメント比 ( /wt)</td><td>スランプ (cm)</td><td>適 用 箇 所</td></tr><tr><td>※ 50 ・</td><td>※ 15 ・</td><td></td></tr></table>			水セメント比 ( /wt)	スランプ (cm)	適 用 箇 所	※ 50 ・	※ 15 ・						
	水セメント比 ( /wt)	スランプ (cm)	適 用 箇 所													
	※ 50 ・	※ 15 ・														
17	打継部	止水板 止水ゴムの製造所 ( ) 適用箇所 ( ) 打継ぎ目地 ※図示 ・幅20mm以上 深さ10mm以上 ・														
18	無筋コンクリート (6.14.1～6.14.3)	適用箇所 ・図示 ※「建築標準仕様書」 6.14.1 による 粗骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水保護コンクリートの場合) ※25mm ・ コンクリートの品質 <table><tr><td>種 類</td><td>設計基準強度 Fc (N/mm<sup>2</sup>)</td><td>スランプ (cm)</td><td>適 用 箇 所</td></tr><tr><td>普通コンクリート</td><td>18</td><td>・ 15 ・ 18 ・ ・</td><td>・捨コン ・配管埋設用コンクリート</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			種 類	設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	適 用 箇 所	普通コンクリート	18	・ 15 ・ 18 ・ ・	・捨コン ・配管埋設用コンクリート				
種 類	設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	適 用 箇 所													
普通コンクリート	18	・ 15 ・ 18 ・ ・	・捨コン ・配管埋設用コンクリート													
19	流動化コンクリート (6.15.1～6.15.3)	・適用 ( )														

7鉄骨工事

1鉄骨製作工場及び  
施工管理技術者  
(7.1.3～7.1.4)

2鋼材  
(7.2.1) (表7.2.1)

3高力ボルト  
(7.2.2)

4普通ボルト  
(7.2.3)

鉄骨製作工場  
・構造設計標準仕様書 6章 (2) 製作工場による  
・次表による加工能力のある工場  
・監督員の承諾する工場

製作工場の 加工能力	建築基準法第77条の4第5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵鋼工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Rグレード」以上として国土交通大臣から認定を受けた工場又工事現場対象地域の都道府県の鉄構工業会会員企業の工場
---------------	--

施工管理技術者  
※適用する  
・適用しない

鋼材の種類  
・次表による鋼材  
・構造設計標準仕様書 2章 (4) 鉄骨鋼材表による

材 質	規 格	使 用 箇 所
・SS 400 ・SM 400	※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
・SSC 400 ・	※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
・STK 400 ・STKR 400	※ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
・BCR 295 ・BCP 325	・ J I S 規格品 ※ J I S 規格品以外	・図示 ・
・SN490C	・ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
・SN490B	・ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
	・ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
	・ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・
	・ J I S 規格品 ・ J I S 規格品以外	・図示 ・

J I S 規格品以外の場合  
※試験を行う  
・試験を行わない  
※BCR 295 及び BCP 325 は 一般社団法人日本鉄鋼連盟の製品規定で大臣認定品とする  
BCR295 : 「建築構造用冷間ロール成形角形鋼管」BCRは、200mm×6mm～550mm×25mm  
BCP235, 325 : 「建築構造用冷間プレス成形角形鋼管」BCPは、350mm×12mm～1000mm×40mm  
※BCR 295 及び BCP 325 は 監督員の承諾のもと大臣認定品の証明書類一式とメーカーのミルシートにより上記の試験を省略することができる。

高力ボルトの種類  
・下記による高力ボルト  
・構造設計標準仕様書 2章 (5) ボルトによる  
・トルネア形高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (S10T) ・ )  
・ J I Sの高力ボルト (セットの種類 ※ 2種 (F10T) ・ )  
・溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種類 ※ 1種 (P8T 相当) ・ )  
ボルト径 ※図示による。 ・

普通ボルトの種類  
・下記による普通ボルト  
・構造設計標準仕様書 2章 (5) ボルトによる  
ボルト及びナットの材料等 ※「建築標準仕様書」表7.2.3 による ・  
ボルト径 ※図示による。 ・

章		項	特記事項			
7 鉄骨工事	5	アンカーボルトの材質及び設置 (7.2.4)(7.10.3)	アンカーボルトの種類 ・下記によるアンカーボルト      ・構造設計標準仕様書 2章 (5) ボルトによる アンカーボルトの材質 構造用アンカーボルト                  ・ S N R 400                  ・ 建方用アンカーボルト                 ・ S S 400                  ・			
		(表7.10.1)	構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法 			

8

C B・A L C パネル・押出成形セメント板工事

1

コンクリート  
ブロック  
(8.2.2)(8.3.2)  
  
(8.3.3)

フックの種類及び厚さ

- ・次記の種類及び厚さによる

※空洞ブロック16

・構造設計標準仕様書 2章 (2) コンクリートブロック (CB) による

- ・空洞ブロック16-W
- ・空洞ブロック08

種類・厚さ	適用箇所	備考

各部の配筋

※図示による。

2

A L C パネル  
(8.4.2～7)  
(表8.4.2～4)

A L C パネルの種類等

- ・次表の種類及び厚さ等による

・構造設計標準仕様書 2章 (B) 屋根、床材、壁による

種類	厚さ(mm)	単位荷重(N/㎡)	耐火性能	工法種別
・外壁用				・A種   ・B種
・間仕切用				・C種   ・D種   ・E種
・屋根用			30分	「建築標準仕様書」表8.4.4
・床用				「建築標準仕様書」表8.4.4

外壁用、屋根用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法製造所

※図示による。

3

押出成形  
セメント板(E C P)  
(8.5.2～5)  
(表8.5.1～2)

押出成形セメント板の種類等

種類	表面形状	厚さ(mm)	耐火性能	取付工法の種別
・外壁	※フラットパネル			・A種   ・B種
	・デザインパネル(図示)			
・間仕切壁	※フラットパネル			・B種   ・C種
	・デザインパネル(図示)			

外壁用の建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法製造所

※図示による。

9  
防  
水  
工  
事

1  
アスファルト防水  
(9.2.2)  
(表9.2.1～表9.2.10)

2  
改質アスファルト  
シート防水  
(9.3.2～3)  
(表9.3.1～3)

3  
合成高分子系  
ルーフィング  
シート防水  
(9.4.2～4)  
(表9.4.1)

(9.4.2～4)  
(表9.4.2)

4  
塗膜防水  
(9.5.2～4)  
(表9.5.1)

5  
ケイ酸質系塗膜防水  
(9.6.2～4)  
(表9.6.2)

6  
漏水試験

7  
シーリング用材料  
(表9.7.1)

特  
記  
事  
項

防水層の種類及び工程  

種 別	施 工 場 所	備 考

- ・ 屋根保護防水層（断熱工法）の断熱材（オゾン層を破壊する物質を使用しないもの）
- ・ 材質   ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種1号（JIS A9511）
  - ・ A種硬質ウレタンフォーム保温材保温板2種2号（JIS A9511）
- ・ 厚さ       ・ mm
- 防水立上り部の保護       ・
  - ・ ※乾式保護材

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	特記仕様書-3		
縮 尺	—	番 号	69 枚の内 A-00
設 計 年 月 日	令和8年3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		

高 山 市

## 建築工事特記仕様書 No. 4/8

章	項	特 記 事 項				
9	防 水 工 事					
		・押出し成形 セメント板	・押出し成形 セメント板	・仕上げなし	MS-2	変 成 シ リ コ ー ン 系
				・仕上げあり (注) 2	PU-2	ポ リ ウ レ タ ン 系
		・水回り	・浴室、浴槽		SR-1	シ リ コ ー ン 系 (注) 3
			・キッチン、キャビネット回り			
		・タイル	・タイル	(注) 3	PS-2	ポ リ サ ル フ ァ イ ド 系
		・アルミニウム製建具等の工場シール		(注) 4		
(注) 1. シーリング材の種類は、JIS A5758 (建築用シーリング材) による。						
2. 「仕上げあり」とは、シーリング材表面に珪土塗材、吹付け又は塗装等を行う場合を示す。						
3. 防かびタイプの1成分形シリコン系とする。						
4. 現場施工のシーリング材と打継ぎが発生する場合の工場シーリング材を示す。						
5. 材料引張強度の低いものは、50 %モジュラスが材料引張強度の 1/2以下のものを使用する。 なお、被着体がALCパネルの場合は、50 %モジュラスが0.2N/mm <sup>2</sup> 以下とする。						
6. ポリ塩化ビニル樹脂形材は、JIS A5558 (無可塑ポリ塩化ビニル製建具用形材) による。						
7. 異種シーリング材が接する場合は、監督員と協議する。						
8	シーリング材の試験 (9.7.5)	接着性試験		※簡易接着性試験      ・引張接着性試験		
9	保証年限	・アスファルト防水 ・合成高分子系ルーフィングシート防水 ・塗膜防水 ・ ・		10年 10年 10年 年 年		

10	石工事	1	天然石 (10.2.1) (10.2.1) (10.2.2)	・石材の品質 ※2等品 床 その他 ※1等品 ・石材の種類及び表面仕上げ
		2	取付け金物 (10.2.2) (表10.2.4)	乾式工法用金物式 ・スライド方式 ・ロッキング方式
		3	その他の材料 (10.2.3)	・石裏面処理材 ( ) ・裏材処理材 ( ) ・ドレンパイプの材質 ( ) ・金物固定充填材料 ( ) ・ ( ) ・ ( )

①  
タ  
イ  
ル  
工  
事

1

伸縮調整目地及び  
ひび割れ誘発目地  
(11.1.3)

・外壁の伸縮目地  
・図示による  
※下地ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地、構造スリットの位置及び他部材との取合い部には、誘発目地を設ける。

2

施工後の確認  
及び試験  
(11.1.5)

※打診による確認  
※屋外のタイル張り及び吹抜け部分  
・  
・  
・接着力試験 試験体の位置 ( )

③

陶磁器質タイル張り  
(11.2.2～11.4.2)

タイルの種類 ※標準色  
役物使用箇所 ※各部の形状は図示による

(11.2.2～11.3.7)

内 装	出隅 天端 (標準一体成型品以外は接着成型品とする)
外 装	出隅、窓台、マグサ

タイルの試験張り ※行わない ・行う ( )  
タイルの見本焼き ※行わない ・行う ( )  
・下地コンクリート素地面

適用タイル	駆 体 表 面	下地モルタル塗り	工 法
・小口タイル ・二丁掛タイル	・MCR工法 ・目荒し工法 (高圧水洗)	※ポリマーセメント ・モルタル下塗り ・行わない	※密着工法 ・改良圧着張り ・接着剤張り

MCR工法  
MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による。  
施工箇所の駆体の増打ちは、図示による。

目荒し工法  
高圧水洗による目荒しは、5.0N/㎡の水圧で2.5分/㎡とし、仕上り面の程度は監督員の承諾を受ける。  
施工箇所の駆体の増打ちは、図示による。

ポリマーセメントモルタルの調合は、「建築標準仕様書」15.2.3(b)による。

章		項	特記事項																																													
⑪ タ イ ル 工 事	4	セメントモルタル による陶磁器質 タイル張り (表11.2.2)	・タイル張りの種類及び工法																																													
			<table><tr><th colspan="2">施工箇所</th><th>形状 (mm)</th><th>きじ</th><th>うわぐすり</th><th>工法</th></tr><tr><td rowspan="4">壁</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※密着張り</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・改良積上げ張り</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・改良圧着張り</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ユニットタイル</td></tr><tr><td rowspan="2">床</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ユニットタイル</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・その他のタイル</td></tr></table>					施工箇所		形状 (mm)	きじ	うわぐすり	工法	壁					※密着張り					・改良積上げ張り					・改良圧着張り					・ユニットタイル	床					・ユニットタイル					・その他のタイル			
	施工箇所		形状 (mm)	きじ	うわぐすり	工法																																										
	壁					※密着張り																																										
						・改良積上げ張り																																										
						・改良圧着張り																																										
						・ユニットタイル																																										
	床					・ユニットタイル																																										
						・その他のタイル																																										
	5	接着材による 陶磁器質タイル張り (11.3.1)(11.3.2)	・タイル張りの種類及び工法																																													
		<table><tr><th colspan="2">施工箇所</th><th>形状 (mm)</th><th>きじ</th><th>うわぐすり</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					施工箇所		形状 (mm)	きじ	うわぐすり	その他																																				
施工箇所		形状 (mm)	きじ	うわぐすり	その他																																											
	(11.3.3)	・有機質接着剤の種類          ・タイプⅠ          ・タイプⅡ          ・その他 (          )																																														

⑫

木  
工  
事

①

適用基準等

○公共建築木造工事標準仕様書（国土交通省大臣官庁官庁営繕部）  
・  
・  
・

②

寸法

図面上の寸法は構造材はひき立て寸法，造作材は仕上り寸法とする。

③

表面仕上げ  
(12.1.4) (表12.1.1)

見え掛り面の表面仕上げ

⑫

木工事

建築工事特記仕様書

No. 5/8

章

項

特記事項

⑫木工事

⑨接合具等  
(12.2.2.a)

(12.2.2.b)

(12.2.2.C)

⑩防腐処理

⑪防蟻処理 (12.3.1)

⑫防虫処理 (12.3.2)

13鉄筋コンクリート造等の  
内部間仕切軸組  
及び床組  
(12.4.1)

14窓、出入口その他  
(12.5.1)

15床板張り  
(12.6.1)

⑬壁及び天井下地  
(12.7.1)

⑭県産材

⑮市産材

・構造用合板

厚さ (mm)	接着の程度	表面の品質又は等級
※12	・特類 ※1類	・1等 ※2等 ・1級 ※2級
・		

・パーティクルボード

厚さ (mm)	接着の程度	曲げ強さ
※12	・Mタイプ ・Pタイプ	・18タイプ ※13タイプ ・8タイプ
・		

・構造用パネル

厚さ (mm)	等級	備考
・	・	・
・		

接合具等  
釘  
○表面処理された鉄  
・ステンレス鋼  
・

木ねじ  
※ステンレス  
・

諸金物  
※亜鉛めっき品  
・

接着剤  
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆  
・F☆☆☆

○行う (土台より1mの範囲にある土台・柱・間柱等木材 (社) 日本木材保存協会認定の防腐剤を塗布) ・行わない

○行う (土台より1mの範囲にある土台・柱・間柱等木材 (社) 日本木材保存協会認定の防腐剤を塗布) ・行わない

○行う ( ) ・行わない

内部間仕切軸組及び床組に用いる木材  
・特記がなければ、杉又は松とする。ただし、土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引及び転ばし根太は、ひのき又は保存処理木材とする。  
・間仕切軸組に用いる木材 ( )  
・床組に用いる木材 ( )

窓、出入口その他に用いる木材  
・特記がなければ、吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉とする。  
・窓、出入口その他に用いる木材 (杉)

床板張りに用いる木材  
・特記がなければ、ひのきとする。なお、フローリングは、19章5節「フローリング張り」による。  
・縁甲板及び上がりがまちに用いる木材 ( )

壁及び天井下地に用いる木材  
・特記がなければ、杉又は松とする。  
○壁下地に用いる木材 (杉)  
○天井下地に用いる木材 (杉)

(1) 構造材 (製材、構造用集成材) ・下地材・造作材に使用する木材料は、特記なき材以外全て市産材、岐阜県産材を使用する。  
(2) JAS規格を証明する書類(主要構造部100%)  
(3) 部材ごとに、岐阜県証明材推進制度実施要領に基づく「ぎふ証明材」であることを認証できる書類。  
(4) 平成19年3月31日以前に事業所等に納品された資材について  
県産材認証制度 (旧制度) による販売管理表又は伐採届けの写し、市場、製材工場等の納品伝票の写しなど、県産材であることを確認できる書類

・使用木材はすべて、原則市産材とし、監督員と協議の上決定すること。

⑬屋根及びとい工事

4ルーフドレン  
(13.5.3)

5鋼管製といの防腐  
巻工法部等の処理  
(13.5.2.C)  
(表13.5.4)

(13.5.3)

⑭金属工事

1あと施工アンカー  
(14.1.3)

②ステンレス  
(14.2.1)

3アルミニウム及び  
アルミニウム合金  
(14.2.2)  
(表14.2.1)

4鉄鋼の亜鉛めっき  
(14.2.3)  
(表14.2.2)

5軽量鉄骨天井下地  
(14.4.2)  
(表14.4.1)  
(14.4.4.h)

引抜き耐力の確認試験  
設計用引強度  
kgf/本

ステンレスの表面仕上げ

種 類	表面仕上げの種類	施 工 箇 所
○SUS304	HL (JIS)	図示
・SUS304	鏡面仕上げ	
・		

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

表面処理の種別	施 工 箇 所
・	
・	
・	

皮膜の品質試験  
・行う  
※行わない (試験成績書の提出)

鉄鋼の亜鉛めっきの種類

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
・		・	
・		・	

野縁などの種類 (JIS A 6517) 建築用鋼製下地材 (天井)  
屋外  
・19形  
※25形  
屋内  
※19形  
・25形

・天井のふところが1.5m以上の補強

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

・耐震性を考慮した補強 (特定天井)

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

・屋外における耐風圧を考慮した補強

適用箇所	仕様	適用箇所	仕様
・		・	
・		・	

軽量鉄骨壁下地  
(14.5.3)  
(表14.5.1)

スタッド、ランナーの種類 (JIS A 6517) 建築用鋼製下地材 (壁)  
・50形 (H=2.7m以下) ・65形 (H=4.0m以下) ・90形 (H=4.5m以下) ・100形 (H=5.0m以下)  
※スタッド 50 形は、ボード片面張りの場合に適用する。  
※ランナー、振れ止め等の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。  
※出入口及びこれに準ずる開口部の補強材の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。  
※補強材取付け用金物の種類は、「建築標準仕様書」表 14.5.1 によるスタッドの種類に準じる。

金属成形板張りの種別  
・

種 別	アルミスバンドレル (既製品)	施 工 箇 所
製 法	・押し形材 ・板曲げ	
寸 法 (mm)	板幅 板厚	
形 状		
表 面 処 理		
伸 縮 継 手	※設けない ・設ける (場所は図示)	

アルミニウム製笠木の種類  
※押出形材  
・曲げ材  
部材の種類  
・250 形 (呼称肉厚は 1.6以上)

14金属工事

⑮左官工事

1モルタル塗り  
(15.2.2)

2防水モルタル塗り

3セルフレベリング  
材塗り  
(15.4.2) (表15.4.1)

⑯仕上塗材仕上げ  
(15.5.2.a)

(15.5.2) (表15.5.1)

(15.5.2) (表15.5.1)

(15.5.2) (表15.5.1)

(15.5.2) (表15.5.1)

(15.5.2) (表15.5.1)

(15.5.4)  
(15.5.7) (表15.5.4)

材料  
吸水調整材の品質  
既製品地材  
形状、寸法

※「建築標準仕様書」表15.2.2による  
・使用しない  
・使用する

( )

防水剤  
※実績等の資料を監督員に提出する

セルフレベリング材の種類

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・セメント系	※ 10	・
・石こう系	※ 10	・

仕上塗材材料  
内装仕上に用いる塗材のホルムアルデヒド放散量  
※F☆☆☆☆  
・  
防火材料：屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく、基材同等の認定表示のあるものとする。

・薄付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・	・吹付け
・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく	・吹付け
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け
・	・	・

・厚付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装薄塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・行う ・行わない

○複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材		
※複層塗材E ・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材Si ○複層塗材RE ・ ・ ・	※凹凸模様 ・凸部処理 ・凹凸模様 ・ゆず肌状 ・ ・ ・	※吹付け ・吹付け ・ローラー	※水系 ・水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系	※アクリル系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・ふっ素系 ・シリカ系	※つやあり ・つやなし ・メタリック

・軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・吹付け軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材 珪藻土	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り

下地処理  
ALCパネル内壁目 地部の形状  
所要量等の確認

※V型目地付き  
※「建築標準仕様書」表15.5.4による  
・

⑯建具工事

1防火戸の指定  
(16.1.3)

2見本の製作等  
(16.1.4)

⑰アルミニウム製建具  
(16.2.2～16.2.4)  
(表16.2.1)

※図示による  
※防火戸は、建築基準法第2条第九号の二ロの規定に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。

建具見本の製作  
特殊な建具の仮組  
建具の製作所

・製作する (図示)  
・行う (図示)  
※監督員の承諾する製作所

※製作しない  
※行わない

性能及び構造  
外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

性能項目		耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
種 別					
・A種	※S-4	※A-3	※W-4	※B-2種	70mm (注)
○B種	※S-5				
・C種	※S-6	※A-4	※W-5	※C-2種	100mm

(注) 引違い・片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、100mmとする  
耐風圧性は取付高さに応じたものとする。

表面処理	○外部 ・内部	※B-1種 ※C-1種	※B-2種 ・C-2種

工事名

松倉中学校支障物件移転工事

図 名

特記仕様書-5

縮 尺

-

番 号

69 枚の内 A-005 号

設 計 年 月 日

令和8年3月

設 計

株式会社 斐太プランニング  
一級建築士 第268975号 門 秀樹

高 山 市

## 建築工事特記仕様書 No. 6/8

16

建具

工事

4

網戸

(16. 2. 3)

5

樹脂製建具

(16. 2. 2～16. 2. 4)  
(表16. 2. 1)

6

鋼製建具

(16. 4. 2)

(16. 4. 4)

7

鋼製軽量建具

(16. 5. 2)

(16. 5. 3)

(16. 5. 4)

8

ステンレス製建具

(16. 6. 2)

(16. 6. 2)

(16. 6. 3)

(16. 6. 4)

9

木製建具

(16. 7. 2)  
(表16. 7. 1)  
(表16. 7. 2)  
(表16. 7. 3)

10

建具金物

(16. 8. 1～4)  
(表16. 8. 1～4)

11

自動ドア開閉装置

(表16. 9. 1)  
(表16. 9. 2)  
(表16. 9. 3)

着色の色合

・アンバー

・ブロンズ

○ブラック系

・ステンカラー

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級

※図示による

・

防虫網及び防鳥網

防虫網

・ガラス繊維入り合成樹脂

○合成樹脂

・ステンレス製

防鳥網

・ステンレス製

径1.5mm

ビッチ15mm

性能及び構造

外部に面する樹脂製建具の性能等級

性能項目	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法
種 別				
・ A 種	S－4	A－4	W－4	
・ B 種	S－5		W－5	
・ C 種	S－6			

着色の色合

・アンバー系

・ブロンズ系

・ブラック系

・シルバース

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

鋼製建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性、水密性の等級

・適用する（「建築標準仕様書」表16. 4. 1）

・適用しない（「建築標準仕様書」表16. 2. 1）

外部に面する建具の耐風圧性

※S－4

・S－5

・S－6

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級

※図示による

・

鋼板類の厚さ (W) 以下の場合

※「建築標準仕様書」表16. 4. 2による

・

(W) を超える場合

※図示による

・

(W) は、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が

950 mm

又は有効高さが

2,400mm

鋼製軽量建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性の等級

・適用する（気密性 A－3）

・適用しない

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

(16. 5. 3) 戸の鋼板

・鋼板（「建築標準仕様書」16. 5. 3(a) (1)）

・ビニル皮膜鋼板

・カラー鋼板

召合せ、縦小口包み板、押縁

(16. 5. 4) ・鋼板（「建築標準仕様書」16. 5. 3(a) (1)）

・ステンレス鋼板

・アルミニウム押出型材

鋼板類の厚さ (W) 以下の場合

※「建築標準仕様書」表16. 5. 1による

・

(W) を超える場合

※図示による

・

(W) は、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が

950 mm

又は有効高さが

2,400mm

ステンレス製建具の性能値

・簡易気密型ドアセット

気密性、水密性の等級

・適用する（「建築標準仕様書」表16. 4. 1）

・適用しない

(16. 6. 2) 外部に面する建具の耐風圧性

※S－4

・S－5

・S－6

・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級

※図示による

・

・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級

※図示による

・

・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級

※図示による

・

(16. 6. 3) ステンレス鋼板

・SUS304

・

(16. 6. 4) 表面の仕上げ

※HL仕上げ

・

木製建具材の加工材料及び組立時の含水率

建具材の含水率

・A種

※B種

・C種

フラッシュ戸の心材

・中骨式

・ペーパーコア式

・

ふすまの材料種別

※I型

・II型

上張り紙

・ビニル紙

※新鳥の子

縁

押入れ等の裏紙

※雲花紙

・

※図示による

建具金物の材質、形状及び寸法

建具表による

見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。

鍵箱

・設ける（ 1 個用）

・設けない

・鍵札

マスターキー

○製作する（ 2 組）

・製作しない

・既存マスター合わせ

※監督員と協議のこと

煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。

※扉にラッチ受座用切込開口補強

・枠に解錠機構用切込開口補強

製作所

※監督員の承諾する製作所

スライディングドア用の性能値

片引き

・SSLD－1

・SSLD－2

引分け

・DSL D－1

・DSL D－2

スイングドア用の性能値

片引き

・SWD－1

・SWD－2

センサーの種類

・マットスイッチ

・光線スイッチ

・熱線スイッチ

・音波スイッチ

・光電スイッチ

・電波スイッチ

・タッチスイッチ

・押しボタンスイッチ

・パダルスイッチ

・多機能便所スイッチ

・

※多機能便所スイッチには大型（開・閉）押しボタンスイッチ又は非接触スイッチ、使用中表示灯、外部側キースイッチ（緊急時対応）を含む。

章

16

建具工事

12

自閉式上吊り引戸装置

(16.11.2)

13

重量シャッター

(16.11.2)

(表16.11.1)

14

軽量シャッター

(16.12.1)

(表16.12.1)

(16.12.4)

15

施工区分

16

ガラス

(16.14.2)

(表16.14.1)

(表9.7.1)

17

カーテンウォール工事

18

塗装工事

19

防火材料

(18.1.3)

20

塗装面の確認等

21

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

22

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

23

防火材料

(18.1.3)

24

塗装面の確認等

25

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

26

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

27

防火材料

(18.1.3)

28

塗装面の確認等

29

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

30

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

31

防火材料

(18.1.3)

32

塗装面の確認等

33

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

34

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

35

防火材料

(18.1.3)

36

塗装面の確認等

37

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

38

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

39

防火材料

(18.1.3)

40

塗装面の確認等

41

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

42

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

43

防火材料

(18.1.3)

44

塗装面の確認等

45

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

46

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

47

防火材料

(18.1.3)

48

塗装面の確認等

49

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

50

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

51

防火材料

(18.1.3)

52

塗装面の確認等

53

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

54

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

55

防火材料

(18.1.3)

56

塗装面の確認等

57

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

58

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

59

防火材料

(18.1.3)

60

塗装面の確認等

61

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

62

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

63

防火材料

(18.1.3)

64

塗装面の確認等

65

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

66

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

67

防火材料

(18.1.3)

68

塗装面の確認等

69

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

70

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

71

防火材料

(18.1.3)

72

塗装面の確認等

73

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

74

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

75

防火材料

(18.1.3)

76

塗装面の確認等

77

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

78

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

79

防火材料

(18.1.3)

80

塗装面の確認等

81

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

82

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

83

防火材料

(18.1.3)

84

塗装面の確認等

85

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

86

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

87

防火材料

(18.1.3)

88

塗装面の確認等

89

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

90

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

91

防火材料

(18.1.3)

92

塗装面の確認等

93

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

94

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

95

防火材料

(18.1.3)

96

塗装面の確認等

97

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

98

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

99

防火材料

(18.1.3)

100

塗装面の確認等

101

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

102

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

103

防火材料

(18.1.3)

104

塗装面の確認等

105

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

106

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

107

防火材料

(18.1.3)

108

塗装面の確認等

109

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

110

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

111

防火材料

(18.1.3)

112

塗装面の確認等

113

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

114

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

115

防火材料

(18.1.3)

116

塗装面の確認等

117

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

118

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

119

防火材料

(18.1.3)

120

塗装面の確認等

121

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

122

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

123

防火材料

(18.1.3)

124

塗装面の確認等

125

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

126

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

127

防火材料

(18.1.3)

128

塗装面の確認等

129

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

130

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

131

防火材料

(18.1.3)

132

塗装面の確認等

133

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

134

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

135

防火材料

(18.1.3)

136

塗装面の確認等

137

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

138

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

139

防火材料

(18.1.3)

140

塗装面の確認等

141

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

142

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

143

防火材料

(18.1.3)

144

塗装面の確認等

145

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

146

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

147

防火材料

(18.1.3)

148

塗装面の確認等

149

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

150

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

151

防火材料

(18.1.3)

152

塗装面の確認等

153

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

154

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

155

防火材料

(18.1.3)

156

塗装面の確認等

157

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

158

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

159

防火材料

(18.1.3)

160

塗装面の確認等

161

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

162

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

163

防火材料

(18.1.3)

164

塗装面の確認等

165

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

166

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

167

防火材料

(18.1.3)

168

塗装面の確認等

169

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

170

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

171

防火材料

(18.1.3)

172

塗装面の確認等

173

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

174

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

175

防火材料

(18.1.3)

176

塗装面の確認等

177

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

178

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

179

防火材料

(18.1.3)

180

塗装面の確認等

181

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

182

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

183

防火材料

(18.1.3)

184

塗装面の確認等

185

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

186

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

187

防火材料

(18.1.3)

188

塗装面の確認等

189

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

190

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

191

防火材料

(18.1.3)

192

塗装面の確認等

193

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

194

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

195

防火材料

(18.1.3)

196

塗装面の確認等

197

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

198

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

199

防火材料

(18.1.3)

200

塗装面の確認等

201

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

202

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

203

防火材料

(18.1.3)

204

塗装面の確認等

205

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

206

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

207

防火材料

(18.1.3)

208

塗装面の確認等

209

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

210

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

211

防火材料

(18.1.3)

212

塗装面の確認等

213

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

214

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

215

防火材料

(18.1.3)

216

塗装面の確認等

217

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

218

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

219

防火材料

(18.1.3)

220

塗装面の確認等

221

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

222

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

223

防火材料

(18.1.3)

224

塗装面の確認等

225

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

226

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

227

防火材料

(18.1.3)

228

塗装面の確認等

229

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

230

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

231

防火材料

(18.1.3)

232

塗装面の確認等

233

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

234

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

235

防火材料

(18.1.3)

236

塗装面の確認等

237

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

238

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

239

防火材料

(18.1.3)

240

塗装面の確認等

241

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

242

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

243

防火材料

(18.1.3)

244

塗装面の確認等

245

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

246

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

247

防火材料

(18.1.3)

248

塗装面の確認等

249

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

250

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

251

防火材料

(18.1.3)

252

塗装面の確認等

253

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

254

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

255

防火材料

(18.1.3)

256

塗装面の確認等

257

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

258

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

259

防火材料

(18.1.3)

260

塗装面の確認等

261

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

262

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

263

防火材料

(18.1.3)

264

塗装面の確認等

265

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

266

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

267

防火材料

(18.1.3)

268

塗装面の確認等

269

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

270

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

271

防火材料

(18.1.3)

272

塗装面の確認等

273

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

274

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

275

防火材料

(18.1.3)

276

塗装面の確認等

277

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

278

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

279

防火材料

(18.1.3)

280

塗装面の確認等

281

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

282

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

283

防火材料

(18.1.3)

284

塗装面の確認等

285

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

286

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

287

防火材料

(18.1.3)

288

塗装面の確認等

289

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

290

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

291

防火材料

(18.1.3)

292

塗装面の確認等

293

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

294

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

295

防火材料

(18.1.3)

296

塗装面の確認等

297

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

298

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

299

防火材料

(18.1.3)

300

塗装面の確認等

301

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

302

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

303

防火材料

(18.1.3)

304

塗装面の確認等

305

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

306

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

307

防火材料

(18.1.3)

308

塗装面の確認等

309

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

310

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

311

防火材料

(18.1.3)

312

塗装面の確認等

313

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

314

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

315

防火材料

(18.1.3)

316

塗装面の確認等

317

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

318

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

319

防火材料

(18.1.3)

320

塗装面の確認等

321

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

322

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

323

防火材料

(18.1.3)

324

塗装面の確認等

325

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

326

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

327

防火材料

(18.1.3)

328

塗装面の確認等

329

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

330

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

331

防火材料

(18.1.3)

332

塗装面の確認等

333

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

334

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

335

防火材料

(18.1.3)

336

塗装面の確認等

337

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

338

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

339

防火材料

(18.1.3)

340

塗装面の確認等

341

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

342

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

343

防火材料

(18.1.3)

344

塗装面の確認等

345

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

346

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

347

防火材料

(18.1.3)

348

塗装面の確認等

349

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

350

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

351

防火材料

(18.1.3)

352

塗装面の確認等

353

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

354

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

355

防火材料

(18.1.3)

356

塗装面の確認等

357

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

358

錆止め塗料塗り

(18.3.2～3)

359

防火材料

(18.1.3)

360

塗装面の確認等

361

素地ごしらえ

(18.2.2)

(18.2.3)

(18.2.4)

362

錆止め

19

塗装工事

5

塗料の種類  
(18.4.2)

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※1種  
塗料の種類

・2種  
(「建築標準仕様書」18章4節～13節)

	S O P	E P - G	E P	W P
木部	※B種 (注1)	「建築標準仕様書」 (表18.8.2)	－	※B種
鉄鋼面	※B種	※B種	－	－
亜鉛めっき面	「建築標準仕様書」 (表18.4.3)	「建築標準仕様書」 (表18.8.4)	－	－
ボード等 (注2)		※B種	※B種	－

(注1)： 屋外はA種とする (多孔質広葉樹を除く)  
(注2)： コンクリート, モルタル, プラスター, セっこうボード, その他ボード面等  
(「建築標準仕様書」18章8節)

19

内装工事

1

接着剤 (19.2.2)

2

ビニル床シート  
ビニル床タイル

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆

・

種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	特殊機能	工 法
※発泡層のないもの ・	※F S ・	※ブレーン ・マーブル ・特殊柄	※2.0 ・2.5	・帯電防止 ・耐動荷重 ・防滑性	・突付け ・熱溶接

・ビニル床タイル

記 号	色柄	厚さ (mm)	特殊機能	備 考
・H T	※標準柄 ・特殊柄	※2.0 ・3.0	・帯電防止 ・耐動荷重	
・C T	※標準柄	※2.0	・帯電防止	
・C T S	・特殊柄	・	・耐動荷重	

・特殊機能床材

種 類	厚さ (mm)	形状, 寸法, 性能等
・視覚障害者用床タイル		

・ビニル幅木

厚さ (mm)	高 さ (mm)	色 柄
※1.5 以上 ・	・60 ・75 ・100 ・	※標準柄

3

カーペット敷き  
(19.3.2～4)  
(表19.3.2)

・タイルカーペット

種 別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	色 柄	敷き込み
※一種 ・	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	・無地 ・柄物	※全面接着工法 ・

製造所及び製品名

4

合成樹脂塗床  
(19.4.2～3)

・厚膜型塗床材

塗床の種類	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床	※平滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・防滑仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ・防滑仕上げ

・薄膜型塗床材

塗床の種類	仕上げの種類
※エポキシ樹脂系塗床	※平滑仕上げ

※塗床に使用する塗料のホルムアルデヒド発散量 ※F☆☆☆☆

・

5

フローリング張り  
(19.5.2～7)

・単層フローリング

品 名	樹 種	厚 (mm)	形状・寸法 (mm)
・フローリングボード	・	・	
・フローリングブロック	・	・	
・モザイクパーケット	・	・	

・複合フローリング

品 名	樹 種	表層厚 (mm)	厚 (mm)	形状・寸法 (mm)
※複合1種	※なら	※ 2.0	・15	
・複合2種	・	・	・12	
・複合3種	・	・	・	

フローリングのホルムアルデヒド放散量等  
※F☆☆☆☆, 接着剤等不使用 (単層フローリングに限る), ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 (単層フローリングに限る), 非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。  
製造所及び製品名

・工法

工法形式	取付け及び下地の工法
・乾式工法	・釘留め工法 ・根太張り工法 ・直張り工法 ・接着工法
・湿式工法	・モルタル埋込み工法

・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り  
・生地のまわックス塗り

・オイルステイン塗り

工事名

松倉中学校支障物件移転工事

図 名

特記仕様書－6

縮 尺

－

番 号

69 枚の内 A-006 号

設 計 年 月 日

令和8年3月

設 計

株式会社 斐太プランニング  
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市



建築工事特記仕様書

No. 7/8

章

項

⑬内装工事

6 量敷き (19. 6. 2)

⑭せっこうボード  
その他ボード  
及び合板張り (19. 7. 2)  
(表19. 7. 1～表19. 7. 5)

量の種別  
種別 ・ A 種 ・ B 種 ※ C 種 ・ D 種  
防虫処理 防虫加工紙を使用する場合は、薬事法の承認を受けたものとする (A、B、C種)  
  
※天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。  
・せっこうボード製品  

材種・規格	施工箇所	張 り 方	厚 さ (mm) 等
・せっこうボード (JIS A6901)	・壁	・下張り ・上張り ・直張り	・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃) ・
	・天井	・下張り ・上張り ・直張り	・ 9. 5 (準不燃) ・ 12. 5 (不燃) ・
・化粧せっこうボード (トラバーチン模様) (JIS A6901)	・天井	・直張り	・ 突付け ※ 9. 5 (準不燃)
・化粧せっこうボード (プリント)(JIS A6901)	・天井	・直張り	・ 突付け ・ 9. 5 (準不燃)
・吸音用穴あきせっこう ボード(JIS A6301)	・天井	・直張り	・ 目透し ・ 突付け ・ 9. 5 (準不燃) ・ 不燃性原紙裏張り
・ロックウール化粧吸音板 (JIS A6301)	・天井	・上張り ・直張り	・ 突付け ・ 9. 0 (不燃) ・ 12. 0 (不燃) ・ 15. 0 (不燃)
・	・	・	・

  
・繊維強化セメント板  

種 類	施工箇所	張 り 方	規 格 ・ 厚 さ (mm)
・けい酸カルシウム板	・壁 ・天井	・目透し ・突付け ・突付けV目地	※0. 8 F K ・ 6. 0 (不燃) ・ 8. 0 (不燃) ・ 10. 0 (不燃) ・ 12. 0 (不燃)
・普通板 (JIS A5430)			
タイプ2 ・化粧ボード (JIS A5430)	・壁 ・天井	・目透し (シーリング) ・突付け ・ジョイナ	

  
⑮その他ボード  

種 類	規 格 等
・木毛セメント板 (JIS A5404)	
⑯ OSB合板t11	
・	

  
(19. 7. 2～3)  
  
⑰合板  

材 料	樹種名	処理	耐水性, 厚さ (mm) 等
⑱普通合板	ラワン	・防虫 ・難燃	類 ① 5. 5 ・ 12. 0 ・ 15. 0
・天然木化粧合板	シナ	・防虫 ・難燃	類 ・ 4. 0 ・ ・
・			

  
合板のホルムアルデヒド放散量等  
※F☆☆☆☆, 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 (普通合板及び天然木化粧合板に限る), 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 (天然木化粧合板に限る) 並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 (特殊加工化粧合板に限る) となる。  
・  
  
(19. 7. 3)  
8 壁紙張り (19. 8. 2)  
  
建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの  

施工箇所	品質 (製造所)	防火性能の種別
		・
		・
		・
		・

  
壁紙のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・  
  
⑲断熱材 (19. 9. 2)  
  
断熱材打込み工法  

材 種	種 別	厚 (mm)	施工箇所
・ビーズ法 ポリスチレンフォーム保温材			
※押出法 ポリスチレンフォーム保温材	・ 2 種 b ・ 3 種 b	※25 ・ 20	50 土間下
・ A 種硬質ウレタンフォーム 保温材			
・フェノールフォーム保温材			

章

項

⑱内装工事

(19. 9. 3)

※保温材は全て A 種 (ノンフロン類) とする  
※フェノールフォーム保温材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆  
断熱材補修材 ・断熱材と同材 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材  
断熱材現場発泡工法  

材 種	種 別	厚 (mm)	施工箇所
・吹付け硬質ウレタンフォーム 断熱材	※ A 種 1 難燃性	・	

  
※難燃性 ・ 2 級 ※ 3 級  
  
⑳断熱材敷込み工法  

材 種	種 別	厚 (mm)	施工箇所
①グラスウール断熱材	②16kg品 ・ 24kg品	・ 50 ③100	図示

章

項

⑱内装工事

1 フリーアクセス  
フロア (20. 2. 2)

フリーアクセスフロアユニット製品類  

施工箇所	材 質	寸法・高さ	耐荷重性能	耐震性能

  
※表面仕上材 ※図示による ・  
・帯電防止性能 ・漏えい抵抗  
  
・パーティション  

構造形式種別	構成基材の種類	パネル表面材・仕上	遮音性能	防火性能
・スタッド式	※アルミ			・不燃
	・スチール			・

  
・スライディングドア  

操作方法種別	パネル表面材・仕上	圧装装置操作方法	遮音性能	防火性能
・手動式 ・		・ハンドル回転式 ・プッシュ式		・不燃 ・

  
・アコーディオンドア  
製造所  
  
・トイレブースの仕様 ※建具表による  

表面材の材質 (下小口共)	脚 部	ドアエッジ
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木 ・支柱	※ S U S ・ ・標準 ※ R 付 ・ S U S

  
金物 ※図示による (見本提出のうえ監督員の承諾を受ける。)  
  
・階段滑り止めの仕様  

材 種	形状・寸法	工 法	フラットエンド
・ステンレス製	※タイヤ入	※35mm	※接着工法 ・有 ( )
・アルミ製	・タイヤなし	・	・埋込工法 ・なし

⑱ユニット及びその他工事

2 可動間仕切 (20. 2. 3)

可動間仕切 (20. 2. 3)

3 移動間仕切 (20. 2. 4)

4 トイレブース (20. 2. 5)

5 階段滑り止め (20. 2. 6)

6 黒板及び  
ホワイトボード (20. 2. 8)

7 表示 (20. 2. 10)

8 ブラインド及び  
ロールスクリーン (20. 2. 12) (20. 2. 13)

章

項

⑱ユニット及びその他工事

9 カーテン及び  
カーテンレール (20. 2. 14)

カーテン及び  
カーテンレールの仕様 きれ地は消防法で定める防炎性能の表示があるものとする  

きれ地の品質等 (製造所)	ひだの種類	防炎性能の表示

  
暗幕用カーテンの両端, 上部及び召合せの重なり ※300 以上  
カーテンレール 材 種 ・ステンレス製 ※アルミニウム製  
  
10 スクリーン  
種 別 ※ホワイトスクリーン  
形 式 ※スプリング巻上 (ノーショック) 式 ・  
寸法 (mm) ※幅 ( ) ・高さ ( )  
  
11 くつつきマット  
枠 ※ステンレス製 ・黄銅製  
マット ※塩化ビニル製 ・ゴム製 ・アルミ合金製 ・鉄製  
排水 ※設ける (排水目皿V P 50 φ) ・設けない  
  
12 厨房器具  
・厨房器具 ・下記表による ・図示による  

器 具 名	規格・施工箇所等
・流し台	市販品
・調理台	〃
・コンロ台	〃
・ガステーブル	〃
・つり戸だな	〃
・水切だな	〃
・	〃
・	〃
・	〃
・	〃
・	〃
・	〃
・	〃
・	〃
・	〃

  
13 ビクチャーレール  
タイプ ・天井面付け ・壁面付け フック ケ/ m  
安全荷重 ※15kg 以上  
  
14 ブラインドボックス  
カーテンボックス  
材質 ※アルミニウム製  
表面処理 ※C-1 ・C-2 (色調: )  
溝幅×深さ (mm) ※図示による ・1 2 0 × 8 0 ・  
  
15 消火器ボックス  
既製品 ・図示による  
  
16 視覚障害者用  
誘導ブロック  
材質 ・塩化ビニル製 厚さ ※7 mm ( 2 + 5 ) サイズ ※3 0 0 × 3 0 0  
・コンクリート製 (厚さ30mm)  
・磁器質タイル製  
・図示による  
  
⑰家具類  
合板類, MD F 及びパーティクルボード, 接着剤及び塗料のホルムアルデヒドの放散量  
※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆  
⑱図示による  
・アルミ製 (図示による) ・ステンレス製 (図示による)  
・  
・  
  
21 排水管 (21. 2. 1)  
・硬質ポリ塩化ビニル管 ( ※V U ・V P )  
・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 ( R S - V U )  
・速心力鉄筋コンクリート管 (※外圧管B形) 1 種  
  
2 排水樹 (21. 2. 2)  
排水樹の種類  
・コンクリート現場打ち樹 ・コンクリート既製樹 ・樹脂製溜め樹  
  
3 埋戻しに用いる材料  
(表3. 2. 1) (21. 2. 3)  
埋戻しに用いる材料の材種  
・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種  
  
4 樹蓋  
樹蓋の仕様  
・グレーチング 材質 ( ・スチール ・ステンレス ) 耐荷重: 14 t  
・マンホール ( ・M H A ・M H B )  
・鉄板 ( t = mm )  
・既製コンクリート板 ( t = mm )  
・樹脂製 ( )  
  
5 溝蓋  
・グレーチング 材質 ( ・スチール ・ステンレス ) 耐荷重: 14 t  
・鉄板 ( t = mm )  
・既製コンクリート板 ( t = mm )  
・  
・

工事名

松倉中学校支障物件移転工事

図 名

特記仕様書ー7

縮 尺

－

番 号

69 枚の内 A-007 号

設 計  
年 月 日

令和 8 年 3 月

設 計

株式会社 斐太プランニング  
一級建築士 第266975号 門 秀樹

高 山 市



建築工事特記仕様書 No. 8/8				章	項	特 記 事 項	
章	項				24	追記事項	
22 舗装工事	1	路床 (22.2.2)  (表3.2.1) (22.2.3)  (22.2.5)	遮断層 フィルター層 路床安定処理 路床の盛土材料 路床の試験	※適用しない ※適用しない ※適用しない ・ A 種 ※ B 種 C B R 試験 路床締固め度の試験 砂の粒度試験	・適用する ( 厚 mm ) ・適用する ( 厚 mm ) ・ ・ C 種 ・ D 種 ※行う ※行う ※行う	1) 本工事においては、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正 平成16年9月24日国土交通省告示第1151号)に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 2) 本工事においては、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日建設省経機発第249号、最終改正 平成14年4月1日国総施第225号)に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」又はこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	
	2	路盤 (22.3.2) (22.3.3)  (22.3.5)	路盤の構成 材料  締固め度の試験	・車道部：100、歩道部：100 ・砕石クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・行わない	・図示による ※再生材クラッシュラン ・ ※行う	2) 軽微な変更等  現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない	
	3	アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.3)	舗装厚 アスファルト	車道部 ・ 50 (基層なし) 歩道部 ・ 30 ・再生アスファルト	・ ・ ・ストレートアスファルト	3) 下請契約  本工事において、下請契約を締結する場合には、「高山市公契約条例」(平成30年4月1日施行)に基づき、当該契約の相手方を 高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む)を有する者の中から選定するよう努めること。 下請け業者の選定に当たっては 高山市入札参加資格停止の処置がされていないこと。	
	(22.4.6)	シールコート 切り取り検査 アスファルト混合物等の抽出試験	・行う ※行う ( 箇所) ・行う	※行わない ・行わない ・行わない	4) 事故報告  工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。		
	4	コンクリート舗装 (22.5.2) (22.5.3)  (22.5.6)	コンクリート舗装の仕様 舗装厚 コンクリート 目地材 溶接金網 コンクリート版の厚さの試験	・ ・ ・ ・使用する(150□×6φ) ・使用しない ・行う	・ ・ ・ ・ ・行わない	5) 重点監督対象工事  当該工事が 高山市重点監督対象工事となった場合は、その取扱いによるものとする。	
	5	カラー舗装(22.6.2)	舗装厚及び種類 ※アスファルト混合物 切り取り検査	車道部 ・ 50 (基層なし) 歩道部 ・ 30 ※行う ( 箇所)	・ ・ ・行わない	6) 経年検査  建築竣工引渡後1年が経過した時点において係員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる損害等についても、係員の指示に従い改修しなければならない。 なお、その費用については請負者の負担とする。	
	6	透水性アスファルト舗装 (22.7.2)	舗装の構成及び厚	車道部 (ポリマー改質アスファルトⅠ型) 歩道部 (ストレートアスファルト)	・ 50 ・ 30	7) 損害保険  工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証券の写しを監督職員に提出する。 1) 損害の補填条件 a. 火災、落雷、爆発又は破裂 b. 台風、旋風、暴風、暴風雨の風災 2) 保険金 原則として請負金額とする。 3) 保険の期間 保険の加入の時期は、原則として工事着工のときとし、終期は工事完成後15日までとする。 4) 協議 この取扱いにより難い事項については、必要に応じて請負者は、監督職員と協議するものとする。	
	7	ブロック系舗装 (22.8.2～5)	・インターロッキングブロック舗装 基層 クッション材 種類、形状	・コンクリート舗装 ※砂 ・ 製造所	・から練りモルタル	8) 実施状況の提出について  受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。	
8	区画線	路面標示用塗料 色 ※白	・ 1 種 塗布幅 ※図示	※ 3 種 1 号 塗布厚さ ※ 1. 0	9) 工事着手前協議について  1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。 2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。 3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び担当係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。 4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答(その他)欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・担当係長又は課長の確認印を押印し、写しを現場代理人(主任技術者)が受け取ること。		
23 植栽工事	1	植栽地の確認 (23.1.3)	土壌の水素イオン濃度、水溶性塩類等の試験	・行う	※行わない		
	2	植栽基盤 (23.2.2) (表23.2.1) ※図示	植栽基盤 有効土層の厚さ (cm)	・適用する ・適用しない(ただし、芝及び地被類の植栽の場合は整備する)	・適用する ・適用しない(ただし、芝及び地被類の植栽の場合は整備する)	10) 電子メールの利用  本工事の施工中における受発注者間の情報共有は、電子メールを利用すること。運用にあたっては、「電子メールを活用した情報共有における運用指針」による他、工事着手前協議時に監督員と協議の上、決定するものとする。	
	3	支柱材 ※図示	支柱材	※杉の焼丸太	・竹	11) ディーゼルエンジンの車両の適正燃料の使用について  1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には J I S 規格の軽油を使用すること。 2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。	
	4	芝	種類	※コウライシバ	・ノシバ	12) 提出書類等  高山市ホームページ上に示された書類とし、監督員協議によりその一部を省略することができる。	
	5	新樹木、芝 地被類の枯補償	新樹木の枯補償期間 芝、地被類の枯補償期間	( ※ 1 年 ( ※ 1 年	・ 年 ) ・ 年 )		
	6	移植樹木の枯損処理	移植樹木の枯損処理を行う期間	( ※ 1 年	・ 年 )		

工事名	松倉中学校支障物件移転工事（建築）		
図 名	特記仕様書－8		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-008 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

解体工事特記仕様書		
A 共通事項		
01	適用基準	○ この特記事項以外は下記に準拠する。  ○ 国土交通省大臣官庁営繕部監修 建築物解体工事共通仕様書 同解説 最新版（以下「解体共通仕様書」という。）
B 留意事項		
01	発生材処理	○ PCBの混入が疑われる機器 材料については監督員と協議の上、適正に処理する。 ○ 引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の建設廃棄物の項及び関係法令等に従い適正に処理する。
02	建設廃棄物	○ 労働安全衛生法 大気汚染防止法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ダイオキシン類対策特別処置法 建築リサイクル法 ○ 「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適切に処理する。 ○ 解体及び廃棄物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。 ○ 混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。 ○ 工事に伴い発生する建設廃棄物のうち、次のものは再資源化施設へ搬出する。 ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 木屑 ○ 石膏ボード屑 ○ 鉄・アルミ・ステンレス屑 ・ ガラス・陶磁器屑 ・ 繊維屑 ・ プラスチック類
03	再資源化施設への搬出	
C 一般事項		
01	立合検査	○ 下記の項目については、監督員の立合検査を受け、検査立合記録書に監督員の記名捺印を受けなくてはならない。 ・ 各種製品検査 ・ 各種仕上検査 ・ 工事中間検査及び竣工検査 ○ アスベスト撤去前
02	下請業者の承認	○ 請負者は工事に先立ち、各下請業者、各職種別下請人名簿、使用材料の一覧表を監督員に提出し承認を得てから施工及び製作に着手すること。 ○ 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方 高山市内に本店(建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所含む)を有する者の中から選定するよう努めること。 ○ 下請け業者の選定に当っては 高山市 入札参加資格停止の処置がされていないこと。 ○ 本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図書に基づいて作成されている。従って新築時の納り、取合いによる変更等により既存建物の状態と本設計図書との間に差異が生じ、本設計図書による施工が困難な場合は、監督員と協議の上その指示に従う。
03	設計図書との差異	
D 仮設工事		
01	仮設計画	○ 設計図書中の配置図を元に施工し、事故防止・安全管理に努めること。 ○ 建物位置と敷地との相対関係、資材搬出入方法及び敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安全計画書等を作成し、監督員の承認を受けること。 ○ 工事車両の現場進入経路は、近隣の状況を把握し、迷惑を掛けないよう配慮すること。 ○ 進入経路に安全係員(1週間/1人程度)を配備すること。 ○ 仮囲いは第三者の侵入がないように、足元の隙間なきように設置する。 ○ 手すり先行足場工法による足場を採用すること ○ 隣接する建物や近隣に配慮し、防塵・防音に最大限の努力をすること。 ○ 解体作業時には散水養生を充分に行い、粉塵の飛散を極力少なくする対策をとること。解体作業において飛散防止に解体養生が必要な箇所ができたときは、請負者の責任において速やかに対処すること。 ○ 工事の着工に先立ち、一時撤去品・移設品の有無について他の関連工事を充分に確認し監督員の指示に従い移設時期を協議調整の上、工事に取り掛かること。 ○ アスベスト含有建材の使用部分を事前に調査確認しその撤去処分について施工計画書に明記する。（別図仕上表の記載に留意のこと） ○ 施工中にアスベスト含有が確認された場合は監督員と協議の上適正に処理する。 ・ 鋼製焼却炉については 事前にダイオキシン類に関する空気中濃度測定及び汚染物のサンプリング調査を実施し ダイオキシン類のばく露防止処置を適正に行って解体処分する。 ○ 本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害等を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。
02	解体・撤去・移設	○ 解体作業時には散水養生を充分に行い、粉塵の飛散を極力少なくする対策をとること。解体作業において飛散防止に解体養生が必要な箇所ができたときは、請負者の責任において速やかに対処すること。 ○ 工事の着工に先立ち、一時撤去品・移設品の有無について他の関連工事を充分に確認し監督員の指示に従い移設時期を協議調整の上、工事に取り掛かること。 ○ アスベスト含有建材の使用部分を事前に調査確認しその撤去処分について施工計画書に明記する。（別図仕上表の記載に留意のこと） ○ 施工中にアスベスト含有が確認された場合は監督員と協議の上適正に処理する。 ・ 鋼製焼却炉については 事前にダイオキシン類に関する空気中濃度測定及び汚染物のサンプリング調査を実施し ダイオキシン類のばく露防止処置を適正に行って解体処分する。 ○ 本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害等を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。
03	保護設備	○ 既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。 ○ 工事完了後に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。 ○ 本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧し、維持管理等の費用は請負者の負担とする。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。 ○ 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧を行う。 ○ 作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。
04	保護設備	○ 本工事の施工に当り、既設諸施設、隣地建物、工作物及び通行人に対して損害等を与えないように必要な保護設備を計画し、監督員及び関係者の承認を受けて完全な実施を期さなくてはならない。万一損害を与えた時は、すみやかに応急手当及び復旧工事をするものとし、これに要した費用は請負者の負担とする。
05	現地調査	○ 既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。 ○ 工事完了後に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。 ○ 本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧し、維持管理等の費用は請負者の負担とする。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。 ○ 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧を行う。 ○ 作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。
06	掃除復旧	○ 既存設備の詳細について現地調査を行い、現状図にて施工上の留意点を明確にすること。 ○ 工事完了後に全体の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。 ○ 本工事により公道等の工事による損傷部分は完全に復旧すること。又、現場侵入経路となる公道及び構内の舗装が破損した場合は原形復旧し、維持管理等の費用は請負者の負担とする。尚、公道復旧の要領は管理官庁の指導を受けること。 ○ 工事過程において、既設諸施設に損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧を行う。 ○ 作業開始前、終了後の現場内外の点検を必ず毎日行うこと。
07	安全点検	○ 本工事は 学校施設 を使用しながらの工事であるため、運営に支障をきたさぬように万全をきくこと。又、工事日時・停電、断水等は事前に監督員・関係者と協議し、業務に支障のないようにすること。 ○ 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用し、騒音・埃・運搬等により付近の住民に迷惑を及ぼさないよう対策を充分に講ずること。
08	その他	○ 関係法 PCB廃棄物特別処理法 フロン回収破壊法 家電リサイクル法 石綿障害予防規則 廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要領 ○ 蛍光灯ランプについては、産業廃棄物として適切に処分する。 ○ 設計図書に記載がなくても工事上の措置の必要性が発生した場合は監督員と協議し速やかに対処すること。その費用については請負の負担とする。 ○ 構造物撤去後は整地する
E 撤去工事		
01	一般事項	本工事は、既設建物の改修について記するものであり、本章に記載なき事項は設計図書により全章各工事に準拠し入念に施工する。
02	施工範囲	特記、設計図書及び指示する範囲とする。改修しない部分との取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合により破損させた箇所は、請負者の負担で完全に補修する。
03	既設外壁撤去等	騒音及びほこりの発生に十分配慮し養生を行うと共に、監督職員の承諾を受けて作業を進める。既存モルタル等のはつり工事に使用する機種は、ビッグブレーカー手はつりを原則とし、その他の機種の使用は監督職員との協議の上、決定する。 はつり工事において躯体に損傷を与えぬよう養生し、十分注意する。高所におけるはつり工事は、養生シート等により発生材の飛散を防止する。
04	防音・防塵対策	既設 床・壁・天井等のはつり、撤去及び搬出による騒音・ほこり等については周辺の状況等を調査、打合せの上、防音・防塵対策に努めること。

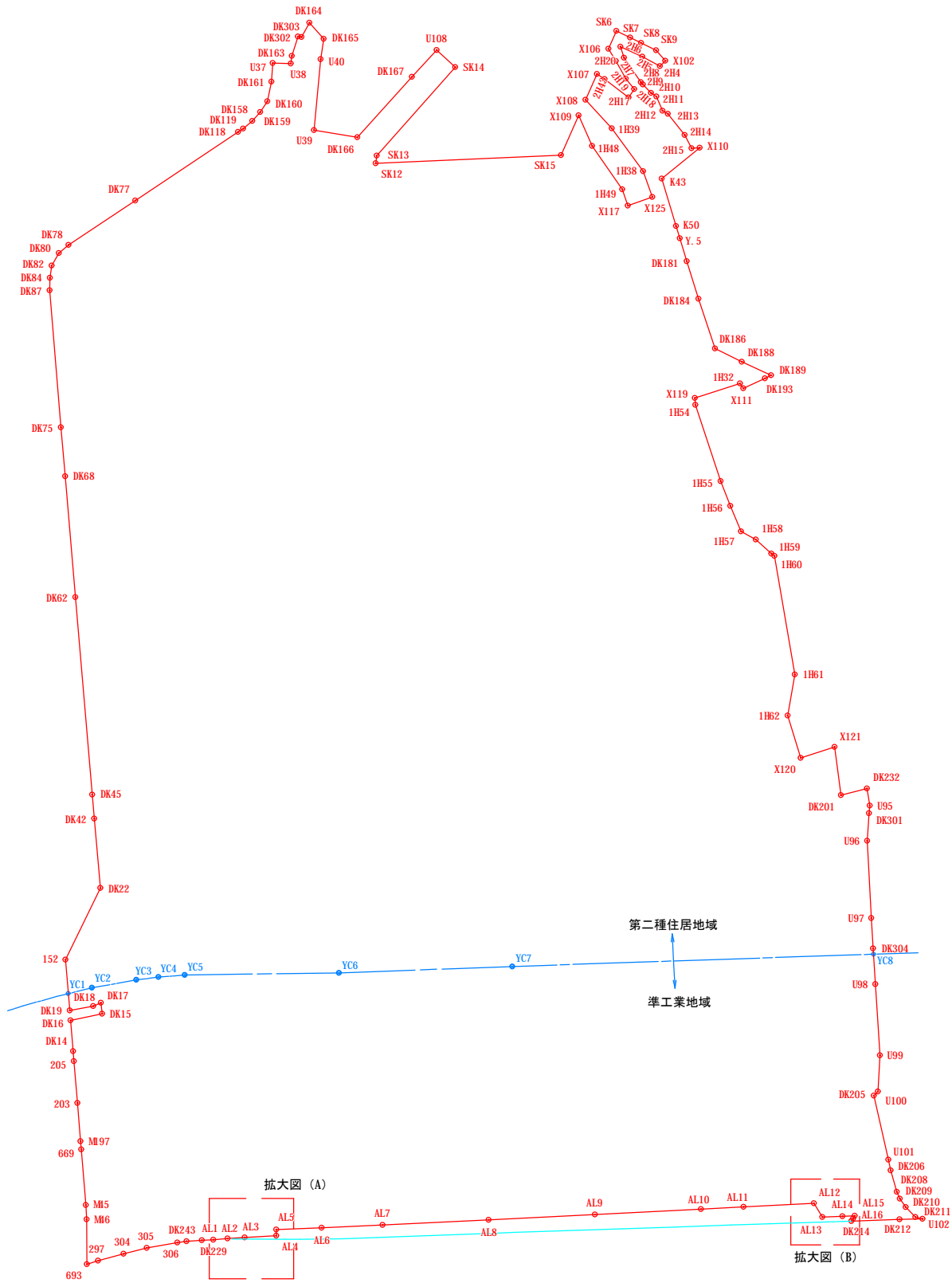
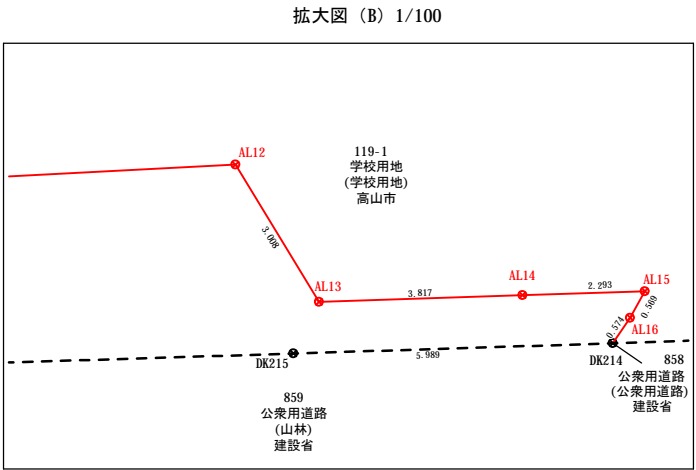
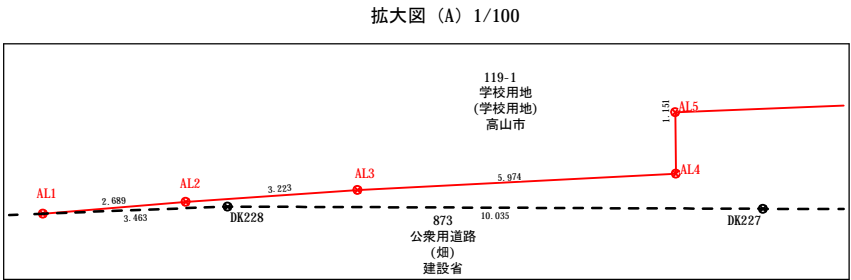
05	その他	解体については、上記指示の他必要に応じて調査報告書、解体施工計画書を作成し監督職員の承諾を受ける。 ※検査 当該撤去建物の廃棄物の内、（石膏ボード、ケイカル板等）については、アスベスト含有の成形板の可能性があるため、解体工事前に対象物毎に含有測定を行い確認をし監督員に報告を行うこと。									
06	アスベスト成形板の定義	アスベスト成形板 セメント、けい酸カルシウム等の原料に、アスベストを補強繊維として混合し、成形されたもののうち、アスベスト含有率が0.1重量%を超えるものをいう。 非飛散性アスベスト廃棄物 アスベスト成形板が解体工事等により撤去され廃棄物となったものをいう。 非飛散性アスベスト廃棄物の区分 アスベスト成形板は、廃棄物になった際には、容易に大気中に飛散しない非飛散性アスベスト廃棄物となり、主に産業廃棄物の「工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片その他これに類する不要物」（がれき類）（令第2条9号）又は「ガラスくず、コンクリートくず」（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず」（令第2条7号）に該当する。  ※本工事ではけい酸カルシウム板についてはアスベスト含有物として処理すること。									
07	処理計画	本工事で該当するアスベスト建材 <table><tr><th>位置</th><th>品目</th><th>使用室</th></tr><tr><td>煙突</td><td>ライニング材 125Φ</td><td>各室</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 解体作業レベル1～3の区分 レベル3 廃棄物としての飛散性・非飛散性の区分 解体状況により飛散性に準じた取り扱いとする。 ※改修範囲外に使用されているアスベスト含有建材については、飛散しない見なす。ただし、施工上撤去等発生する場合については、監督員と協議の上必要な措置を講ずる事。  排出事業者は、非飛散性アスベスト廃棄物を適正に処理するため、施工計画時に処理方法について具体的な処理計画を立てる。 処理計画書の作成に当たっては、次の点に留意する。 ① 非飛散性アスベスト廃棄物の発生量 ② 非飛散性アスベスト廃棄物からアスベストの飛散を防止する撤去方法 ③ 現場内における分別方法 ④ 収集運搬及び処分方法 施工中に処理計画書に基づいた処理が実施されるように、管理体制を整えて現場の運営に当たるとともに、関係者に周知を行う。	位置	品目	使用室	煙突	ライニング材 125Φ	各室			
位置	品目	使用室									
煙突	ライニング材 125Φ	各室									
08	アスベスト成形板の解体	処理計画書の記載内容 処理計画は文書化し、関係者に周知徹底すること。処理計画書には、次のような項目を記載する。 1) 工事概要 ① 工事名称、工事場所、工期 ② 発注者名、設計者名、作業所長名、廃棄物管理責任者名 ③ 工事数量 ④ 解体工事の請負業者名 2) 非飛散性アスベスト廃棄物 ① 発生量 ② 撤去、分別、保管、収集運搬、中間処理、最終処分の方法 3) 委託処理 ① 産業廃棄物処理業者（収集運搬業者、中間処理業者及び最終処分業者）の許可番号、事業の範囲、許可期限等 ② 処理施設の確認方法 ③ 添付書類として、産業廃棄物処理委託契約書及び産業廃棄物処理業の許可証の写し なお、飛散性アスベストがあった場合は、非飛散性アスベストとは区分して、特別管理産業廃棄物として取り扱うこと。  アスベスト成形板の撤去作業は、アスベスト成形板の破断面からのアスベストの飛散を極力抑えるよう次の作業手順で実施する。  撤去フロー 飛散防止養生、仮設足場 設置 ――― 解体撤去、集積、搬出 ――― 足場解体、清掃、養生撤去  現場の養生 撤去作業に先立って解体等現場の周辺には粉じん等の飛散防止幕を設置し、散水装置等を設置する。  アスベスト成形板等の撤去 撤去時は湿潤する等の飛散防止措置を講じ、除去物を強度のある袋に袋詰め等する。 アスベスト成形板の撤去後の措置 現場において、撤去後のアスベスト成形板の切断等は最小限とし、解体物の破砕に当たるような作業を実施しない。 保管 排出事業者は、非飛散性アスベスト廃棄物が運搬されるまでの間、当該廃棄物からアスベストが飛散しないように保管する。 収集運搬、中間処理の留意事項 (1) 収集運搬に当たっては、非飛散性アスベスト廃棄物からアスベストの飛散をおそれないように行う。 (2) 他の廃棄物と混合することのないよう区分して収集運搬する。 (3) 運搬車両は、アスベストの飛散及び非飛散性アスベスト廃棄物の落下を防止する構造を有するものとする。  (4) 中間処理業者は、受入れの際に検査を実施し、非飛散性アスベスト廃棄物が分別されていることを確認する。  (5) 中間処理の作業の前後で保管する場合は、他の廃棄物と分けて保管し、飛散するおそれの無いようにする。  (6) 他の廃棄物と分別して、非飛散性アスベスト廃棄物のみを破砕等を実施する。 (7) 破砕の際は、破断面からアスベストが飛散しないよう適切な方法で実施し、併せて、飛散防止措置を講じる。  最終処分場の管理 非飛散性アスベスト廃棄物を受け入れる最終処分場においては、廃棄物の種類に応じて処分場の適正な管理を行うため次のような措置を講じる。 (1) 受入要領をあらかじめ定め、非飛散性アスベスト廃棄物の処理受託契約に際し排出事業者に提示する。 (2) 受入れに際し非飛散性アスベスト廃棄物の量、積載状況等を確認する。 (3) 非飛散性アスベスト廃棄物は、最終処分場内に場所を定めて埋め立てる。 (4) 最終処分場管理者は、非飛散性アスベスト廃棄物の埋立場所、埋立量を記録し、保存する。									

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	特記仕様書－9		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-009 号
設 計 年 月 日	令和8年3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹		
高 山 市			

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	特記仕様書－9		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-009 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	案内図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-010 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



工事名	松倉中学校支障物件移転工事（建築）		
図 名	敷地求積図		
縮 尺	1/800	番 号	63 枚の内 A-011 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	(株)斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

地 番	1 第二種住居地域			
N0	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
YC1	15339.908	6597.003	76990.998252	4.599
YC2	15341.004	6601.470	196640.989272	8.480
YC3	15342.480	6609.821	191903.739840	4.195
YC4	15343.041	6613.978	139698.388305	4.963
YC5	15343.425	6618.926	521492.328900	29.042
YC6	15343.795	6647.966	946006.336930	32.636
YC7	15344.991	6680.580	1543383.849789	68.004
YC8	15347.297	6748.545	1042096.813597	1.077
DK304	15348.372	6748.481	-6200.742288	5.735
U97	15354.097	6748.141	-17319.421416	14.548
U96	15368.624	6747.353	-6823.669056	5.204
DK301	15373.817	6747.697	7517.796513	1.435
U95	15375.245	6747.842	-5642.714915	3.291
DK232	15378.496	6747.330	-83166.906368	5.060
DK201	15377.220	6742.434	-94293.113040	9.154
X121	15386.290	6741.198	-116735.782230	6.668
X120	15384.258	6734.847	-135289.164852	8.361
1H62	15392.254	6732.404	-17008.440670	7.842
1H61	15399.981	6733.742	-38315.152728	22.633
1H60	15422.288	6729.916	-68505.803296	0.739
1H59	15422.696	6729.300	-54164.508352	3.926
1H58	15425.347	6726.404	-87538.844225	3.187
1H57	15426.907	6723.625	-74249.703391	5.188
1H56	15431.680	6721.591	-59566.284800	5.009
1H55	15436.344	6719.765	-101308.725672	15.116
1H54	15450.699	6715.028	-75090.397140	1.284
X119	15451.977	6714.905	129812.058777	8.949
1H32	15454.703	6723.429	140915.981954	1.076
X111	15453.806	6724.023	72601.980588	4.517
DK193	15455.692	6728.127	81126.927308	1.273
DK189	15456.249	6729.272	-67667.458122	6.085
DK188	15458.803	6723.749	-162889.407211	5.606
DK186	15461.310	6718.735	-126025.137810	9.831
DK184	15470.627	6715.598	-82535.795045	7.383
DK181	15477.675	6713.400	-54450.460650	4.556
Y.5	15482.036	6712.080	-31242.748648	2.392
K50	15484.324	6711.382	-52909.935108	9.307
K43	15493.225	6708.663	68975.837700	9.224
X110	15499.026	6715.834	87615.993978	1.521
2H15	15498.930	6714.316	-44078.956920	2.856
2H14	15501.459	6712.990	-69663.556746	5.074
2H13	15505.423	6709.822	-64859.184409	1.163
2H12	15505.991	6708.807	-33058.772812	2.940
2H11	15508.711	6707.690	-33142.115407	1.207
2H10	15509.357	6706.670	-39564.369707	2.207
2H9	15510.947	6705.139	-29408.755512	0.578
2H8	15511.395	6704.774	-55158.520620	5.595
2H7	15515.991	6701.583	-60264.109044	2.158
2H6	15518.035	6700.890	53754.473240	4.546
2H5	15516.194	6705.047	115440.483360	3.745
2H4	15514.392	6708.330	66944.601480	1.433
X102	15515.386	6709.362	-11093.500990	2.657
SK9	15517.388	6707.615	-71069.637040	3.154
SK8	15518.775	6704.782	-75685.065675	2.273
SK7	15519.770	6702.738	-72151.410730	2.899
SK6	15521.041	6700.133	-63605.226018	3.673
X106	15517.685	6698.640	-1210.379430	2.718
2H20	15515.364	6700.055	50781.786372	3.784
2H19	15512.068	6701.913	53408.050124	2.556

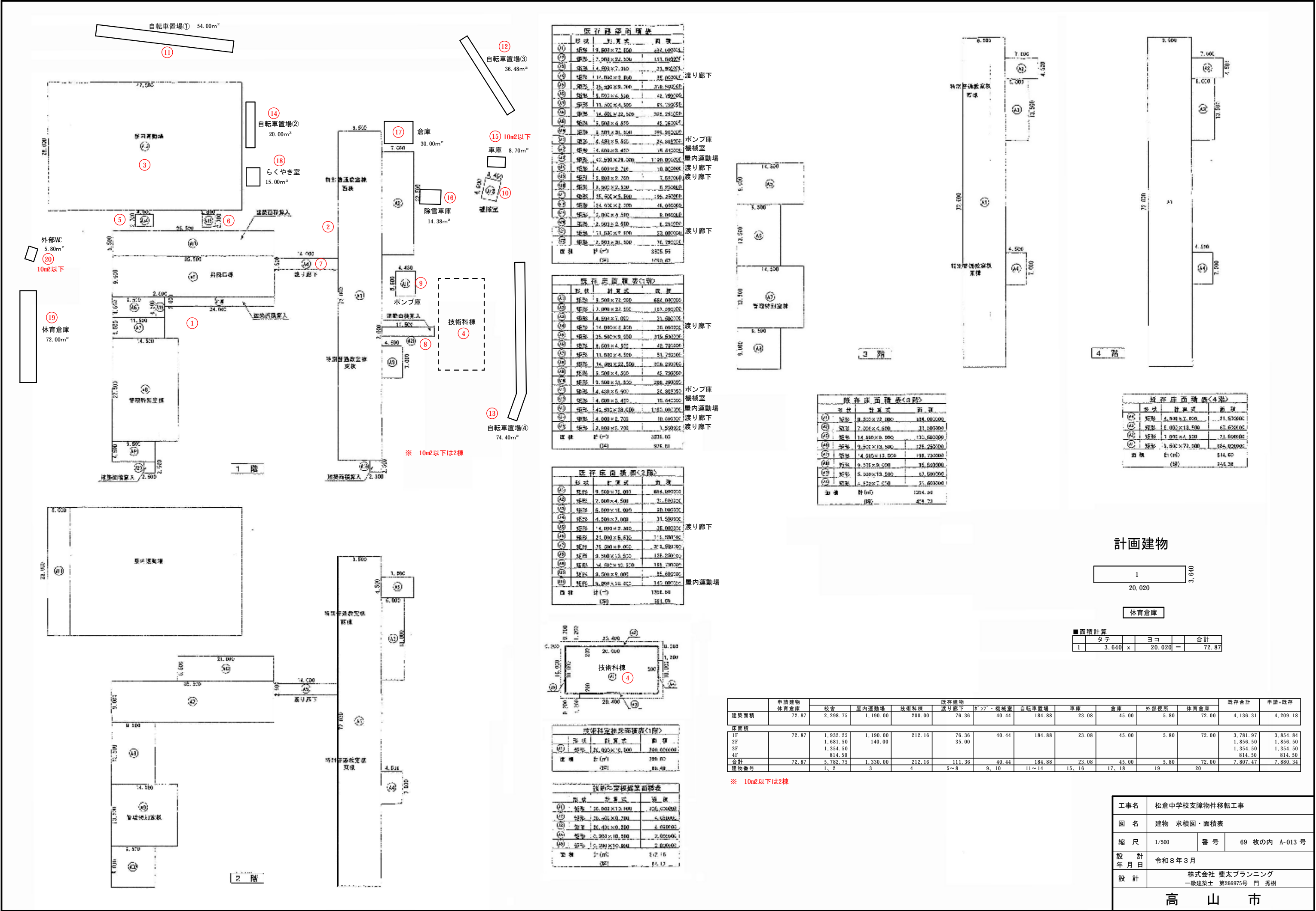
地 番	1 第二種住居地域			
N0	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
2H18	15510.063	6703.498	8530.534650	1.890
2H17	15508.481	6702.463	-85885.967778	5.675
2H43	15511.935	6697.960	-92327.037120	1.740
X107	15512.899	6696.511	-55955.026693	5.307
X108	15508.051	6694.353	42693.664403	7.278
1H39	15502.680	6699.264	168064.553880	9.978
1H38	15494.655	6705.194	118673.562645	5.186
X125	15489.766	6706.923	-45028.749762	4.901
X117	15488.177	6702.287	-87895.404475	3.208
1H49	15491.212	6701.248	-103543.261008	9.928
1H48	15499.379	6695.603	-126862.417115	6.307
X109	15505.152	6693.063	-91077.262848	8.202
SK15	15497.658	6689.729	-592428.972366	34.927
SK12	15496.111	6654.836	-537482.610035	1.459
SK13	15497.555	6655.044	232339.344560	22.256
SK14	15514.191	6669.828	174891.475143	4.761
U108	15517.407	6666.317	-126544.454085	6.831
DK167	15512.398	6661.673	-231336.391374	15.319
DK166	15501.030	6651.404	-285652.980840	8.265
U39	15502.347	6643.245	-107508.776445	13.395
U40	15515.686	6644.469	28440.252438	3.879
DK165	15519.517	6645.078	-32746.180870	4.076
DK164	15522.553	6642.359	-64666.955798	3.032
DK303	15519.888	6640.912	-33429.838752	0.713
DK302	15519.979	6640.205	-28355.001633	3.812
DK163	15516.335	6639.085	-20543.627540	1.459
U38	15514.890	6638.881	-55915.663560	3.401
U37	15514.968	6635.481	-56691.693072	3.497
DK161	15511.480	6635.227	-15682.106280	3.773
DK160	15507.784	6634.470	-32411.268560	2.434
DK159	15505.747	6633.137	-43741.712287	2.238
DK158	15504.075	6631.649	-50031.650025	2.265
DK119	15502.623	6629.910	-41578.034886	1.130
DK118	15502.000	6628.967	-314783.612000	23.247
DK77	15489.135	6609.604	-494211.830445	15.087
DK78	15480.753	6597.060	-222489.382116	2.364
DK80	15479.254	6595.232	-49580.050562	2.724
DK82	15476.903	6593.857	-26001.197040	2.331
DK84	15474.592	6593.552	-5895.819552	2.373
DK87	15472.220	6593.476	31625.217680	25.837
DK75	15446.470	6595.596	45443.514740	9.238
DK68	15437.269	6596.418	42560.550633	22.824
DK62	15414.527	6598.353	78691.160335	37.313
DK45	15377.349	6601.523	54651.098346	4.540
DK42	15372.825	6601.907	23151.474450	13.086
DK22	15359.787	6603.029	-83802.997872	15.037
152	15346.265	6596.451	-92476.592890	6.381
		合 計	-40652.585595	
		合 計 面 積	20326.2927975	
		地 積	20326.29	m <sup>2</sup>

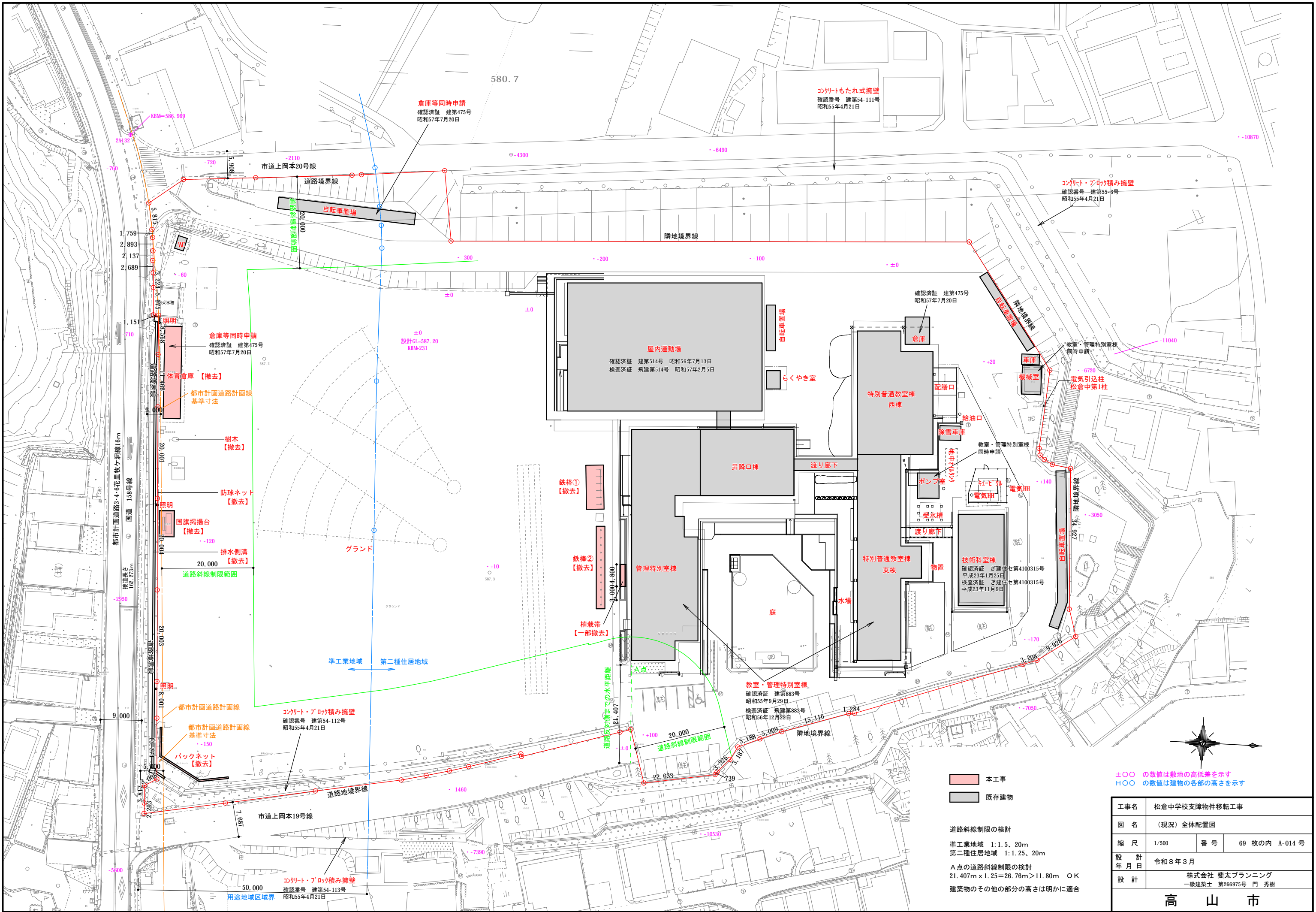
地 番	2 準工業地域			
N0	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
693	15288.993	6600.511	32703.156027	2.188
297	15289.648	6602.599	105406.833312	4.986
304	15290.977	6607.405	140539.369607	4.515
305	15292.053	6611.790	154617.947883	5.815
306	15293.065	6617.516	114223.902485	1.759
DK243	15293.300	6619.259	70762.099100	2.893
DK229	15293.524	6622.143	76773.490480	2.137
AL1	15293.604	6624.279	73653.996864	2.689
AL2	15293.827	6626.959	90172.403992	3.224
AL3	15294.047	6630.175	140445.233601	5.975
AL4	15294.354	6636.142	91077.878070	1.151
AL5	15295.505	6636.130	130761.272245	8.568
AL6	15295.840	6644.691	306130.941760	11.466
AL7	15296.394	6656.144	480796.256208	20.001
AL8	15297.340	6676.123	611220.517040	20.004
AL9	15298.375	6696.100	611246.573125	20.003
AL10	15299.375	6716.078	427908.219375	8.001
AL11	15299.775	6724.069	325074.319425	13.274
AL12	15300.459	6737.325	226752.802380	3.008
AL13	15297.889	6738.889	82287.344931	3.817
AL14	15298.014	6742.704	93424.971498	2.293
AL15	15298.089	6744.996	30840.947424	0.569
AL16	15297.591	6744.720	-9178.554600	0.575
DK214	15297.116	6744.396	133436.742868	9.053
DK212	15297.434	6753.443	204297.231070	4.309
U102	15297.529	6757.751	45800.801826	1.361
DK211	15297.883	6756.437	-48081.246269	2.614
DK210	15299.751	6754.608	-44797.670928	1.916
DK209	15301.320	6753.509	-25476.697800	1.407
DK208	15302.608	6752.943	-26963.195296	4.215
DK206	15306.650	6751.747	-24475.333350	2.048
U101	15308.658	6751.344	-48206.964042	12.347
DK205	15320.696	6748.598	-30151.129728	1.087
U100	15321.455	6749.376	17497.101610	6.865
U99	15328.310	6749.740	-7618.170070	13.382
U98	15341.664	6748.879	-18333.288480	5.643
YC8	15347.297	6748.545	-1048205.037803	68.004
YC7	15344.991	6680.580	-1543383.849789	32.636
YC6	15343.795	6647.966	-946006.336930	29.042
YC5	15343.425	6618.926	-521492.328900	4.963
YC4	15343.041	6613.978	-139698.388305	4.195
YC3	15342.480	6609.821	-191903.739840	8.480
YC2	15341.004	6601.470	-196640.989272	4.599
YC1	15339.908	6597.003	-64274.214520	3.196
DK19	15336.724	6597.280	72143.949696	4.501
DK18	15337.536	6601.707	89877.960960	1.565
DK17	15338.166	6603.140	25538.046390	2.072
DK15	15336.107	6603.372	-87461.818221	6.062
DK16	15334.871	6597.437	-83897.079241	5.827
DK14	15329.063	6597.901	9473.360934	1.858
205	15327.211	6598.055	12185.132745	7.939
203	15319.298	6598.696	19149.122500	7.214
MM97	15312.110	6599.305	11208.464520	1.527
669	15310.588	6599.428	15448.383292	10.483
MM5	15300.143	6600.314	15789.747576	2.699
MM6	15297.448	6600.460	3013.597256	8.455
		合 計	-14565.913309	
		合 計 面 積	7282.9566545	
		地 積	7282.95	m <sup>2</sup>

第二種住居地域	20,326.29	
準工業地域	7,282.95	
合計	27,609.24	m <sup>2</sup>

工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	敷地面積表		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-012 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			







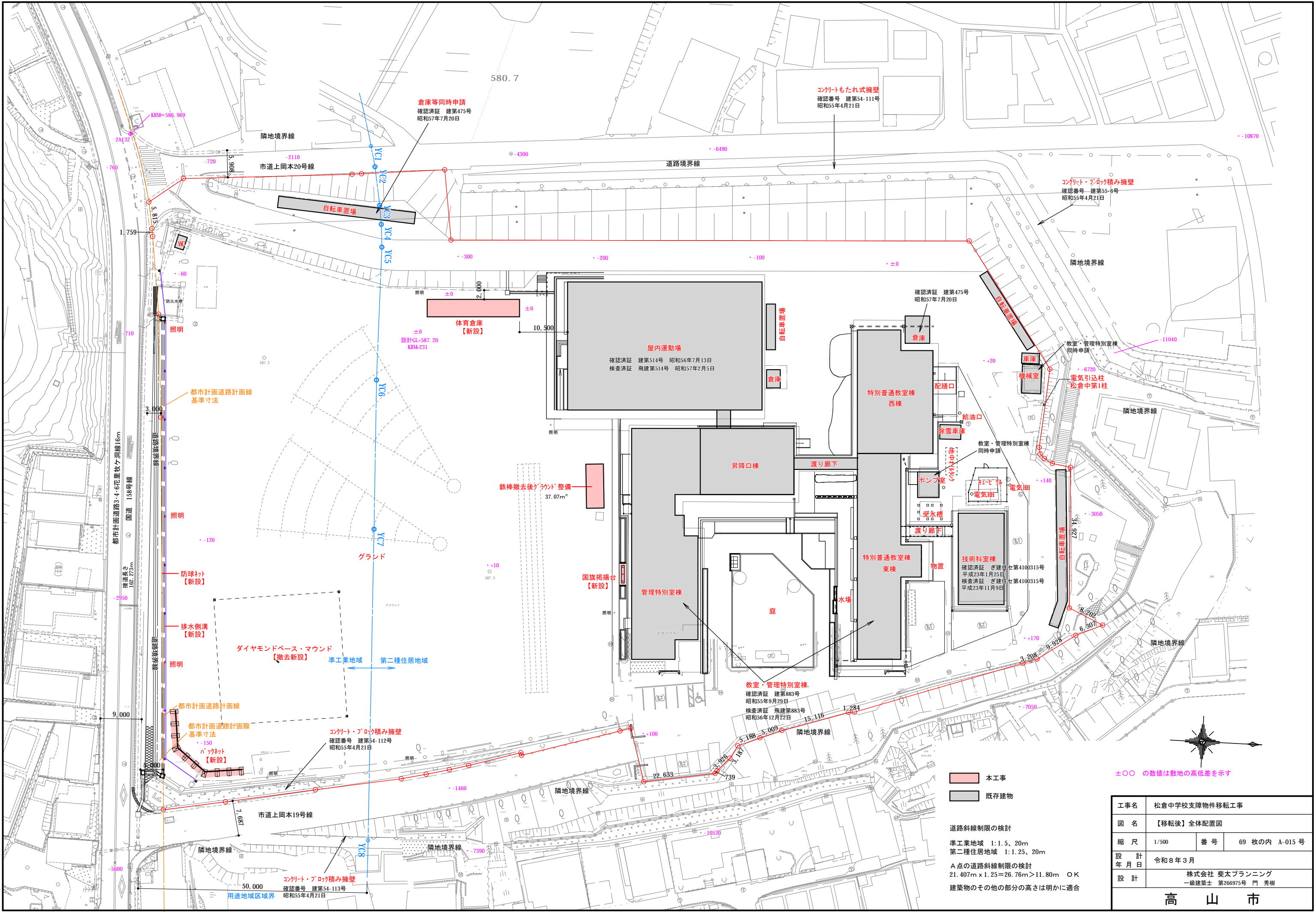
±〇〇 の数値は敷地の高低差を示す  
H〇〇 の数値は建物の各部の高さを示す

- 本工程
- 既存建物

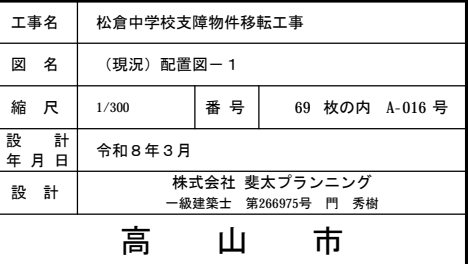
道路斜線制限の検討  
準工業地域 1:1.5、20m  
第二種住居地域 1:1.25、20m  
A点の道路斜線制限の検討  
21.407m x 1.25 = 26.76m > 11.80m OK  
建築物のその他の部分の高さは明かに適合

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	(現況) 全体配置図		
縮 尺	1/500	番 号	69 枚の内 A-014 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



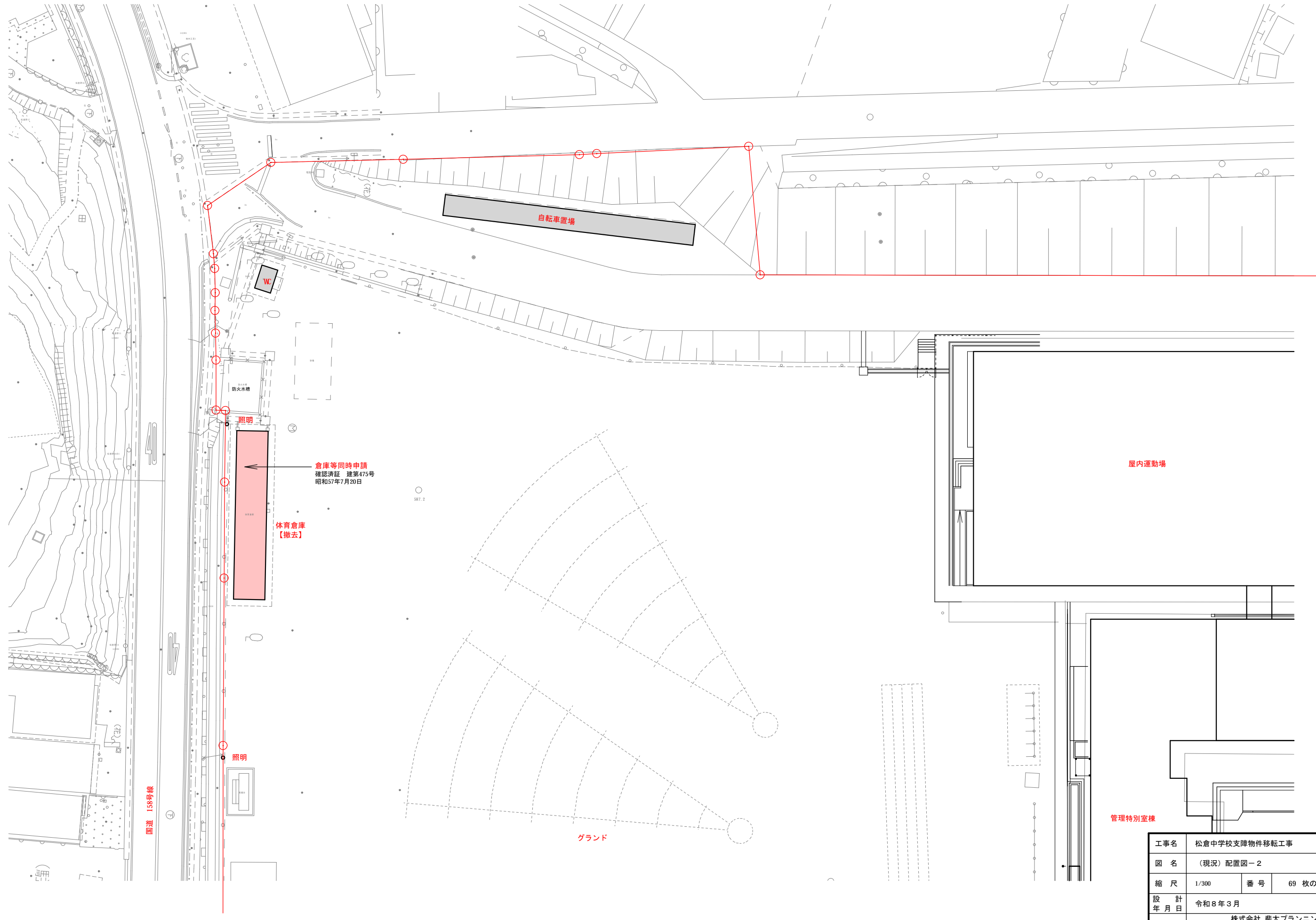


工事名	松宮中学校支障物件移転工事		
図 名	【移転後】全体配置図		
縮 尺	1/500	番 号	69 枚の内 A-015 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			









倉庫等同時申請  
確認済証 建第475号  
昭和57年7月20日

体育倉庫  
【撤去】

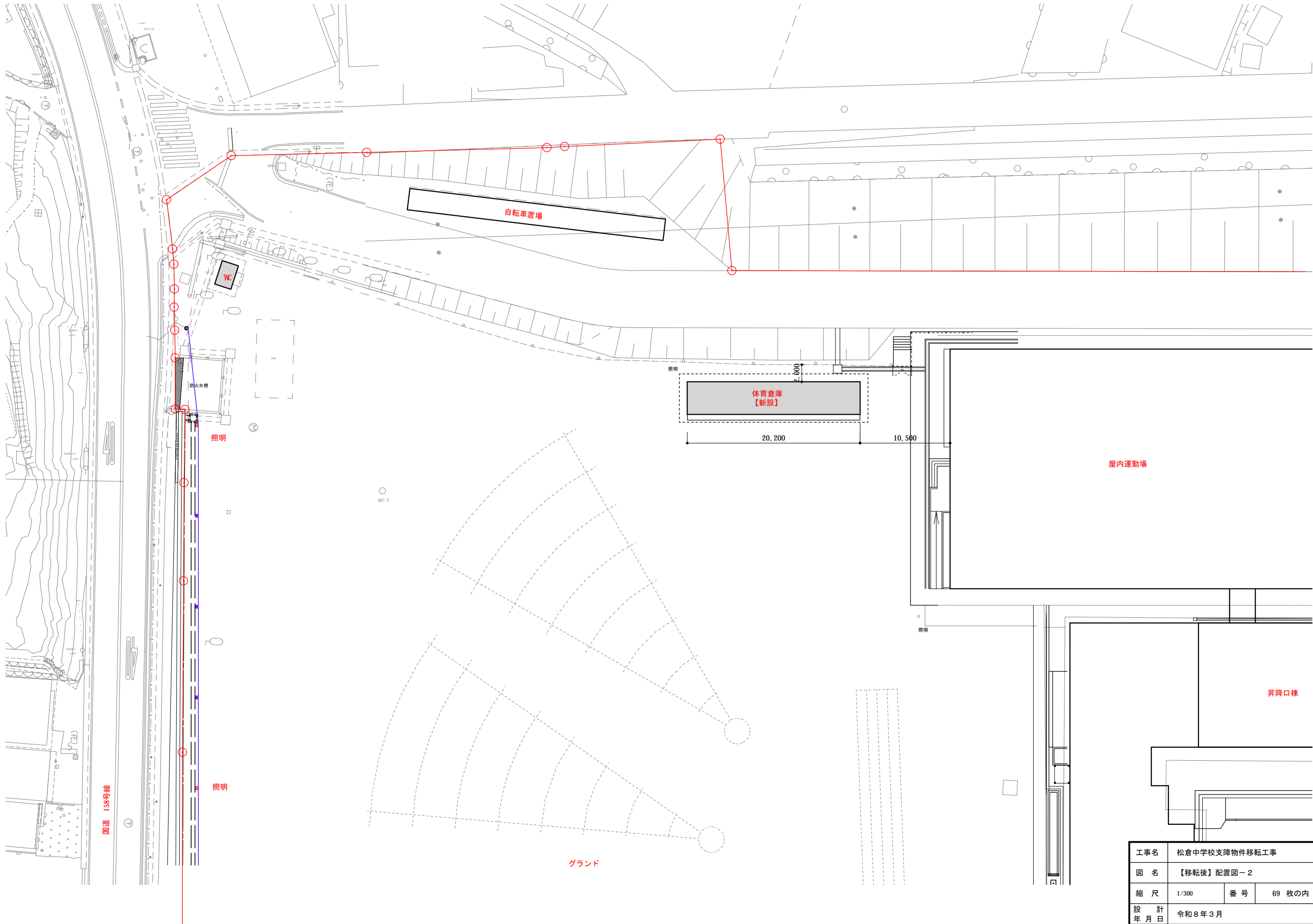
自転車置場

屋内運動場

グラウンド

管理特別室棟

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	(現況) 配置図ー 2		
縮 尺	1/300	番 号	69 枚の内 A-018 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【移転後】配置図－2		
縮 尺	1/300	番 号	69 枚の内 A-019 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

【 建物概要 】	
名 称	松倉中学校体育倉庫
工事場所	高山市上岡本町 地内
用途地域	二種住居、準工業
防火地域	法第22条区域
その他	—
敷地面積	27,609.24 m <sup>2</sup>
建築面積	72.87 m <sup>2</sup>
延べ面積	72.87 m <sup>2</sup>
主要用途	学校（体育倉庫）
耐火建築物等	その他
部位	仕様
基礎	R C べた基礎
床	土間コンクリート
柱	木造
梁	木造
外壁	その他
軒裏	その他
屋根	不燃仕上げ
階段	—
開口部	その他
設備工事	電気設備
備考	

[illegible]

【 耐火仕様凡例 】		
床	R C造、S R C造	H12建告1339号
	合成ﾎﾞｰｯｷｽﾗｰﾌﾞ t50+CON80	1時間耐火 FP060FL-9095、FP060FL-9101
	合成ﾎﾞｰｯｷｽﾗｰﾌﾞ t50+CON90	2時間耐火 FP120FL-9107、FP120FL-9113
	A L C t100	1時間耐火 FP060FL-9119
	A L C t120	2時間耐火 FP120FL-9120
柱	R C造、S R C造	H12建告1339号
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t25	1時間耐火 FP060CN-9460
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t45	2時間耐火 FP120CN-9463
	鉄骨造 ALCt50巻き	1時間耐火 FP060CN-9405
梁	R C造、S R C造	H12建告1339号
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t25	1時間耐火 FP060CN-9408
	鉄骨造 乾式ﾛｯｸｰﾙ吹付t45	2時間耐火 FP120CN-9411
	鉄骨造 ALCt50巻き	1時間耐火 FP060BM-9352
外壁	R C造	H12建告1339号
	A L C t100	1時間耐火 H12建告1339号
	A L C t50	1時間耐火 FP060NE-9293
屋根	R C造、S R C造	H12建告1339号
	硬質木片ﾍﾞｰﾄﾞ板t18	30分耐火 FP030RF-9082
	木毛ﾍﾞｰﾄﾞ板t25+亜鉛鉄板t0.4	30分耐火 FP030RF-9092
	A L C t100	30分耐火 H12建告1339号
	A L C t50	30分耐火 FP030RF-9320
軒裏	硬質木片ﾍﾞｰﾄﾞ板t18	1時間準耐火/不燃 H12建告1358号、QM-0796
	繊維強化ﾍﾞｰﾄﾞ板t16(ケｲｰﾙ板t8+8)	1時間準耐火/不燃 H12建告1358号、NM-3522
	ﾊﾞｰﾙﾌﾞ 繊維混入ﾍﾞｰﾄﾞ板t14	45分準耐火/不燃 QF045RS-9122、NM-3011

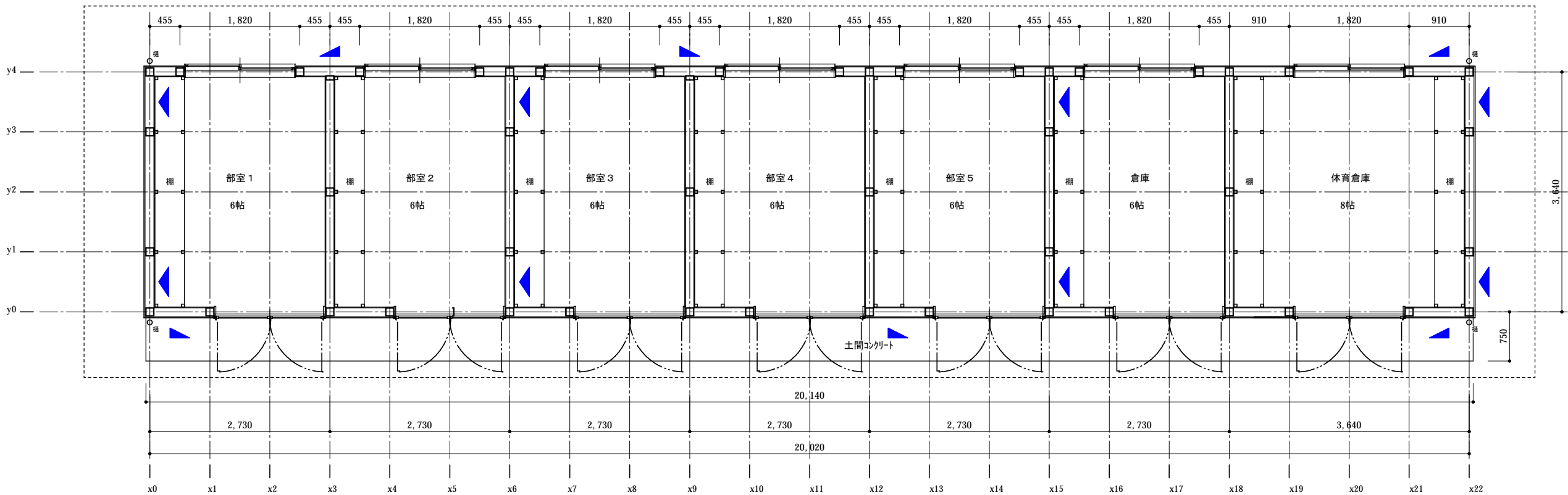
【 共通仕上り記号 】		
GB-Rt12.5～25	せっこうボードt12.5～25（不燃）	NM-8619
GB-NCt9.5	せっこうボードt9.5（不燃）	NM-0441
GB-Rt9.5	せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9828
GB-St9.5～12.5	シーリングせっこうボードt9.5～12.5（準不燃）	QM-9826
GB-St12.5	シーリングせっこうボードt12.5（不燃）	NM-9639
GB-Dt9.5（壁用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9824
GB-Dt12.5（壁用）	化粧せっこうボードt12.5（不燃）	NM-0128
GB-Dt9.5（和天井用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-9824
GB-Dt12.5（和天井用）	化粧せっこうボードt12.5（不燃）	NM-0127
GB-Dt9.5（洋天井用）	化粧せっこうボードt9.5（準不燃）	QM-0524
GB-Dt9.5（洋天井用）	化粧せっこうボードt9.5（不燃）	NM-1864
GB-Dt9.5（吸音）	化粧せっこうボードt9.5（不燃）	NM-0879
GB-Lt7	せっこうラスボードt7（不燃）	NM-8617
GB-Lt9.5	せっこうラスボードt9.5（不燃）	NM-8618
GB-Ft12.5～25	強化せっこうボードt12.5～25（不燃）	NM-8615
ビニルクロス	準不燃	QM-9409
ビニルクロス	不燃	NM-0680
不燃合板		NM-8599
岩綿吸音板t9	不燃	NM-8599
ケイカル板t6	無石綿t6のケイ酸カルシウム板 t=6 SUS使用	NM-8618
化粧ケイカルt5	不燃	NM-0393
折板	カラーガルバリウム鋼板t0.6、0.8 不燃	NM-8697
カラーガルバリウム鋼板	不燃	NM-8697
防火サイディングt15、16	木造下地 防火構造	PC030BE-9201
防火サイディングt15、16	鉄骨下地 防火構造	PC030BE-9202
防火サイディングt15	窯業系サイディング 準不燃	QM-0629
防火サイディングt16	窯業系サイディング 不燃	NM-9744
軒天用防火サイディングt12	バルブ繊維混入セメント板t12 木造下地 （準耐火30分）	QF030RS-0157
軒天ケイカル板t10	無石綿t10のケイ酸カルシウム板 t10（準耐火30分）	QF030RS-0192
左官用構造合板t9	外壁側：ラスカットt9+モルタルt10、内壁側：GB-Rt9.5以上	PC030BE-0001
練り付け合板	モアウッド（エイカ）不燃	NM-1739
SOP	合成樹脂調合ペイント(木部、鉄部B種亜鉛メッキ面 各2面)	
EP	合成樹脂エマルジョンペイント	
EP-G	有光沢合成樹脂エマルジョンペイント	
OS	油性スチン(スチン1回)	
UV	ウレタン樹脂 ワニス塗り(2回)	
CL	クリフロッグ塗り	
PW	ホリウレタン塗装	
WP	木材保護塗装	

部位	下地	仕上げ
屋根	スギ野地板t12、化粧野地板t10、改質アスファルトフイック	カラーガルバリウム鋼板t0.4 立ハセ葺き 遮熱銅板 不燃材料
軒天	木下地	スギ野地板現し、木材保護塗装
外壁	木下地、透湿防水シート	防火サイディングt16塗装品 横張 金具留め通気工法
巾木	コンクリート	打放補修
ポーチ	土間コンクリート	直均し
バルコニー	ー	ー
雪止	L-40x40 溶融亜鉛メッキ	DP塗装
軒樋	住宅用軒樋既製品、内吊金物φ450	
縦樋	カラー鉄板φ75 掴み金物φ1200	

[illegible]

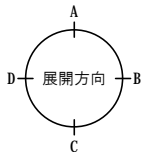
【 断熱仕様 】	
地域	Ⅱ 地域 （施工範囲は図示）
等級	—
部位	材料
屋根	—
天井	グラスウール16kg t100
外壁	グラスウール16kg t100
床(外気に接する)	—
床(その他)	—
外周部(外気に接する土間床)	—
外周部(その他の土間床)	—
開口部	樹脂複合アルミサッシ
	Low-E複層ガラス（空気層12mm）

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 仕様書・仕上げ表		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-020 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975 門 秀樹		
高 山 市			



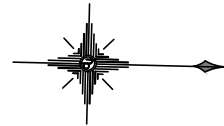
平面図

建築面積 20.02 x 3.64 = 72.87m<sup>2</sup>  
延べ面積 20.02 x 3.64 = 72.87m<sup>2</sup>



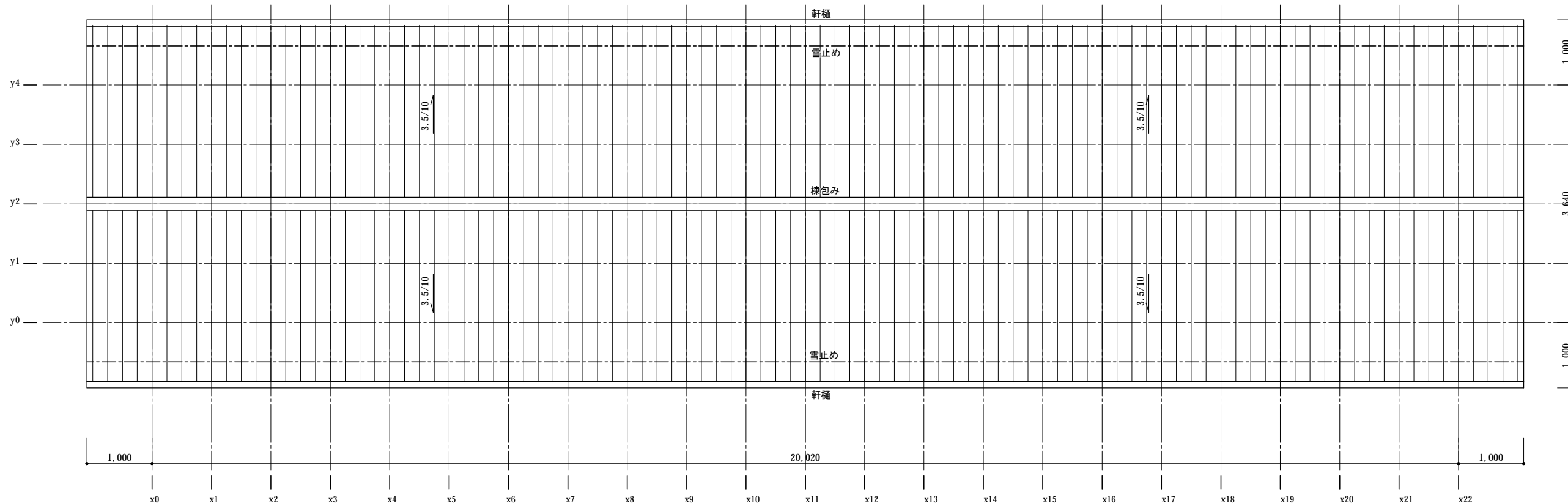
- ※ 土台より1mの範囲にはある柱、間柱等木材には(社)日本木材保存協会認定の防腐剤を塗布すること
- ※ 仕上げ・下地共、使用材料は全てJIS及びJAS基準F☆☆☆☆とする
- ※ 使用接着剤のホルムアルデヒド発散等級は、JIS基準F☆☆☆☆とする
- ※ クロルビリホスを含む材料は使用禁止とする
- ※ アスベストを含む材料は使用禁止とする
- ※ 特記なき場合の内外木部は、木材保護塗装とする。

柱頭 柱脚 筋かいシングル 45x90  
筋かいダブル 45x90

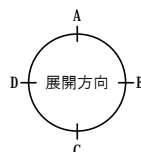
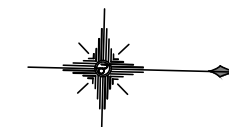


工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 平面図		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-021 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			





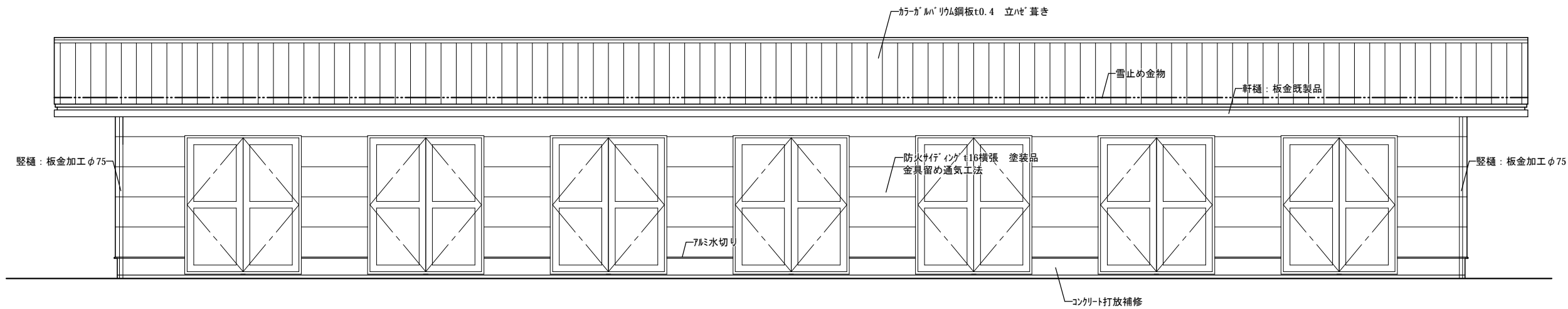
屋根伏図



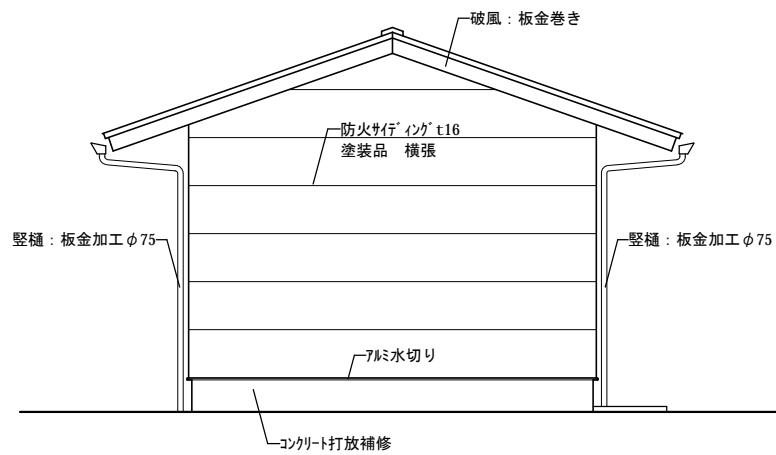
- ※ 土台より1mの範囲にはある柱、間柱等木材には(社)日本木材保存協会認定の防腐剤を塗布すること
- ※ 仕上げ・下地共、使用材料は全てJIS及びJAS基準F☆☆☆☆とする
- ※ 使用接着剤のホルムアルデヒド発散等級は、JIS基準F☆☆☆☆とする
- ※ クロルビリホスを含む材料は使用禁止とする
- ※ アスベストを含む材料は使用禁止とする
- ※ 特記なき場合の内外木部は、木材保護塗装とする。

- 柱頭 柱脚 筋かいシングル 45x90  
筋かいダブル 45x90

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 屋根伏図		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-022 号
設 計 年 月 日	令和8年3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

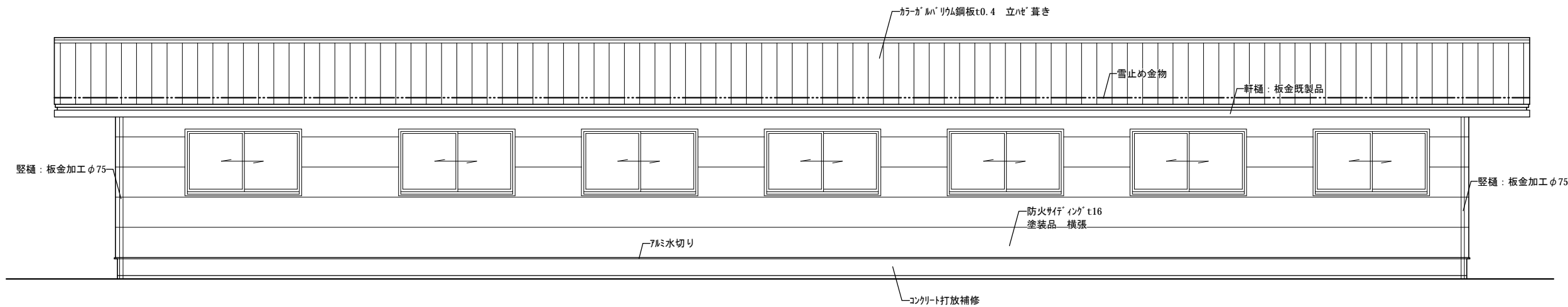


東立面図

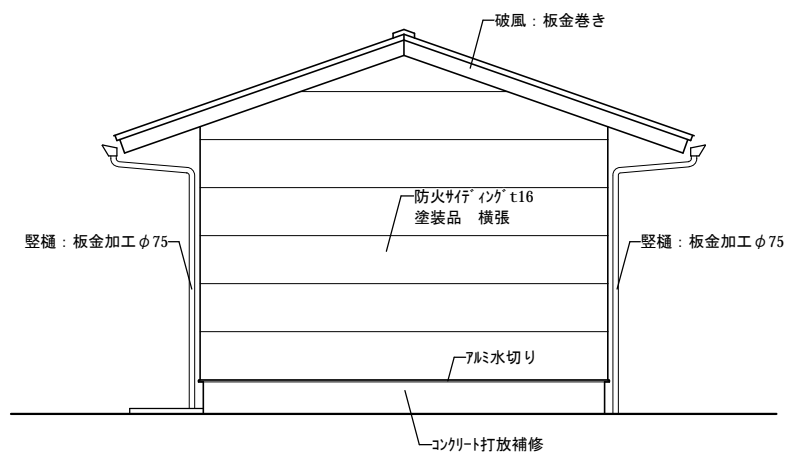


南立面図

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 立面図－1		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-023 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

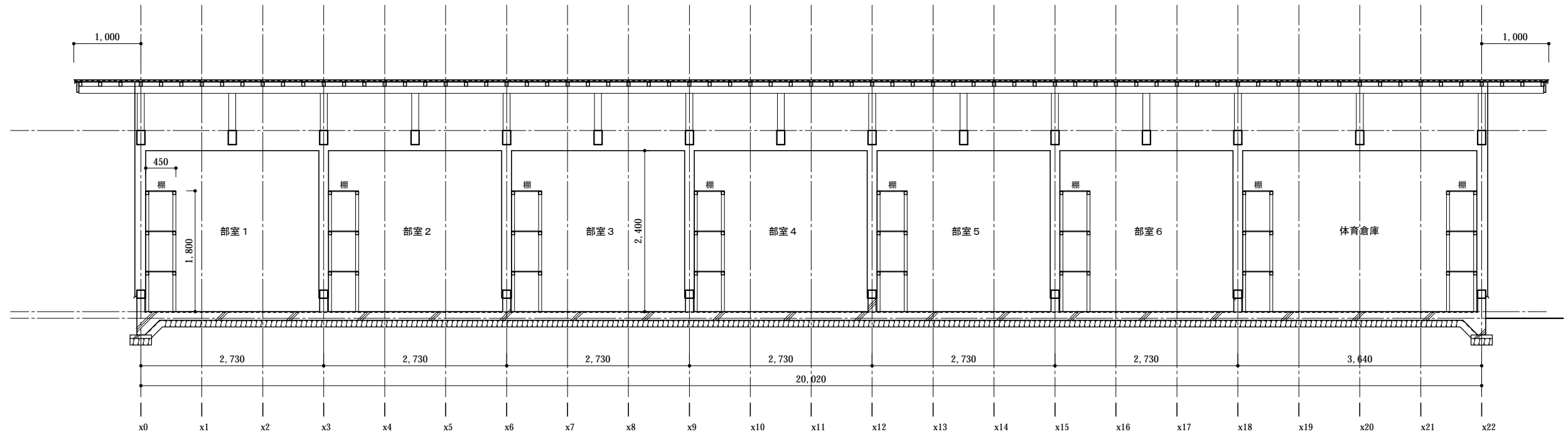


西立面図

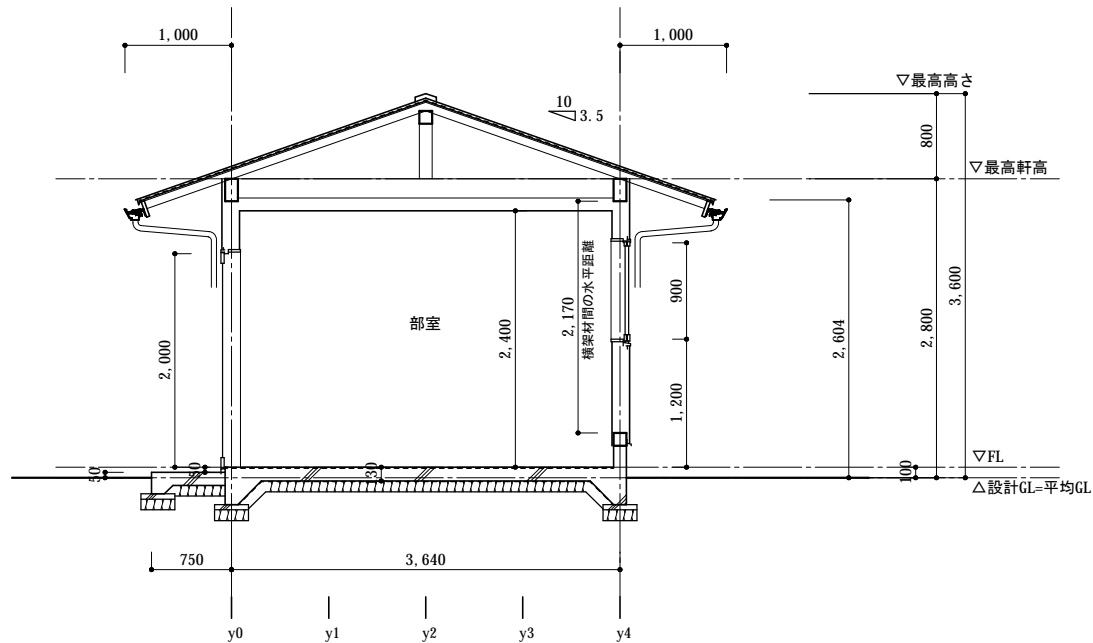


北立面図

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 立面図-2		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-024 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

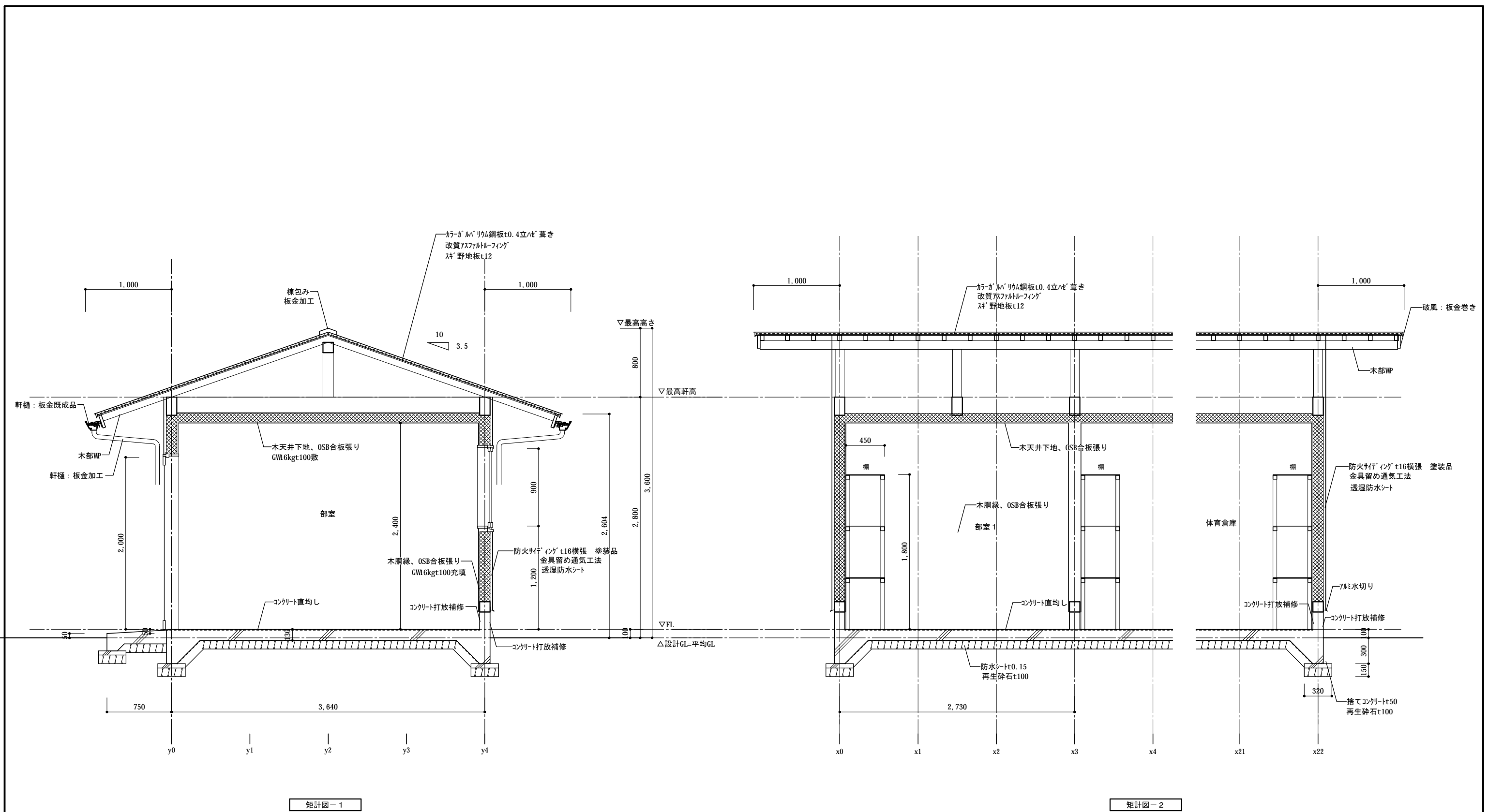


断面図 - 1



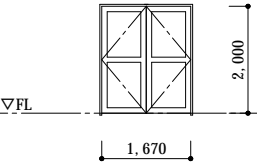
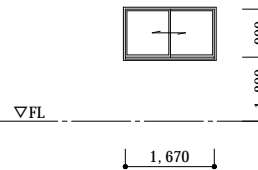


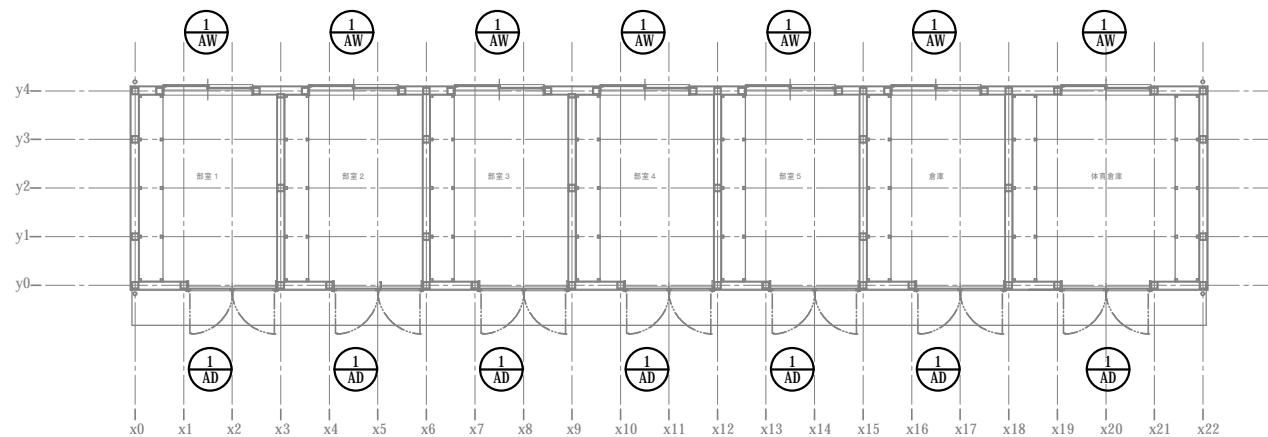
断面図 - 2

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 断面図		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-025 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



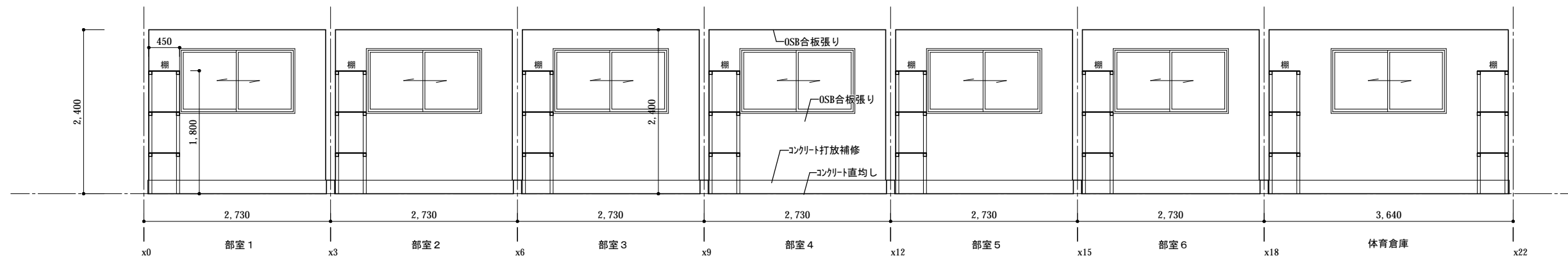
工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 矩計図		
縮 尺	1/20	番 号	69 枚の内 A-026 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

符号・名称	 7ℓミ片開き戸	 7ℓミ引違い窓					
防 火 仕 様	—	—					
室名・数量	部室、倉庫 7ヶ所	部室、倉庫 7ヶ所					
姿 図 (呼び寸法)							
仕上・見込	ブラック / 70	ブラック / 70					
ガ ラ ス	FW6.8、下部ハミ	FW6.8					
金 物	レバーハンドル、丁番、ドアチェック、フリス落し シンナー/ゴムロープ、付属金物一式	クレント、樹脂網戸 付属金物一式					
備 考	木造用、下枠無しアンダーカット	木造用					

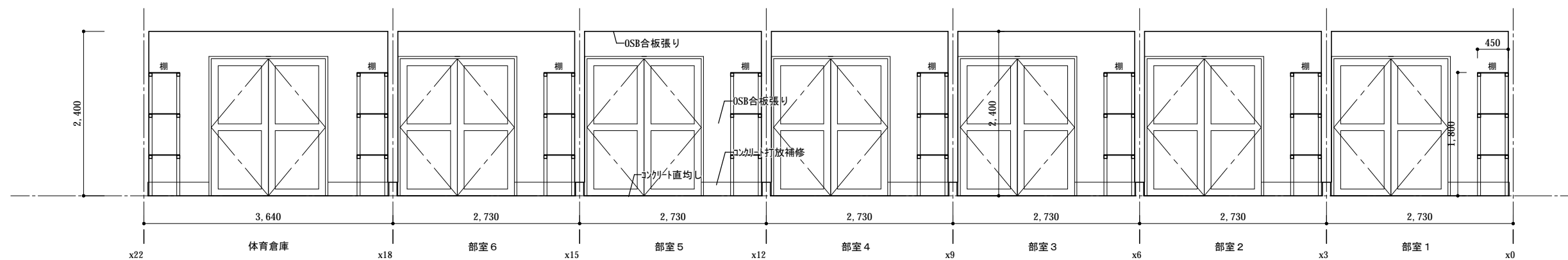


平面图

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 建具図		
縮 尺	1/100	番 号	69 枚の内 A-027 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



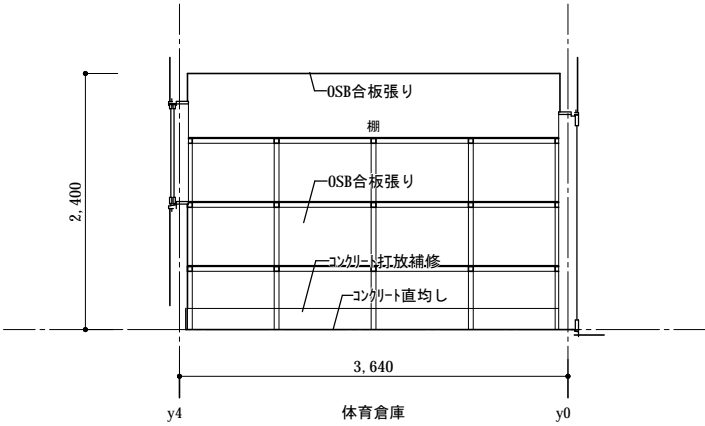
A 展開図



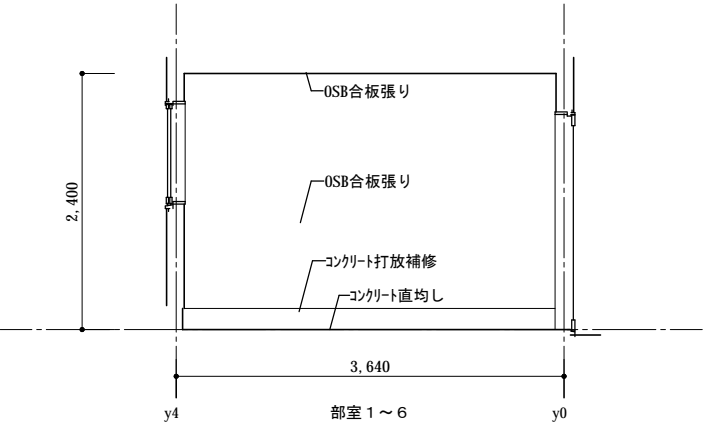
B 展開図

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 展開図－１		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-028 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

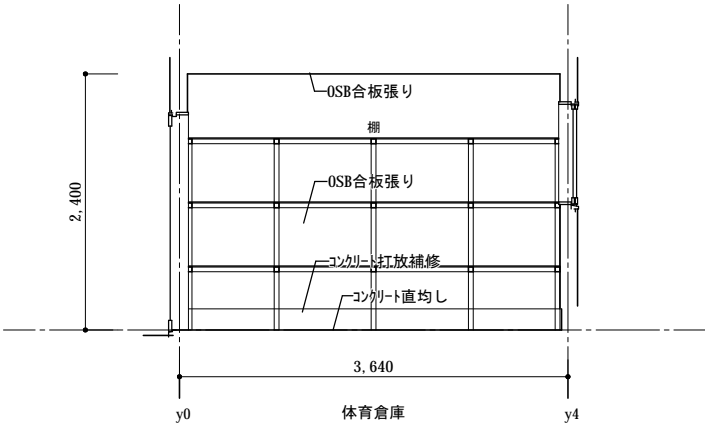




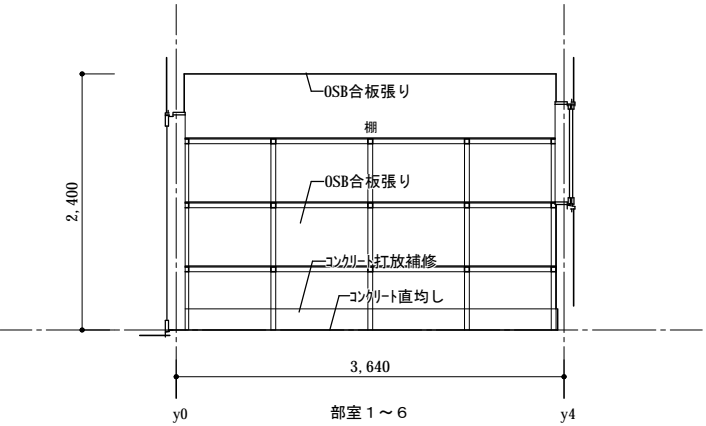
B 展開図



B 展開図

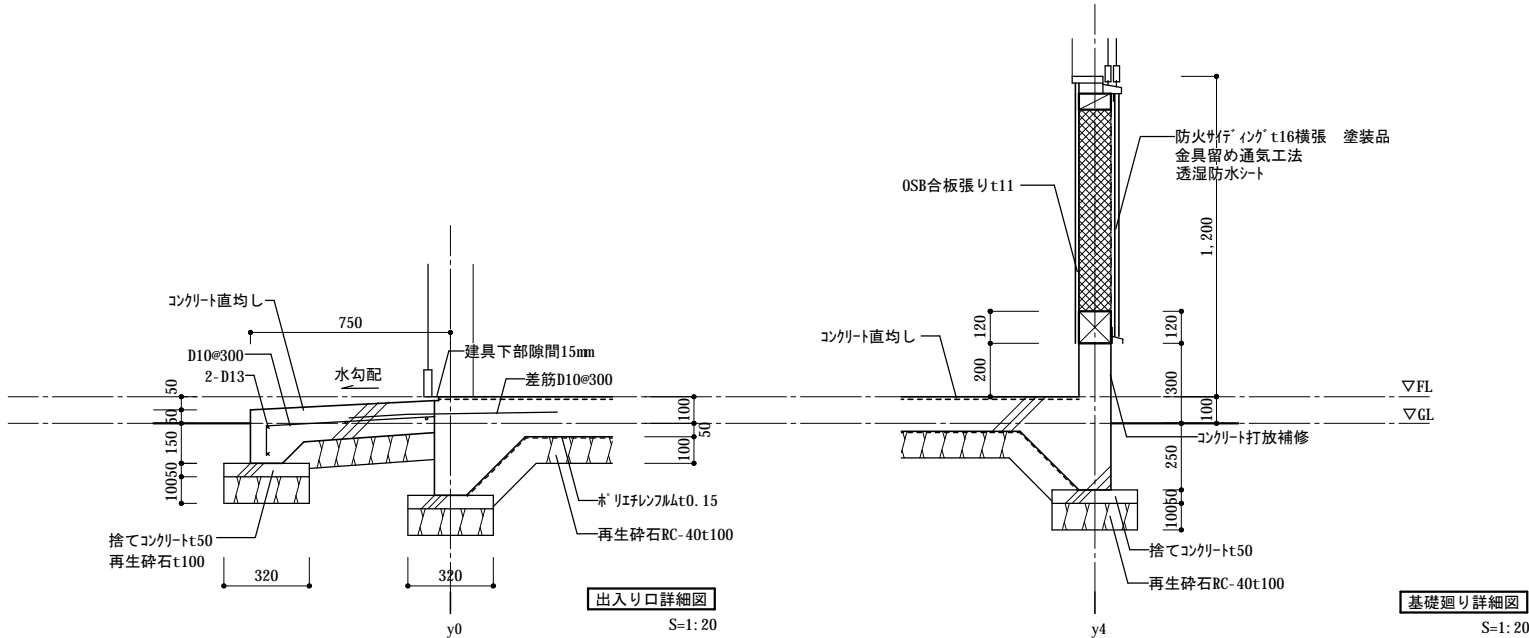


B 展開図

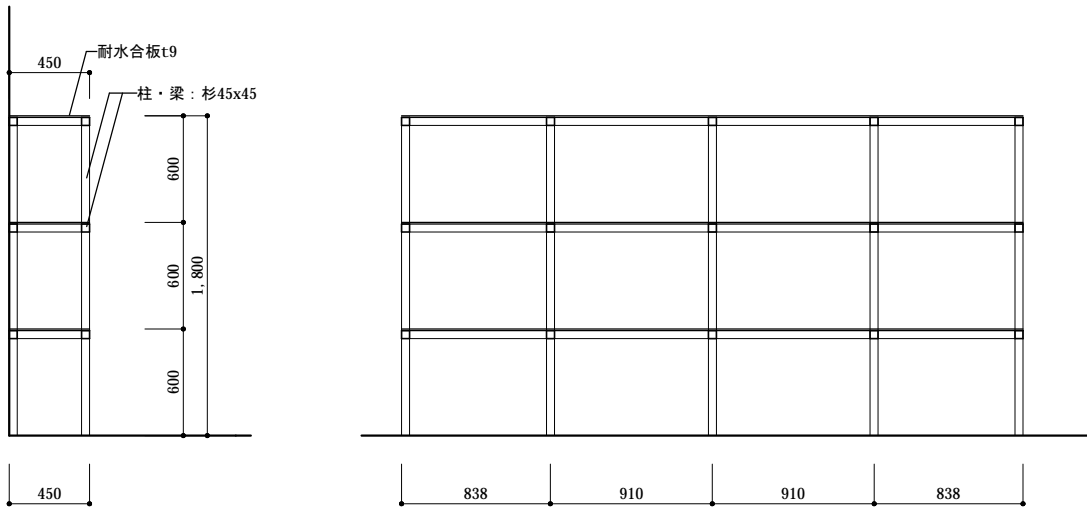


B 展開図

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 展開図－2		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-029 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



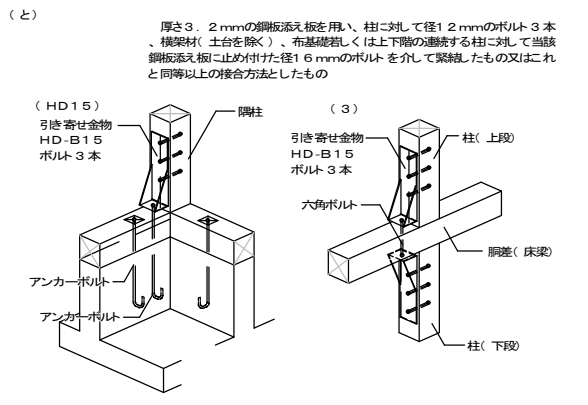
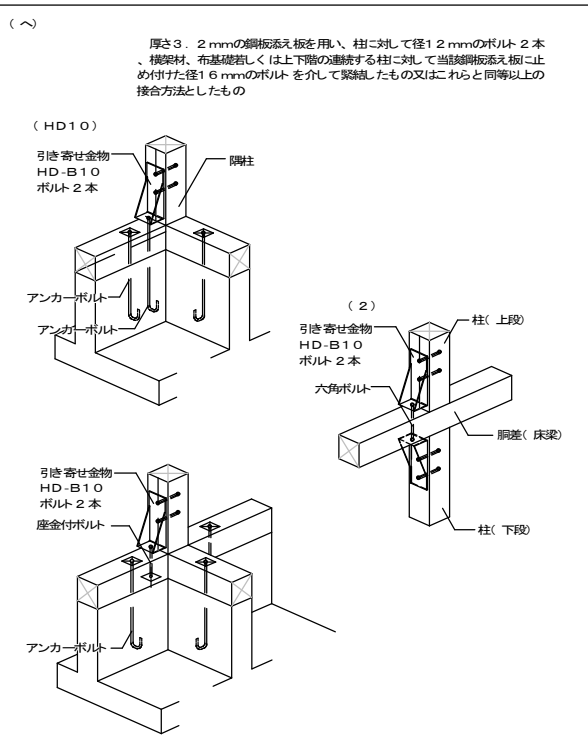
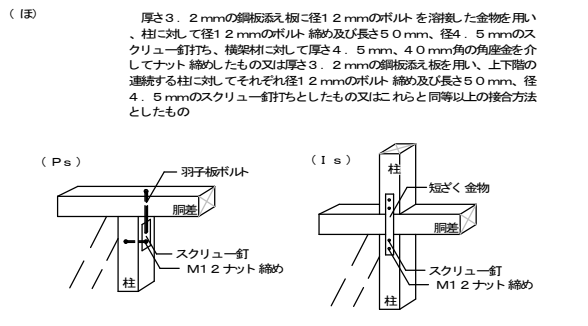
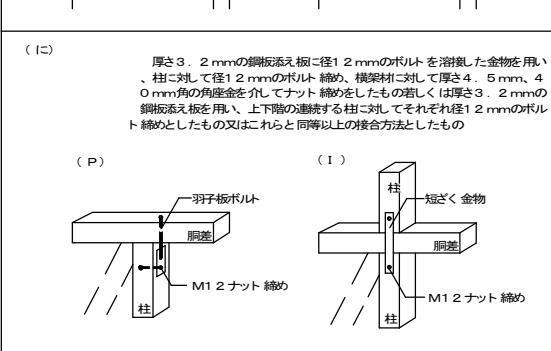
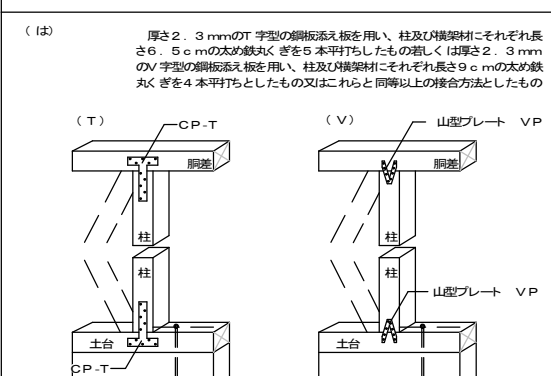
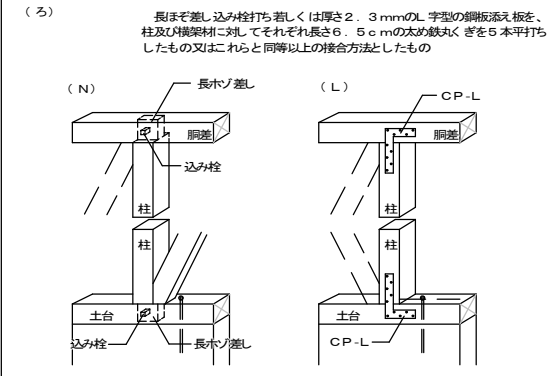
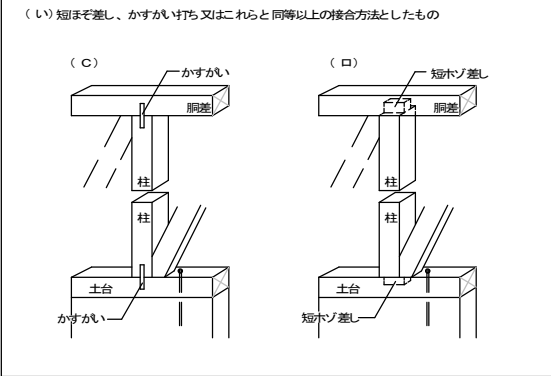
体育倉庫・部室 棚 S=1: 30



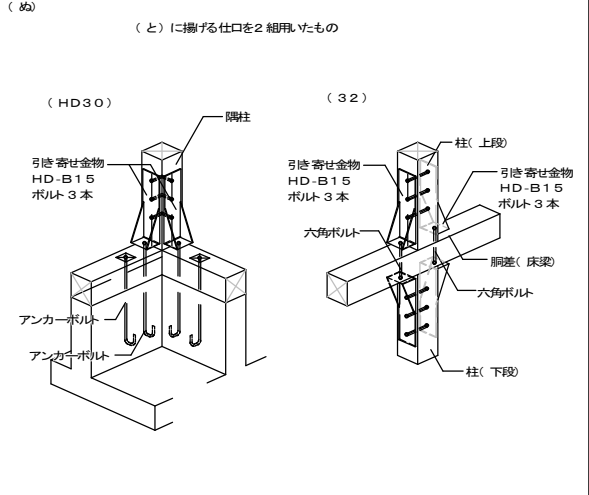
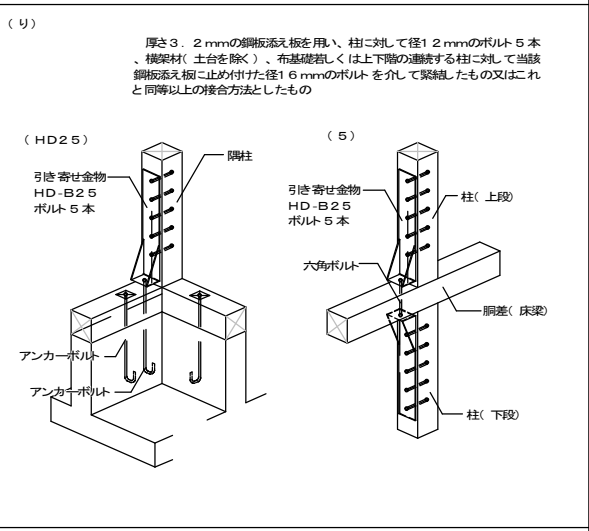
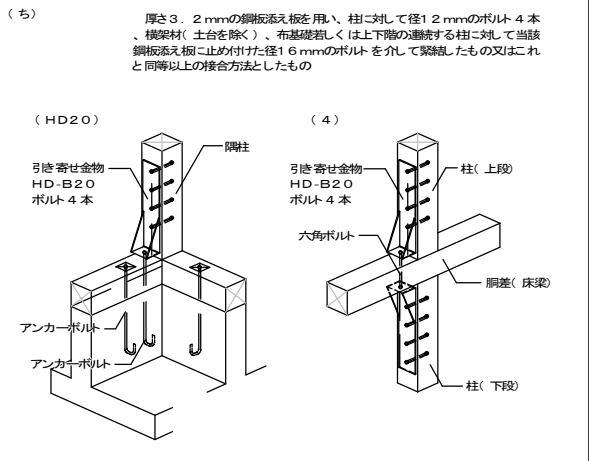
工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 雑詳細図、家具図		
縮 尺	1/20, 30	番 号	69 枚の内 A-030 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

軸組部材の柱と主要な横架材との仕口

※ 金物は全て「Zマーク金物」又は同等の認定金物とする。



※その他の構造耐力上主要な部分の継手又は仕口にあつては、ボルト締め、かすがい打ち、込み栓打ちその他の構造方法によりその部分の存在応力を伝えるように緊結したものでなくてはならない。



特記事項		コンクリートの養生(令第75条)
「建築工事標準仕様書 JASS5」4節による。		「建築工事標準仕様書 JASS5」8節による。
セメント	ポルトランドセメント	型枠及び支柱の除去(令第76条)
粗骨材	砂利・砕石、最大径25mm(ラッブルは最大径40mm)	「建築工事標準仕様書 JASS5」9節による。
細骨材	砂・砕砂	存置期間 建設省告示第110号による。
混和剤	AE減水剤・高性能AE減水剤	鉄筋のかぶり厚さ(令第79条)
塩化物規制	0.3kg/m <sup>3</sup> 以下	「建築工事標準仕様書 JASS5」3節、10節による。
鉄筋の継手及び定着(令第73条)		上記以外については「建築工事標準仕様書 JASS5」による。
「建築工事標準仕様書 JASS5」10節による。		使用鉄筋 SD295A(D16以下)
柱に取り付く梁の主筋の柱への定着長さは主筋径の40倍とする。		SD345(D19以上)
コンクリートの強度(令第74条)		地耐力 30kN/m <sup>2</sup>
「建築工事標準仕様書 JASS5」3節、5-7節、11節による。		
コンクリートの種類 レディーミクストコンクリート		
水セメント比 65%以下		
設計基準強度及びスランプ		
基礎 Fc=21N/mm <sup>2</sup> sl=18cm		
土間 Fc=21N/mm <sup>2</sup> sl=15cm		
捨て・ラッブル Fc=18N/mm <sup>2</sup> sl=15cm		
コンクリートの塩化物に関しては、カンタブによる試験とする。		
圧縮強度試験 4週の供試体は公的試験場による試験とする。		
地耐力の確認 30kN/m <sup>2</sup>		
スクリーウエイト貫入試験を行うこと		

木部材リスト

名 称	符 号	部 材
柱	□	120x120(図示なき限り) (桧 特一等)
土 台	▬	120x120(図示なき限り) (桧 特一等)
大引き	≡	120x120(図示なき限り) (桧 特一等)
軒桁,小屋梁	▬	幅120 成(270まで) ※図示 (杉 特一等)
床梁	▬	幅 90 成 90 (杉 特一等)
小屋束	○	105x105 (桧 特一等)
火打ち	△	90x90 (杉 特一等)
雲筋違		15x75 (杉 特一等)
母屋	≡≡≡	120x120 @910 (杉 特一等)
垂木	----	45x60 @303 (桧 特一等)
筋かい	≡	45x90(タキ) (杉 特一等)
	下△上	45x90 (杉 特一等)
面材耐力壁	≡≡	構造用合板 厚12 周辺部 N50@150以下 中央部N50@200以下
アンカーボルト	○	M2 L=400 (JIS B 1180)
	●	M6 L=700 (引き寄せ金物用) (JIS B 1180)

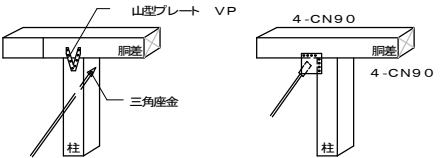
※市産材を活用のこと

筋かい部材と軸組との止め付け部

筋かいの端部における仕口にあつては、次に掲げる筋かいの種類に応じ、それぞれイからホまでに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法によらなければならない。

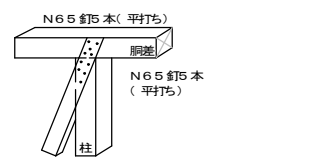
イ 径9mm以上の鉄筋

柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋の止め付けた鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9cmの太め鉄丸を5本(日本工業規格A550B(くぎ) 1992のうち太め鉄丸を5本に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を8本打ち付けたもの



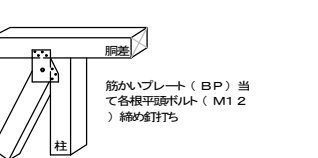
ロ 厚さ1.5cm以上で幅9cm以上の木材

柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6.5cmの太め鉄丸を5本(日本工業規格A550B(くぎ) 1992のうち太め鉄丸を5本に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を5本平打ちしたもの



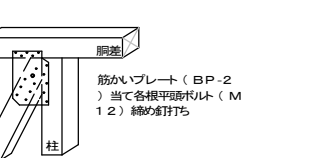
ハ 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ1.6cmの鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト(日本工業規格B1130(六角ボルト) 1994のうち強度区分4.6に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)締め及び長さ6.5cmの太め鉄丸を3本平打ち、柱に対して長さ6.5cmの太め鉄丸を3本平打ち、横架材に対して長さ6.5mmの太め鉄丸を4本平打ちしたもの



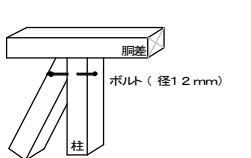
ニ 厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ2.3cm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4.5mmのスクリューを5本の平打ちしたもの

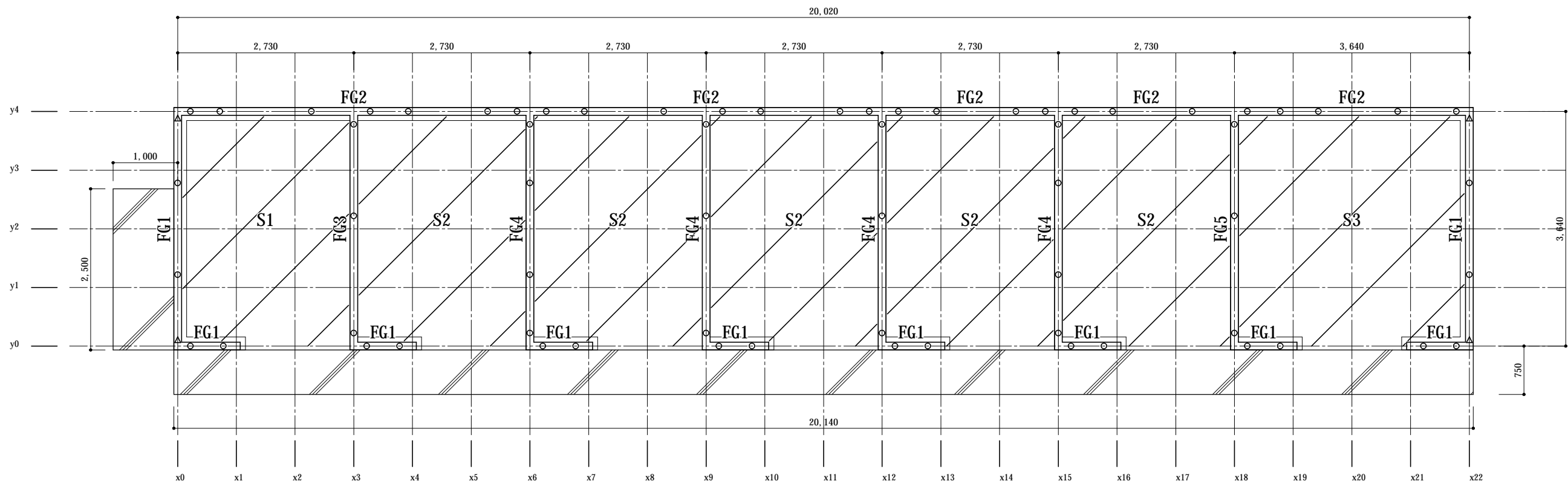


ホ 厚さ9cm以上で幅9cm以上の木材

柱又は横架材に径12mmのボルトを用いた1面せん断接合としたもの



工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 構造特記仕様書		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-031 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹		
高 山 市			

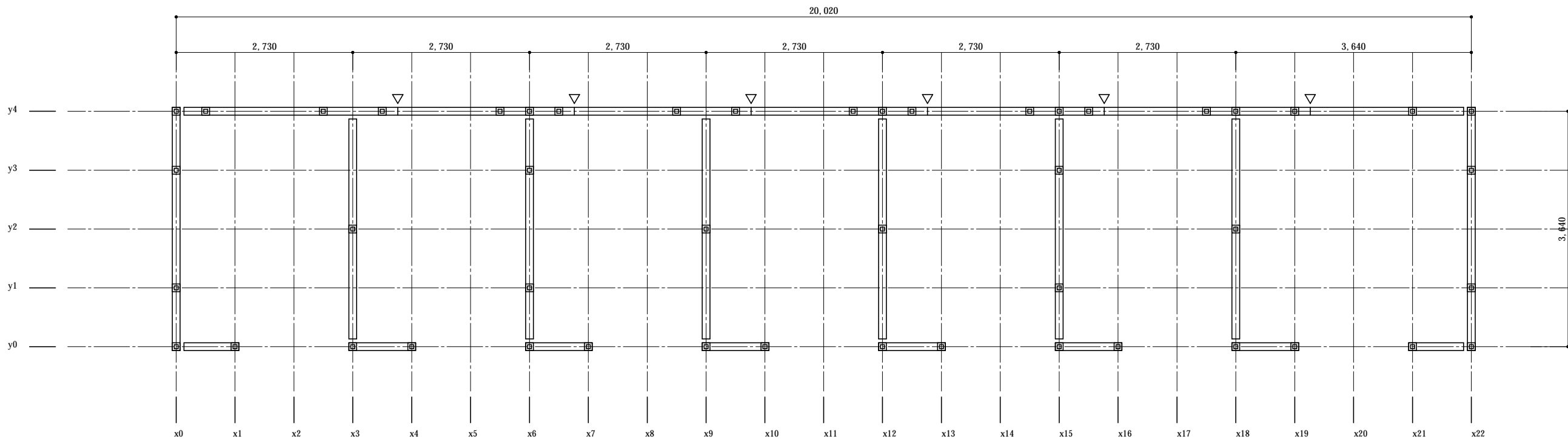


基礎伏図

凡例

	基礎梁 (外側の線は地中梁) FG2: 基礎梁の断面形状		独立基礎		床束		M12アンカーボルト
	人通口・開口部		床下換気口		床下点検口		底盤
* 印の箇所は編集値で検定							

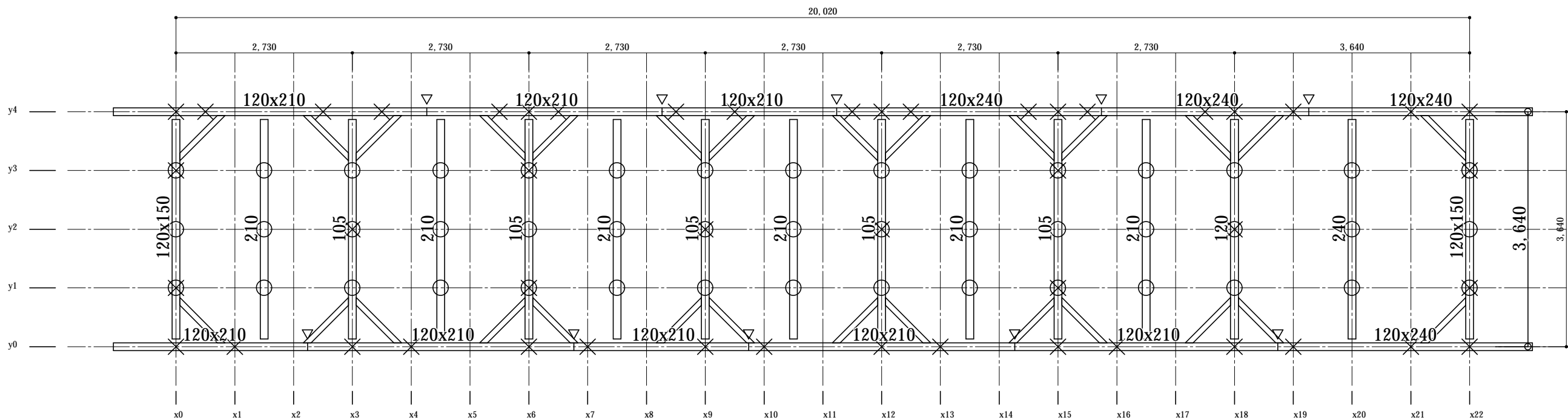
工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 基礎伏図		
縮 尺	1/100	番 号	69 枚の内 A-032 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



土台伏図

- 凡例
- 土台
  - 緩手
  - 大引(括弧付きの数値は配置高さ)
  - 1階柱
  - 通し柱
  - 火打土台
  - 床下点検口
  - 根太

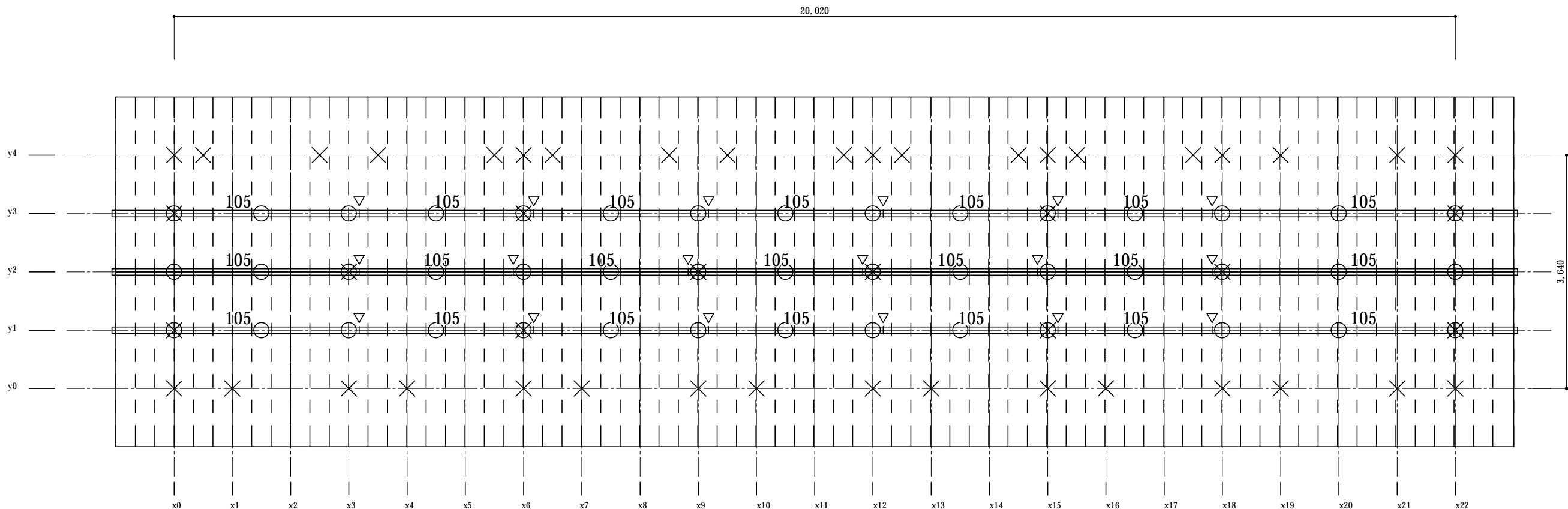
工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 土台伏図		
縮 尺	1/100	番 号	69 枚の内 A-033 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



小屋伏図

- 凡例
- (-2000)  
120 梁・桁 (数値：地掘りからの寸法  
数値：梁せい(部材ごと・丸めあり)
- 小屋束 ◇ 束・梁交差 ▨ 母屋下がり ▩ 小屋裏収納等  
□ 上階柱 × 下階柱 ○ 通し柱(1～2階)
- 甲乙梁 ㄣ 継手 三三三 根太 〰 火打梁

工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 小屋伏図		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-034 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

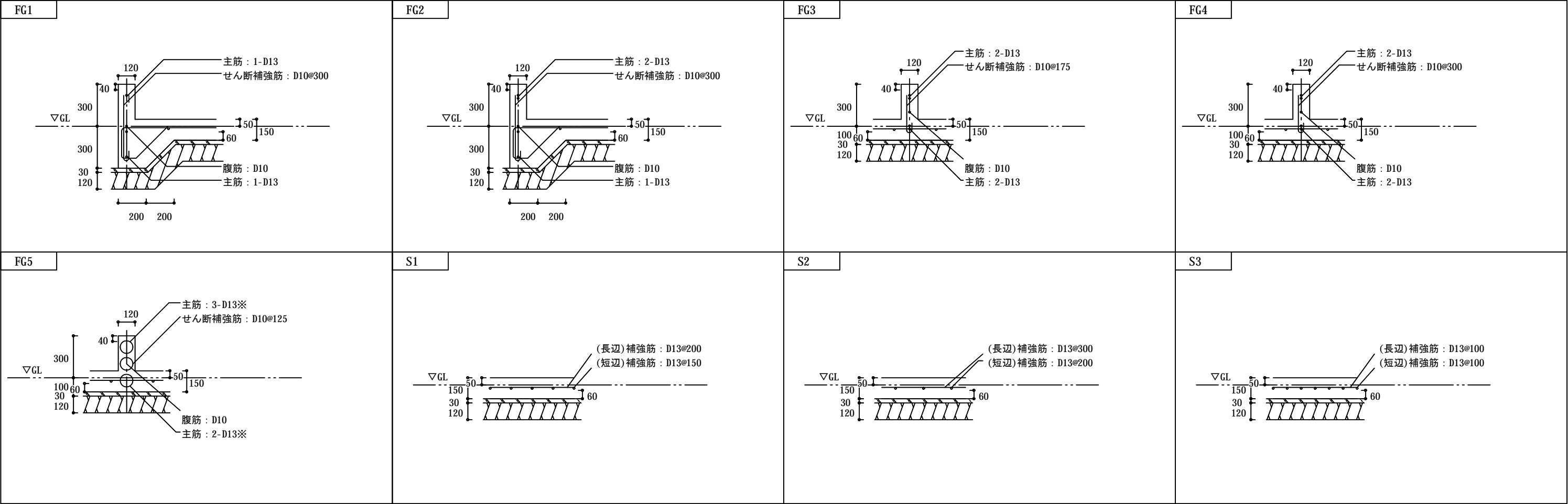


母屋伏図

- 凡例
- 棟木/母屋
  - 継手
  - 隅木・谷木
  - 登り梁
  - 垂木
  - 小屋束
  - 母屋下がり
  - 小屋裏収納等
  - 通し柱(1~2階)
  - 上階柱
  - 下階柱

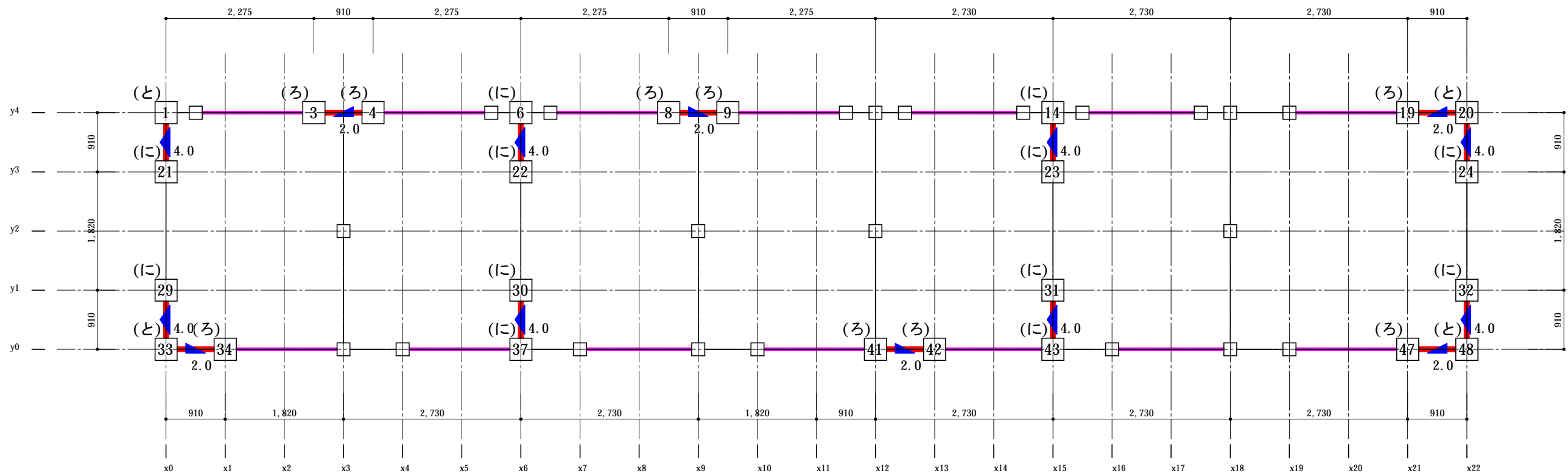
工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 母屋伏図		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-035 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			





基礎上りの配筋天端はフック無しとし  
主筋と補強筋相互に応力を伝達できるよう緊結する事

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 基礎詳細図		
縮 尺	1/20	番 号	69 枚の内 A-036 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



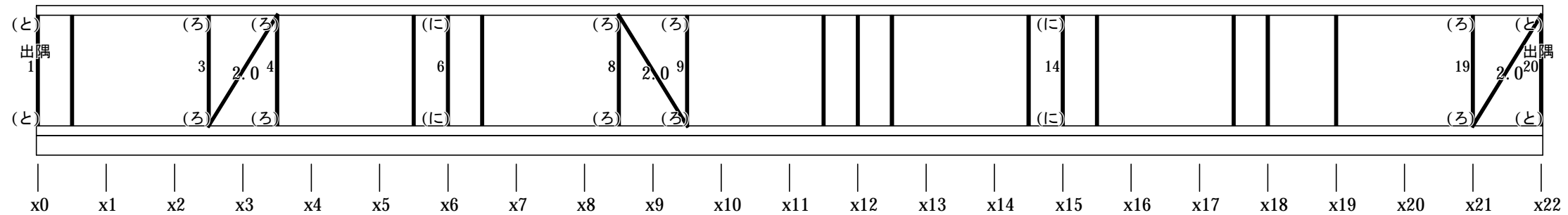
※印の金物は2階柱脚を1階柱頭に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
#印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引張力を土台・基礎に伝達するため)

凡例

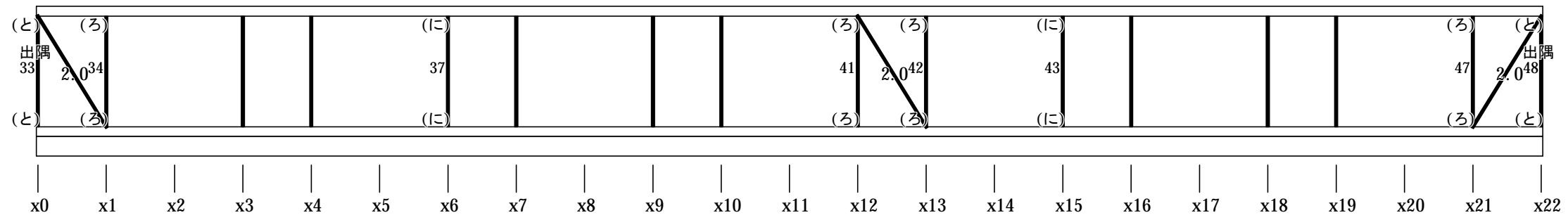
—	一般壁	—	開口部	—	耐力壁	□	検討柱	□	検討外柱	※	検討外柱は(い)の金物を使用する。									
—	面材耐力壁	▲	筋かいダブル	柱頭	▲	筋かいシングル	○	通し柱												
(い)	おがき	(ろ)	CP-L	(は)	VP	(に)	SB-F2	(ほ)	SB-F	(へ)	HD-B10	(と)	HD-B15	(ち)	HD-B20	(り)	HD-B25	(ぬ)	HD-B15X2	
(—)	N=5.6																			

工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 金物配置図		
縮 尺	1/100	番 号	69 枚の内 A-037 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

■y4通り



■y0通り



## 凡例

(い) カスカイ  
(ち) HD-B20

(ろ) CP-L  
(り) HD-B25

(は) VP  
(ぬ) HD-B15X2

(—) N>5.6

(ほ) SB-F

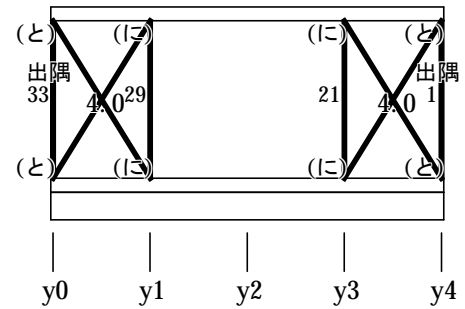
( $\wedge$ ) HD-B10

(と) HD-B15

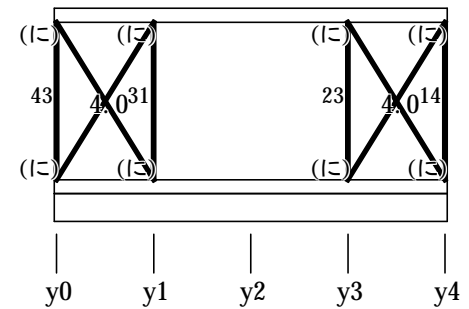
※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
#印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達する必要があるため)

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 構造軸組図ー1		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-038 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975 門 秀樹		
高 山 市			

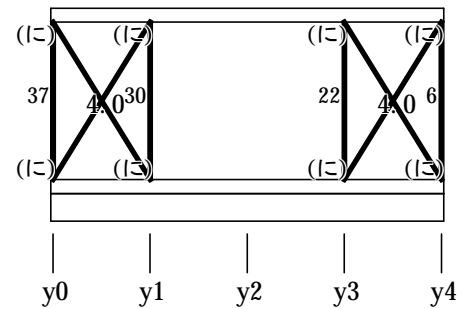
## ■x0通り



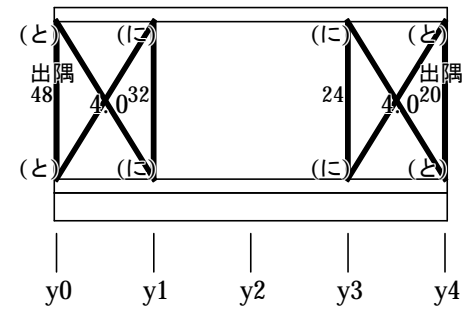
■x15通り



■x6通り



■x22通り



## 凡例

(い) カスカイ  
(ち) HD-B20

(3) CP-L  
(4) HD-B25

(は) VP  
(ぬ) HD-B15X2

(一) SB-F2  
(二) N>5.6

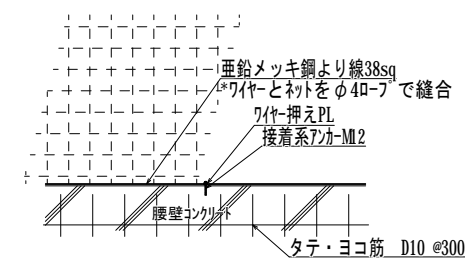
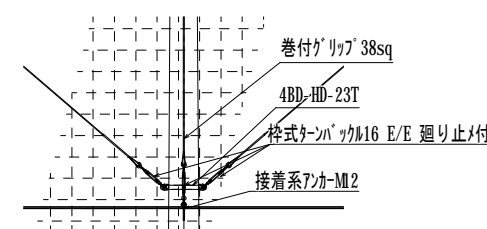
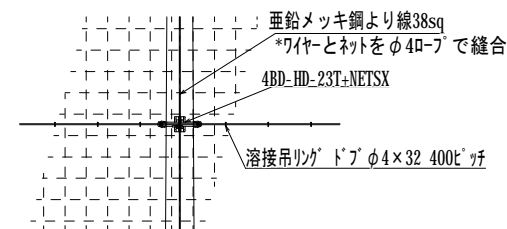
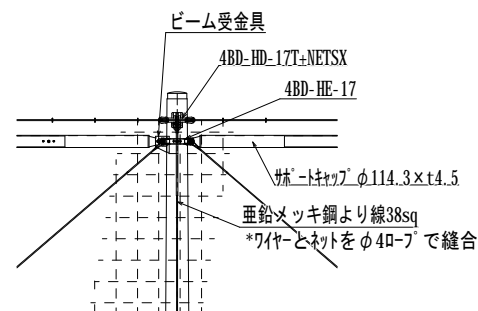
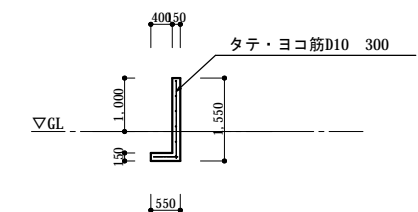
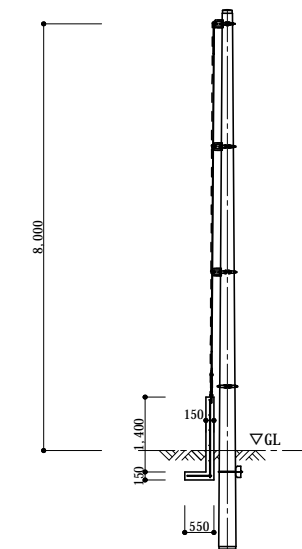
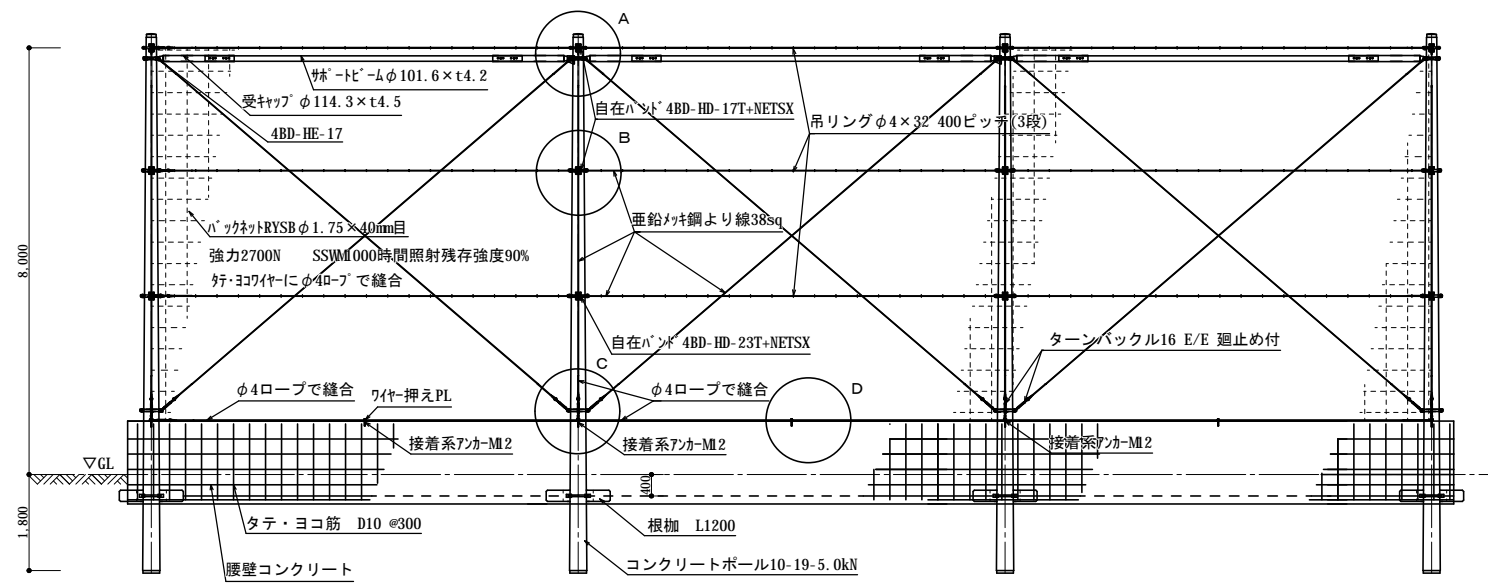
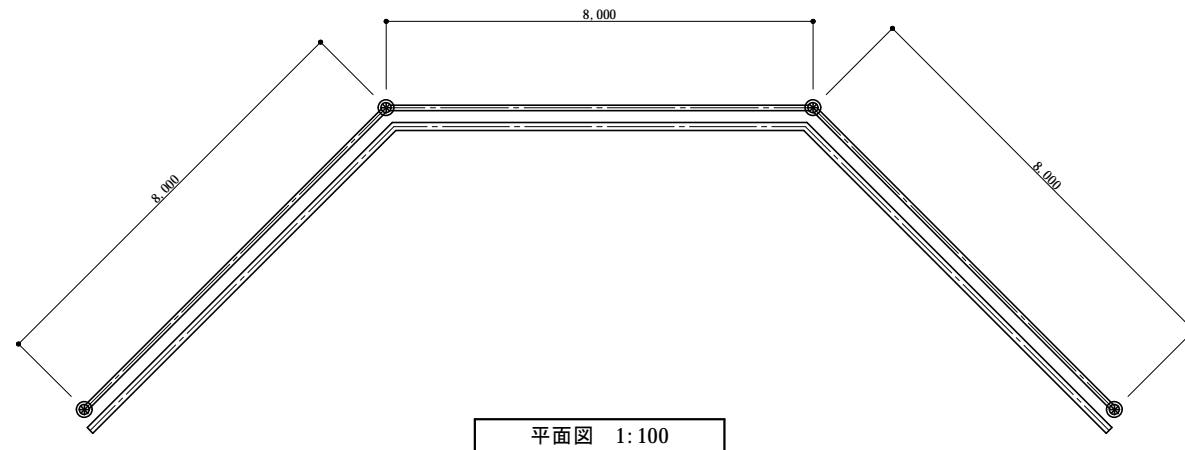
(ほ) SB-F

(^ ) HD-B10

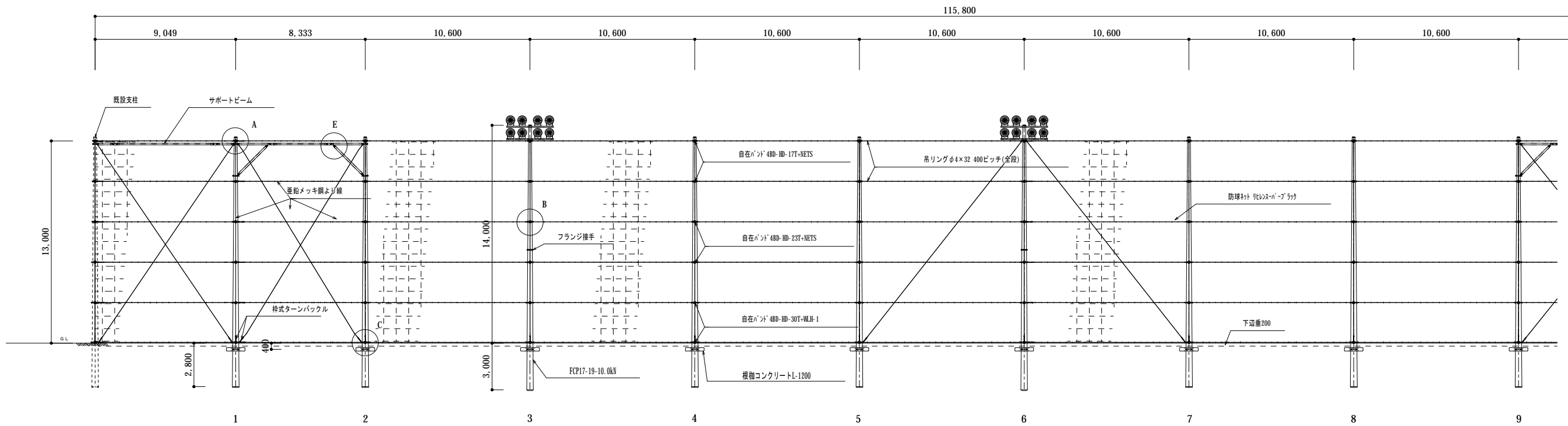
(と) HD-B15

※印の金物は2階柱脚金物をよりN値の大きい1階柱頭金物に合わせたことを示す。(1つの金物で上下階の柱を接合するため)  
#印の金物は1階柱金物をよりN値の大きい2階柱金物に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達するため)

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	体育倉庫・部室 構造軸組図－2		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-039 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

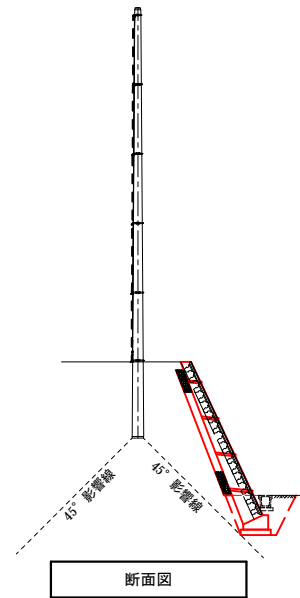
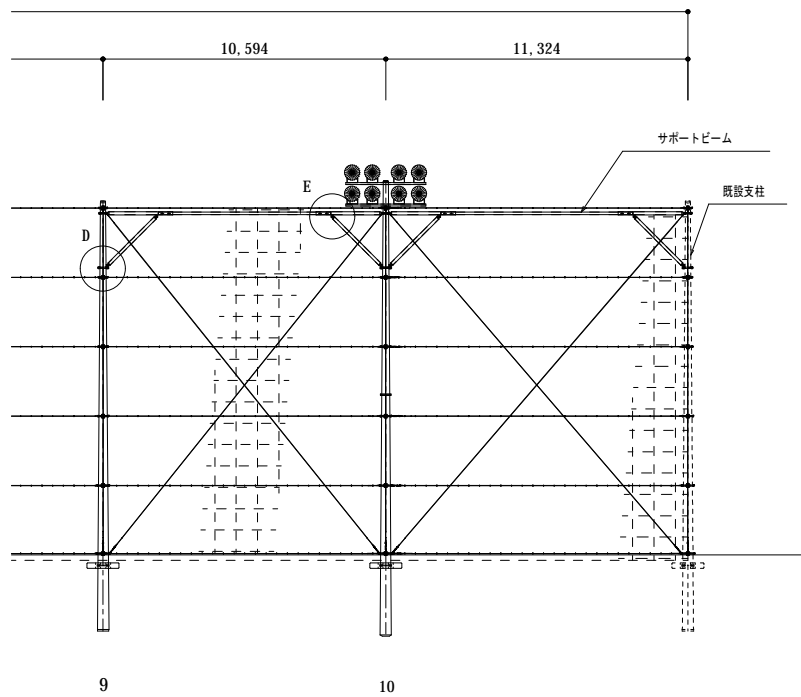


工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	バックネット 詳細図		
縮 尺	1/50、100	番 号	69 枚の内 A-040 号
設 計 年 月 日	令和8年3月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

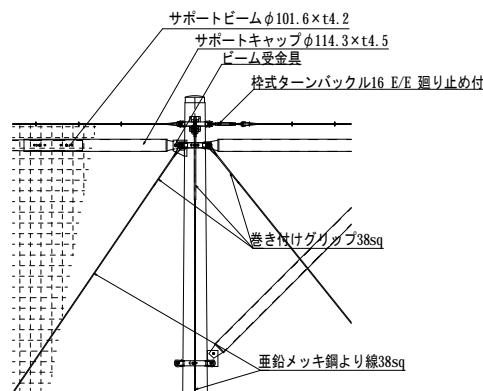


立面図 (グラウンドから見て)

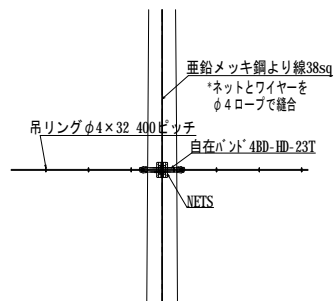
- \* 支柱No.3、6、10は照明兼用柱とする。  
(照明兼用柱17-19-10.0kNは根入れ3.0m、ネット柱16-19-7.0kNは根入れ2.8mとする。)
- \* 既設連結部、コーナー部、端末部にはサポートビーム・ブレースワイヤーを設ける
- \* ネットは充実率6.4%、強力1400N、SSWMI000時間照射残存強度90%以上とする。(リヒレンススーパーブラック同等品以上)
- \* 施工にあたりネット構造計算書を提出すること。



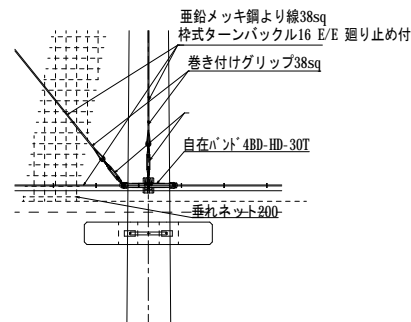
工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	防球ネット 詳細図ー 1		
縮 尺	1/200	番 号	69 枚の内 A-041 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



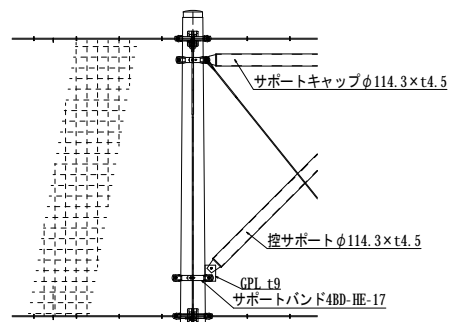
A 部詳細図



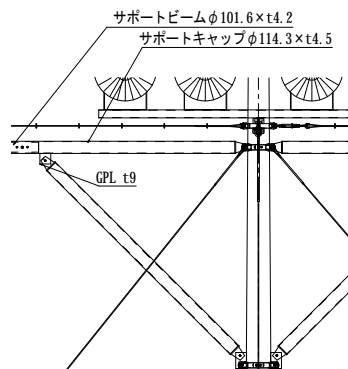
B 部詳細図



C 部詳細図

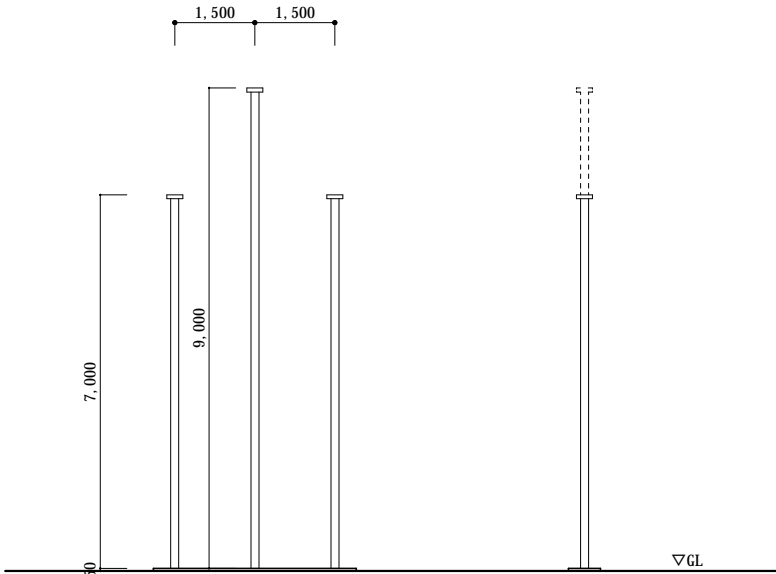


D 部詳細図

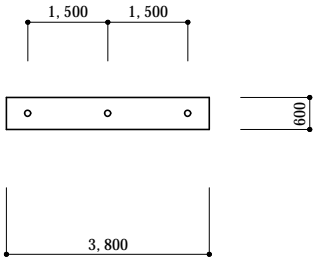


E 部詳細図

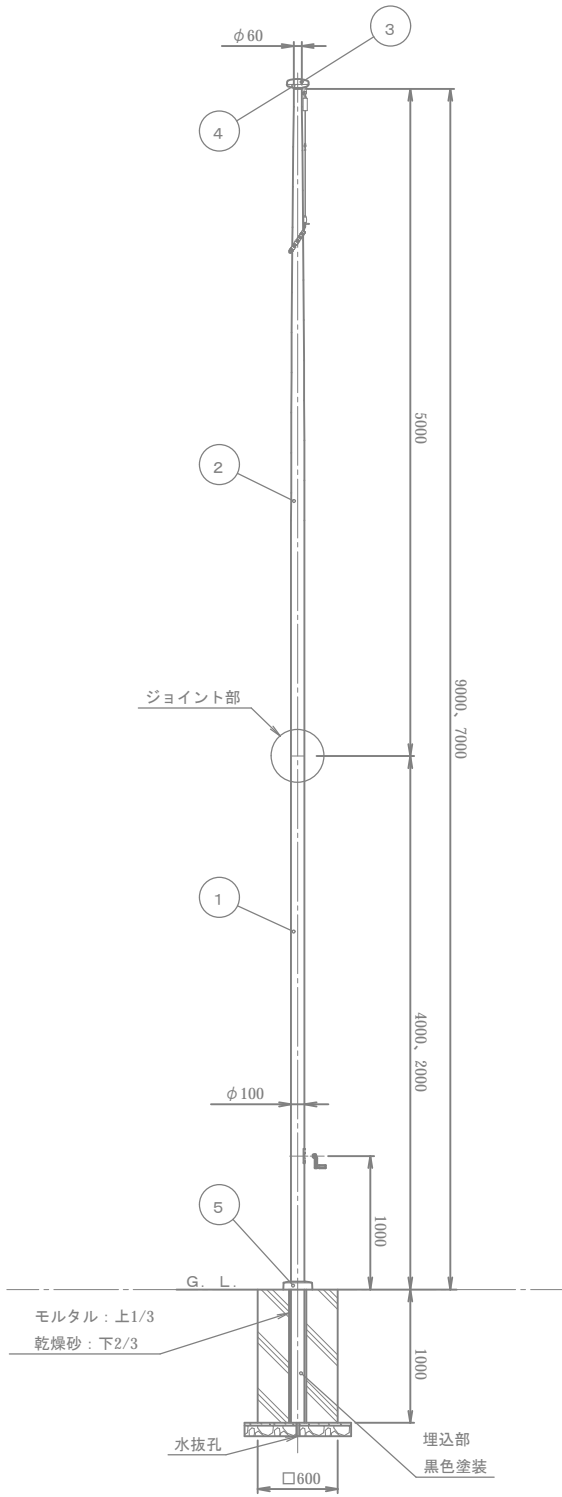
工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	防球ネット 詳細図ー2		
縮 尺	1/50	番 号	69 枚の内 A-042 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



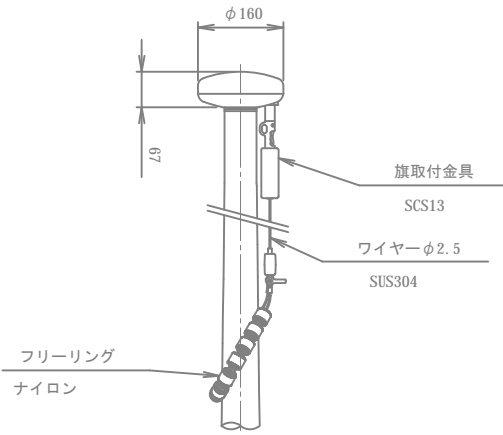
立面図  
S=1: 100



平面図  
S=1: 100

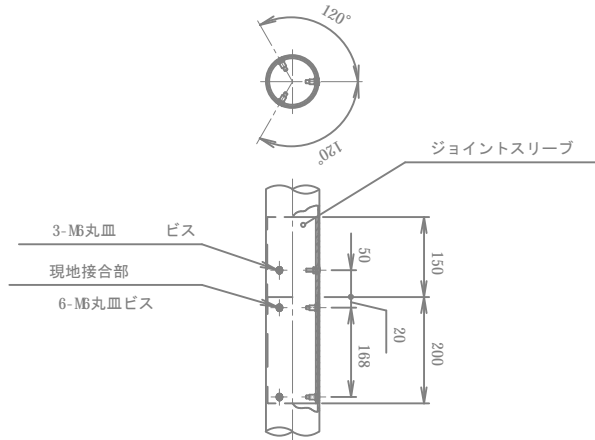


ポール姿図  
S=1: 40



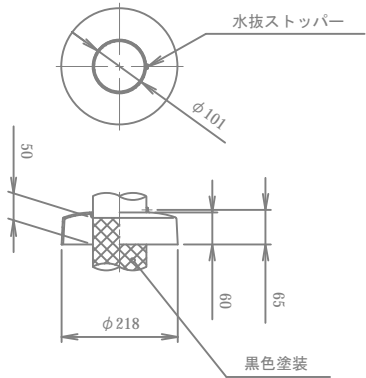
冠頭部詳細図

S=1/10



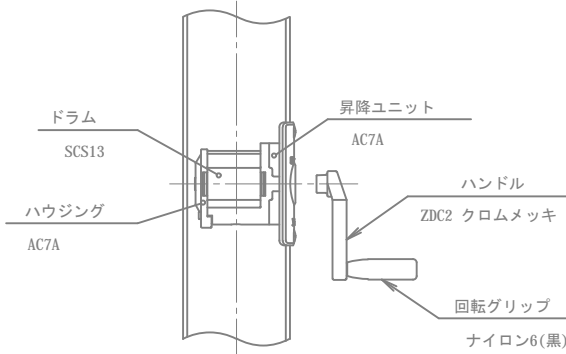
ジョイント部詳細図

S=1/10



グランドセット詳細図

S=1/10



ハンドル部詳細図

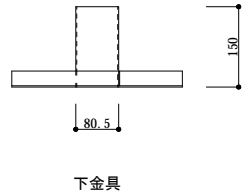
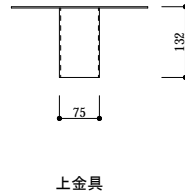
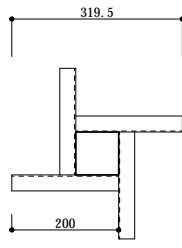
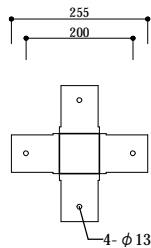
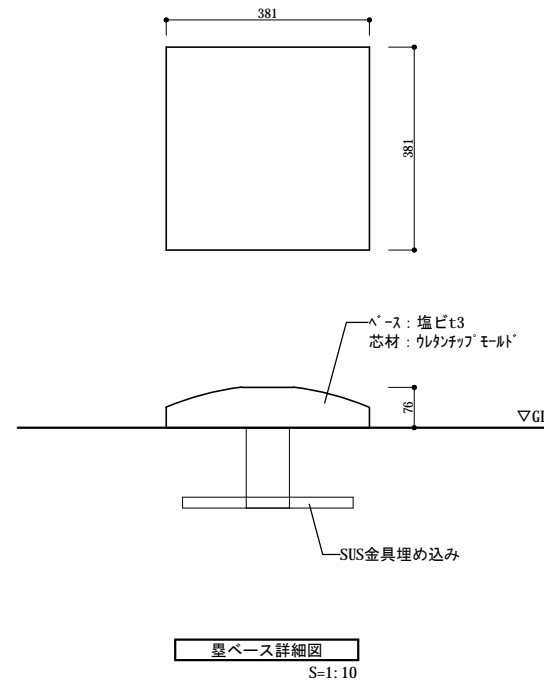
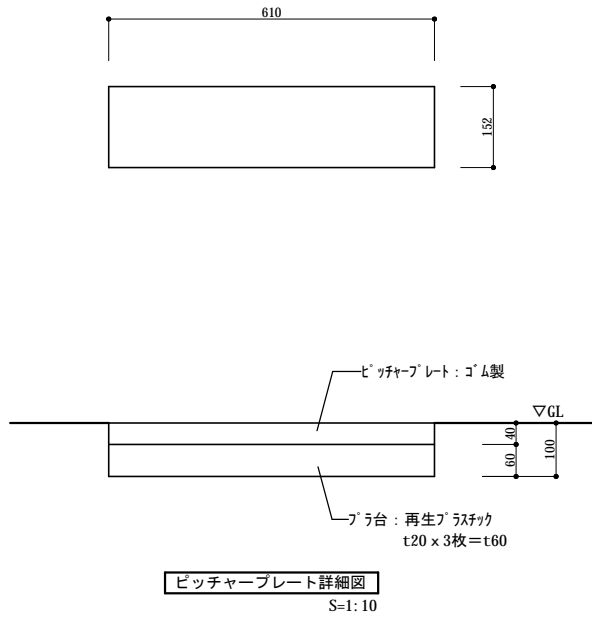
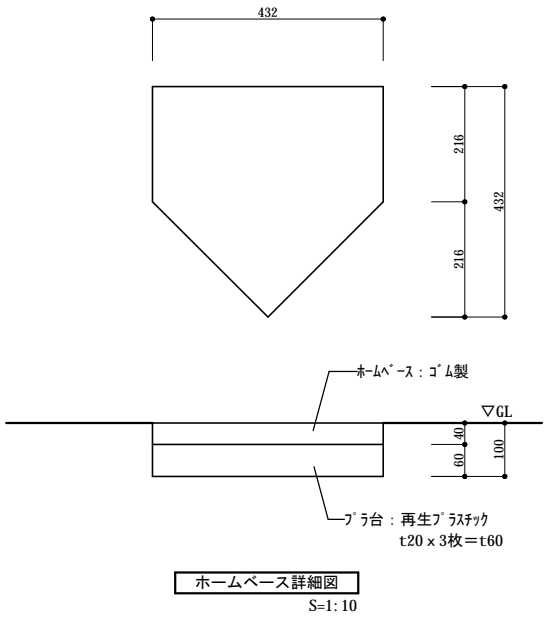
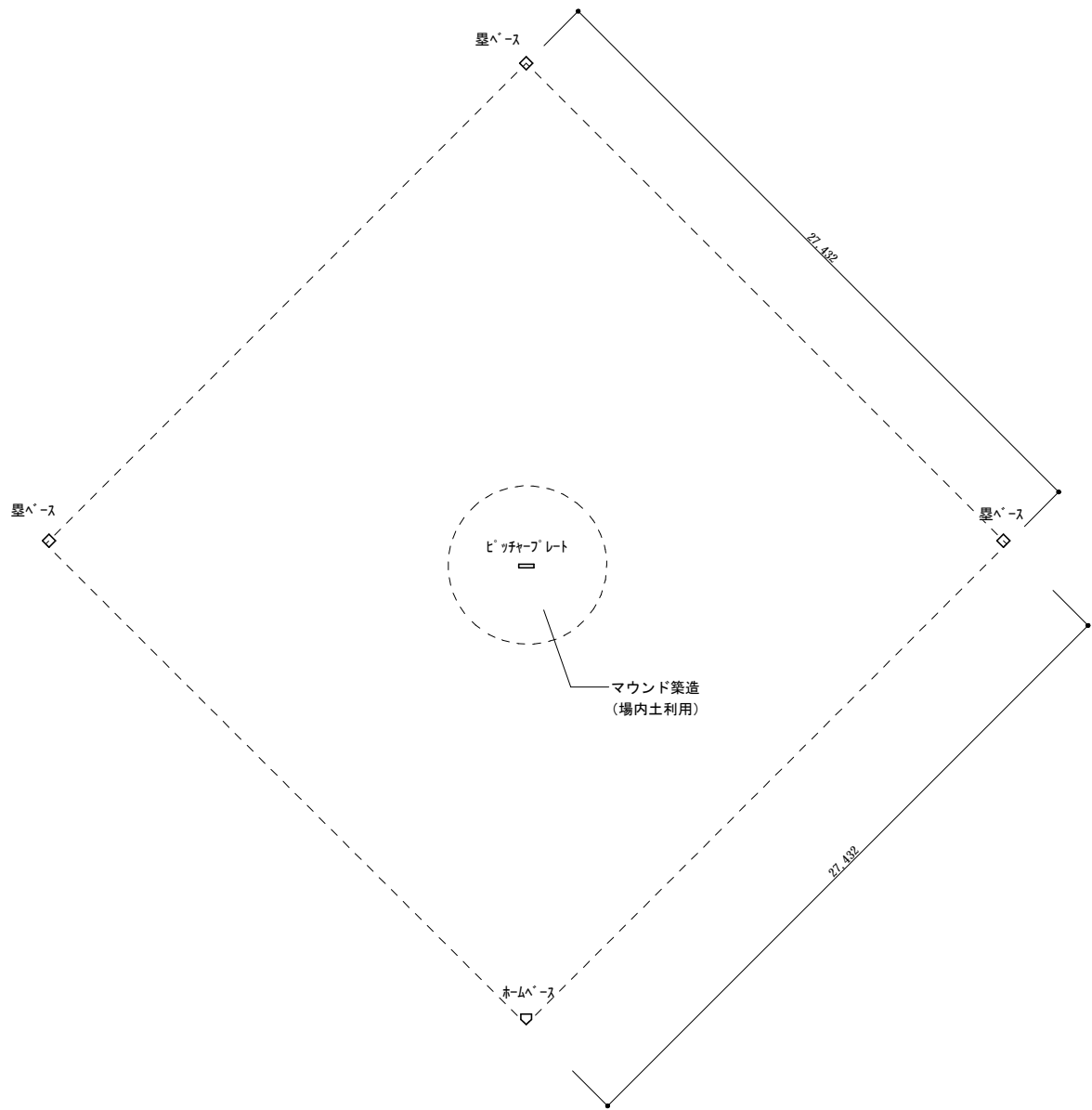
S = 1 / 5

安全上、風速15m/sec以上での旗の使用はさけてください。  
樹木・軒先に近い設置の場合には、旗の位置・状態を十分確認しながら  
操作をおこなってください。

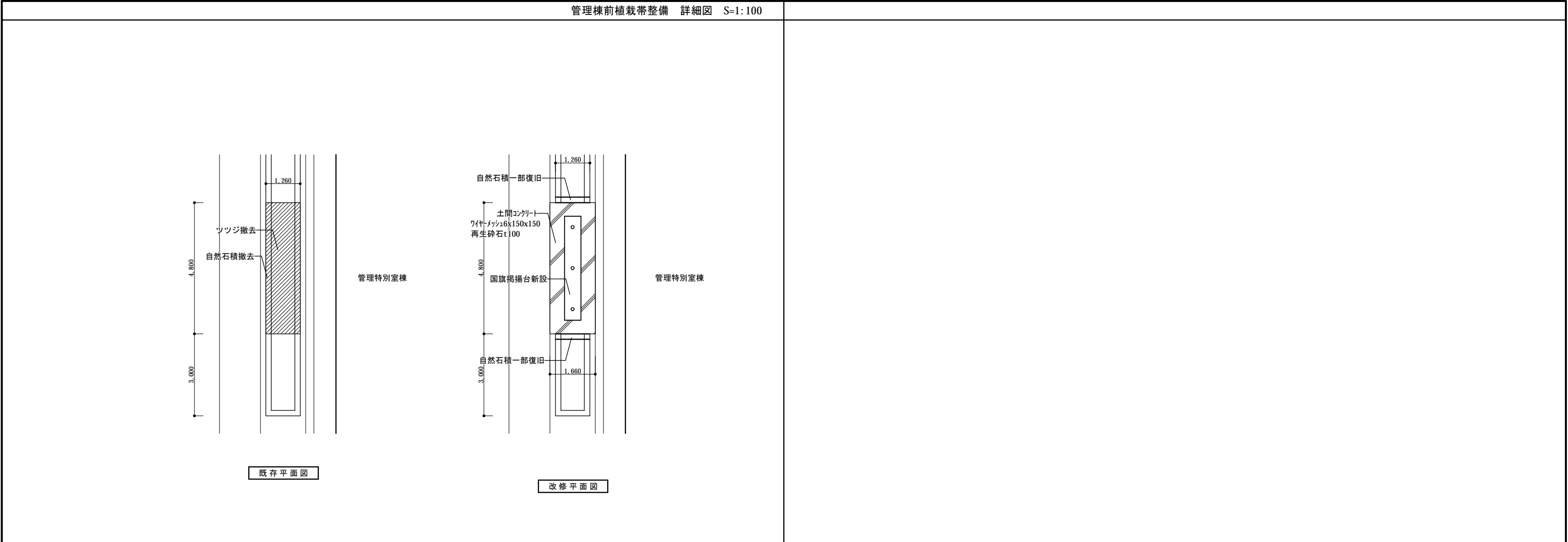
番号	品名	数量	材質	備考
1	ポール（下段）	1	アルミ合金継目無管 YBZTD-T8	φ100×t3.8 H.L. 後アルマイト処理クリアー電着塗装
2	ポール（上段）	1	アルミ合金継目無管 YBZTD-T8	φ100×t2.3 H.L. 後アルマイト処理クリアー電着塗装
3	キャップ	1	アルミ合金 A1050P	アルマイト処理
4	回転部	1	ポリプロピレン樹脂 PP	
5	グランドセット	1	アルミ合金ダイカスト ADC12	塗装仕上げ

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	国旗掲揚台 詳細図		
縮 尺	図示	番 号	69 枚の内 A-043 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



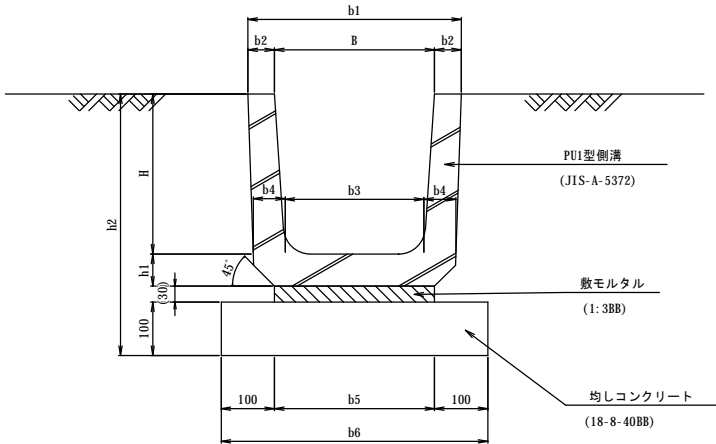


工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	野球ベース 詳細図		
縮 尺	1/40, 100	番 号	69 枚の内 A-044 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



PU1型側溝工

P U 型側溝工 標準図



PU1型 寸法及び材料表

適用	型 式	寸 法 表 (単位mm)								材 料 表							100m当り	摘 要
		b1	b2	b3	b4	b5	b6	h1	h2	PU側溝 m	均しコンクリート 18-8-40BB t=100mm ㎡	均しコン型枠 式 (㎡)	敷モルタル 1:3BB 式 (㎡)	床 掘 レキ質土 式 (㎡)	埋 戻 流用土 転圧有 式 (㎡)	残 土 式 (㎡)		
	PU1-B240-H240	330	45	220	50	240	440	50	420	100	44	1 ( 20 )	1 ( 0.7 )	1 ( 55 )	1 ( 42 )	1 ( 9 )	92kg/m	
	PU1-B300-H240	400	50	260	60	300	500	60	430	100	50	1 ( 20 )	1 ( 0.9 )	1 ( 59 )	1 ( 43 )	1 ( 12 )	117kg/m	
	PU1-B300-H300	400	50	260	60	300	500	60	490	100	50	1 ( 20 )	1 ( 0.9 )	1 ( 68 )	1 ( 49 )	1 ( 13 )	132kg/m	
	PU1-B300-H360	400	50	260	60	300	500	65	555	100	50	1 ( 20 )	1 ( 0.9 )	1 ( 77 )	1 ( 56 )	1 ( 15 )	153kg/m	
	PU1-B360-H300	460	50	310	65	360	560	65	495	100	56	1 ( 20 )	1 ( 1.1 )	1 ( 72 )	1 ( 50 )	1 ( 16 )	152kg/m	
	PU1-B360-H360	460	50	310	65	360	560	65	555	100	56	1 ( 20 )	1 ( 1.1 )	1 ( 81 )	1 ( 56 )	1 ( 18 )	168kg/m	
※	PU1-B400-H400	510	55	350	65	380	580	65	595	100	58	1 ( 20 )	1 ( 1.1 )	1 ( 89 )	1 ( 60 )	1 ( 23 )	185kg/m	
○	PU1-B450-H450	560	55	400	70	430	630	70	650	100	63	1 ( 20 )	1 ( 1.3 )	1 (100)	1 ( 65 )	1 ( 28 )	227kg/m	
※	PU1-B500-H500	610	55	450	70	490	690	70	700	100	69	1 ( 20 )	1 ( 1.5 )	1 (110)	1 ( 70 )	1 ( 34 )	280kg/m	
	PU1-B600-H600	740	70	540	80	600	800	80	810	100	80	1 ( 20 )	1 ( 1.8 )	1 (140)	1 ( 81 )	1 ( 48 )	353kg/m	

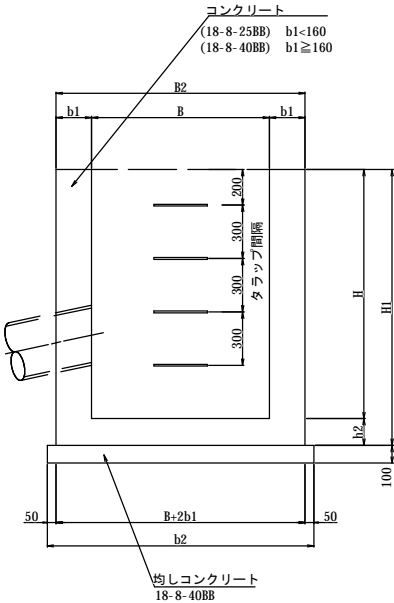
※印はJ I S規格外品です。

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	外構詳細図－ 1		
縮 尺	1/10、100	番 号	69 枚の内 A-045 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

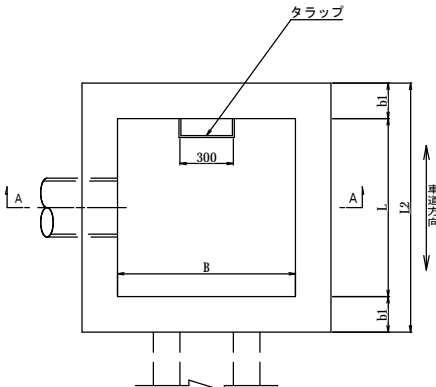
集水樹工 標準図

G 2 型 集 水 樹

A - A 断 面 図



平 面 図



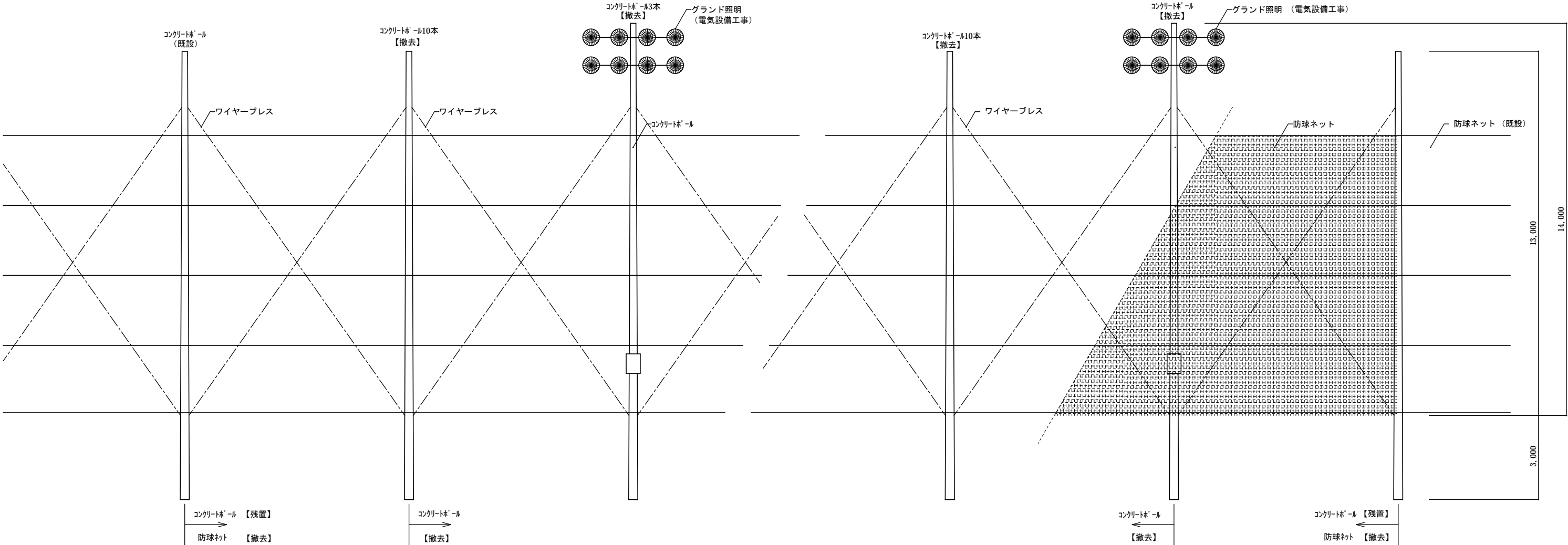
適用	名 称	寸 法 表 (mm)				1 0 箇 所 当 り 数 量 表																
		内 幅 B × L	壁厚 b1	基礎幅 b2	深 さ H	コ ン ク リ ー ト		型 枠 式 (㎡)	均しコンクリート 18-8-40BB ±100mm (㎡)	均しコン型枠 式 (㎡)	トラップ 本	足場工 式 (掛㎡)	床 掘 埋 土 式 (㎡)	土 残 式 (㎡)	グレーチング蓋 型 式 組	綿 鋼 板 蓋 型 式 組						
						規 格	㎡															
	G2-B 500-L 500-H 500	500 × 500	150	900	18-8-25BB	500	2.2	1( 39 )	8.1	1( 3.6 )	-		1( 11 )	1( 6 )	1( 4 )							
	G2-B 500-L 500-H 600					600	2.6	1( 44 )					1( 12 )	1( 7 )	1( 5 )							
	G2-B 500-L 500-H 700					700	3.0	1( 49 )					1( 14 )	1( 8 )	1( 5 )							
	G2-B 500-L 500-H 800					800	3.4	1( 54 )					1( 20 )	1( 13 )	1( 5 )							
	G2-B 500-L 500-H 900					900	3.8	1( 60 )					1( 22 )	1( 15 )	1( 6 )							
	G2-B 500-L 500-H1000					1000	4.2	1( 65 )					1( 24 )	1( 16 )	1( 6 )							
	G2-B 500-L 500-H1100		200	1000	1100	6.7	1( 75 )	10	1( 4.0 )		30	1( 31 )	1( 20 )	1( 9 )								
	G2-B 500-L 500-H1200				1200	7.2	1( 81 )				30	1( 34 )	1( 23 )	1( 9 )								
	G2-B 500-L 500-H1300				1300	7.8	1( 86 )				30	1( 37 )	1( 25 )	1( 10 )								
	G2-B 500-L 500-H1400				1400	8.4	1( 92 )				40	1( 41 )	1( 27 )	1( 11 )								
	G2-B 500-L 500-H1500				1500	8.9	1( 97 )				40	1( 44 )	1( 30 )	1( 11 )								
	G2-B 500-L 500-H1600				1600	9.5	1(103)				40	1( 47 )	1( 32 )	1( 12 )								
	G2-B 500-L 500-H1700				1700	10	1(109)				50	1( 51 )	1( 35 )	1( 12 )								
	G2-B 500-L 500-H1800				1800	11	1(114)				50	1( 54 )	1( 37 )	1( 13 )								
	G2-B 500-L 500-H1900		1900	11	1(120)	50	1( 100 )	1( 87 )	1( 8 )													
	G2-B 500-L 500-H2000		2000	12	1(125)	60	1( 77 )	1( 110 )	1( 92 )	1( 8 )												
	G2-B 600-L 600-H 600	600 × 600	150	1000	18-8-25BB	600	3.2	1( 50 )	10	1( 4.0 )	-		1( 15 )	1( 7 )	1( 6 )							
	G2-B 600-L 600-H 700					700	3.7	1( 56 )					1( 16 )	1( 8 )	1( 7 )							
	G2-B 600-L 600-H 800					800	4.1	1( 62 )					1( 23 )	1( 14 )	1( 7 )							
	G2-B 600-L 600-H 900					900	4.6	1( 68 )					1( 26 )	1( 16 )	1( 8 )							
	G2-B 600-L 600-H1000					1000	5.0	1( 74 )					1( 29 )	1( 18 )	1( 8 )							
	G2-B 600-L 600-H1100		200	1100	1100	7.8	1( 85 )	12	1( 4.4 )		30	1( 36 )	1( 23 )	1( 11 )								
	G2-B 600-L 600-H1200				1200	8.5	1( 91 )				30	1( 40 )	1( 25 )	1( 12 )								
	G2-B 600-L 600-H1300				1300	9.1	1( 98 )				30	1( 43 )	1( 28 )	1( 13 )								
	G2-B 600-L 600-H1400				1400	9.8	1(104)				40	1( 47 )	1( 30 )	1( 13 )								
	G2-B 600-L 600-H1500				1500	10	1(111)				40	1( 50 )	1( 33 )	1( 14 )								
	G2-B 600-L 600-H1600				1600	11	1(117)				40	1( 54 )	1( 36 )	1( 15 )								
	G2-B 600-L 600-H1700				1700	12	1(123)				50	1( 58 )	1( 39 )	1( 15 )								
	G2-B 600-L 600-H1800				1800	12	1(130)				50	1( 62 )	1( 42 )	1( 16 )								
	G2-B 600-L 600-H1900				1900	13	1(136)				50	1( 120 )	1( 96 )	1( 11 )								
	G2-B 600-L 600-H2000				2000	14	1(143)				60	1( 86 )	1( 120 )	1( 100 )	1( 11 )							
○	G2-B 700-L 700-H 600	700 × 700	150	1100	18-8-25BB	600	4.0	1( 56 )	12	1( 4.4 )	-		1( 17 )	1( 9 )	1( 9 )	T-2	1					
	G2-B 700-L 700-H 700					700	4.4	1( 63 )					1( 19 )	1( 9 )	1( 9 )							
	G2-B 700-L 700-H 800					800	4.9	1( 70 )					1( 27 )	1( 16 )	1( 9 )							
	G2-B 700-L 700-H 900					900	5.4	1( 76 )					1( 30 )	1( 18 )	1( 10 )							
	G2-B 700-L 700-H1000					1000	5.9	1( 83 )					1( 33 )	1( 20 )	1( 10 )							
	G2-B 700-L 700-H1100		200	1200	1100	9.0	1( 95 )	14	1( 4.8 )		30	1( 41 )	1( 25 )	1( 14 )								
	G2-B 700-L 700-H1200				1200	9.8	1(102)				30	1( 45 )	1( 27 )	1( 15 )								
	G2-B 700-L 700-H1300				1300	11	1(109)				30	1( 49 )	1( 30 )	1( 16 )								
	G2-B 700-L 700-H1400				1400	11	1(117)				40	1( 53 )	1( 33 )	1( 16 )								
	G2-B 700-L 700-H1500				1500	12	1(124)				40	1( 57 )	1( 36 )	1( 17 )								
	G2-B 700-L 700-H1600				1600	13	1(131)				40	1( 62 )	1( 39 )	1( 18 )								
	G2-B 700-L 700-H1700				1700	13	1(138)				50	1( 66 )	1( 42 )	1( 19 )								
	G2-B 700-L 700-H1800				1800	14	1(145)				50	1( 71 )	1( 46 )	1( 20 )								
	G2-B 700-L 700-H1900				1900	15	1(153)				50	1( 130 )	1( 110 )	1( 14 )								
	G2-B 700-L 700-H2000				2000	16	1(160)				60	1( 95 )	1( 140 )	1( 110 )	1( 15 )							
	G2-B 800-L 800-H 800	800 × 800	150	1200	18-8-25BB	800	4.6	1( 80 )	14	1( 4.8 )	-		1( 30 )	1( 18 )	1( 11 )							
	G2-B 800-L 800-H 900					900	5.1	1( 88 )					1( 34 )	1( 20 )	1( 12 )							
	G2-B 800-L 800-H1000					1000	5.7	1( 95 )					1( 38 )	1( 22 )	1( 13 )							
	G2-B 800-L 800-H1100		200	1300	1100	9.2	1(108)	17	1( 5.2 )		30	1( 47 )	1( 27 )	1( 17 )								
	G2-B 800-L 800-H1200				1200	10	1(116)				30	1( 51 )	1( 30 )	1( 18 )								
	G2-B 800-L 800-H1300				1300	11	1(124)				30	1( 55 )	1( 33 )	1( 19 )								
	G2-B 800-L 800-H1400				1400	12	1(132)				40	1( 60 )	1( 36 )	1( 20 )								
	G2-B 800-L 800-H1500				1500	12	1(140)				40	1( 65 )	1( 39 )	1( 21 )								
	G2-B 800-L 800-H1600				1600	13	1(148)				40	1( 70 )	1( 43 )	1( 22 )								
	G2-B 800-L 800-H1700				1700	14	1(156)				50	1( 74 )	1( 46 )	1( 23 )								
	G2-B 800-L 800-H1800				1800	15	1(164)				50	1( 80 )	1( 50 )	1( 24 )								
	G2-B 800-L 800-H1900				1900	16	1(172)				50	1( 150 )	1( 120 )	1( 18 )								
	G2-B 800-L 800-H2000				2000	16	1(180)				60	1(100)	1( 150 )	1( 120 )	1( 19 )							

特記 作業土工（床堀、埋戻し、残土処理）の数量は、現地盤線を構造物天端高と同高とし算出している。なお、現地盤線の変更により数量変更が必要となる場合は監督職員と協議すること。

※ 注 記

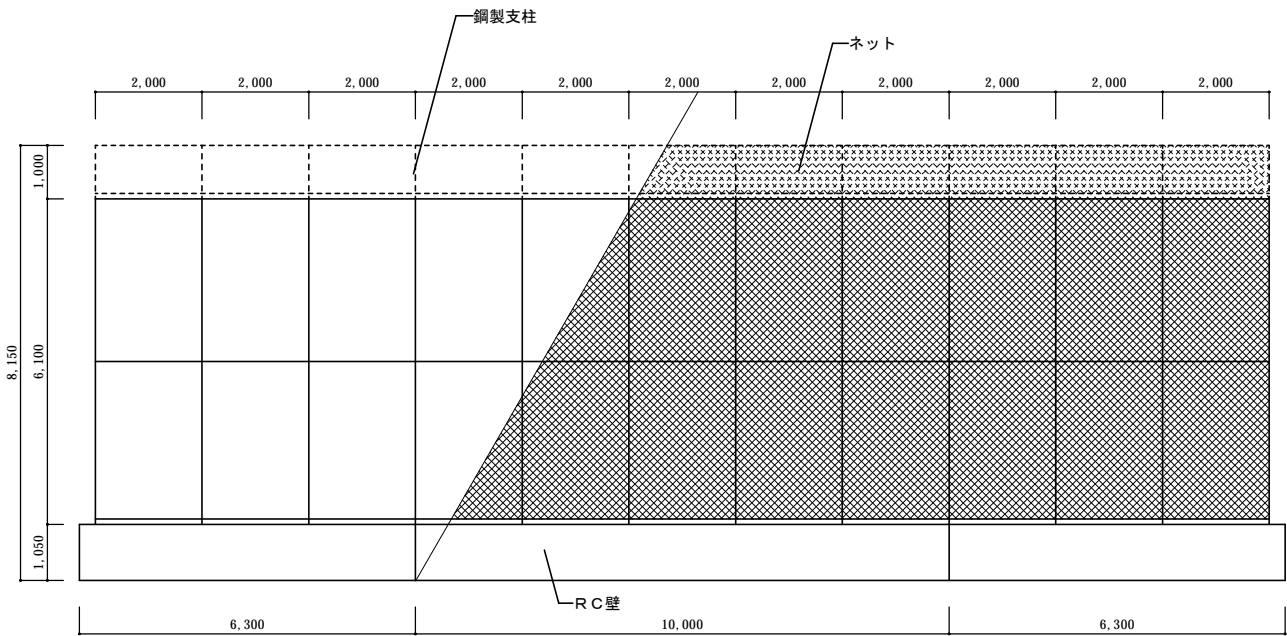
- 適用範囲  
集水樹内幅（B、L）400～

【撤去】

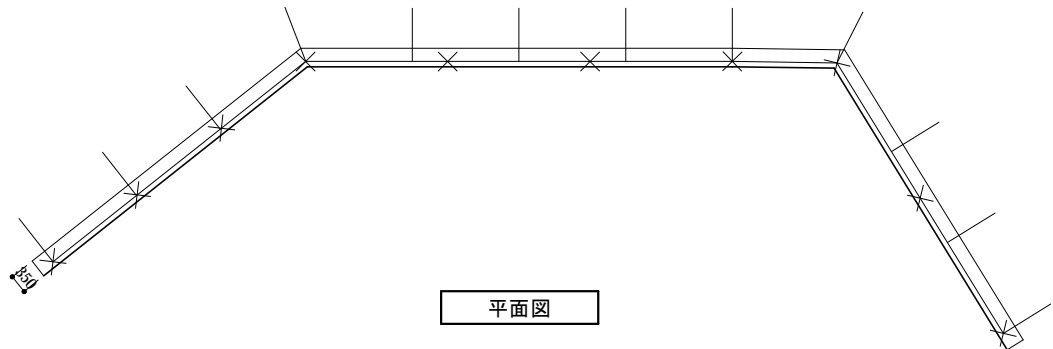


工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【撤去】防球ネット 詳細図		
縮 尺	1/100	番 号	69 枚の内 A-047 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

【撤去】

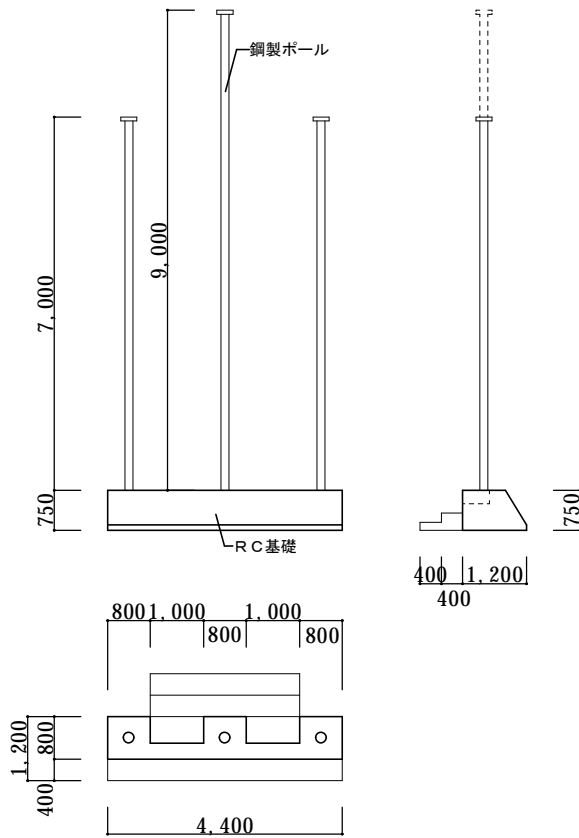


立面図

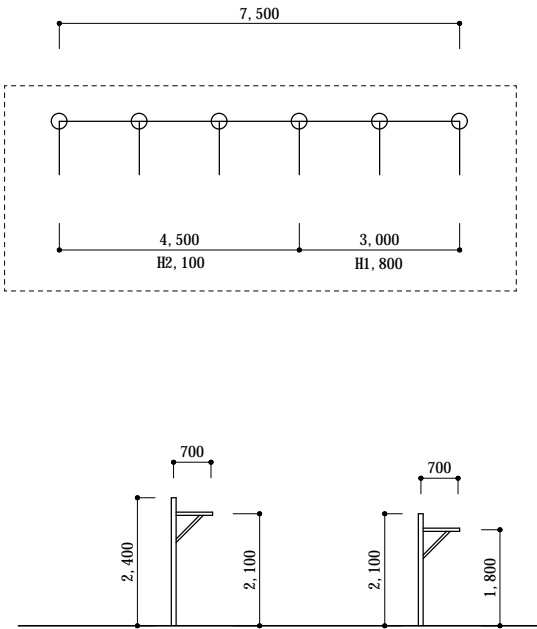


平面図

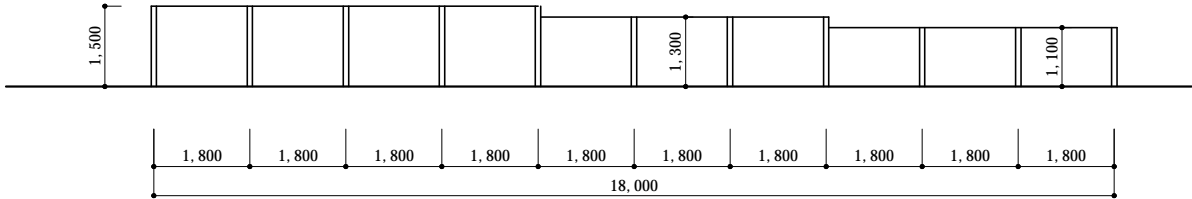
【撤去】



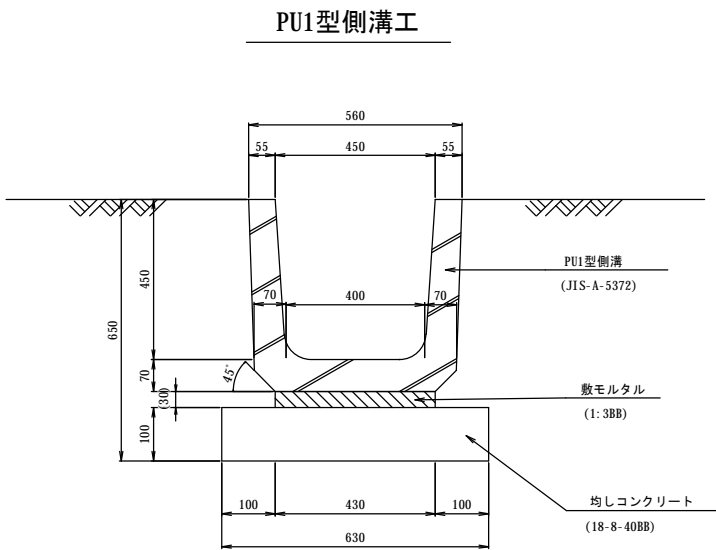
【撤去】



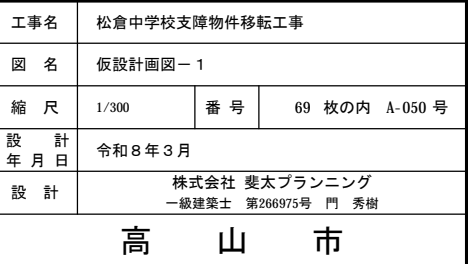
【撤去】

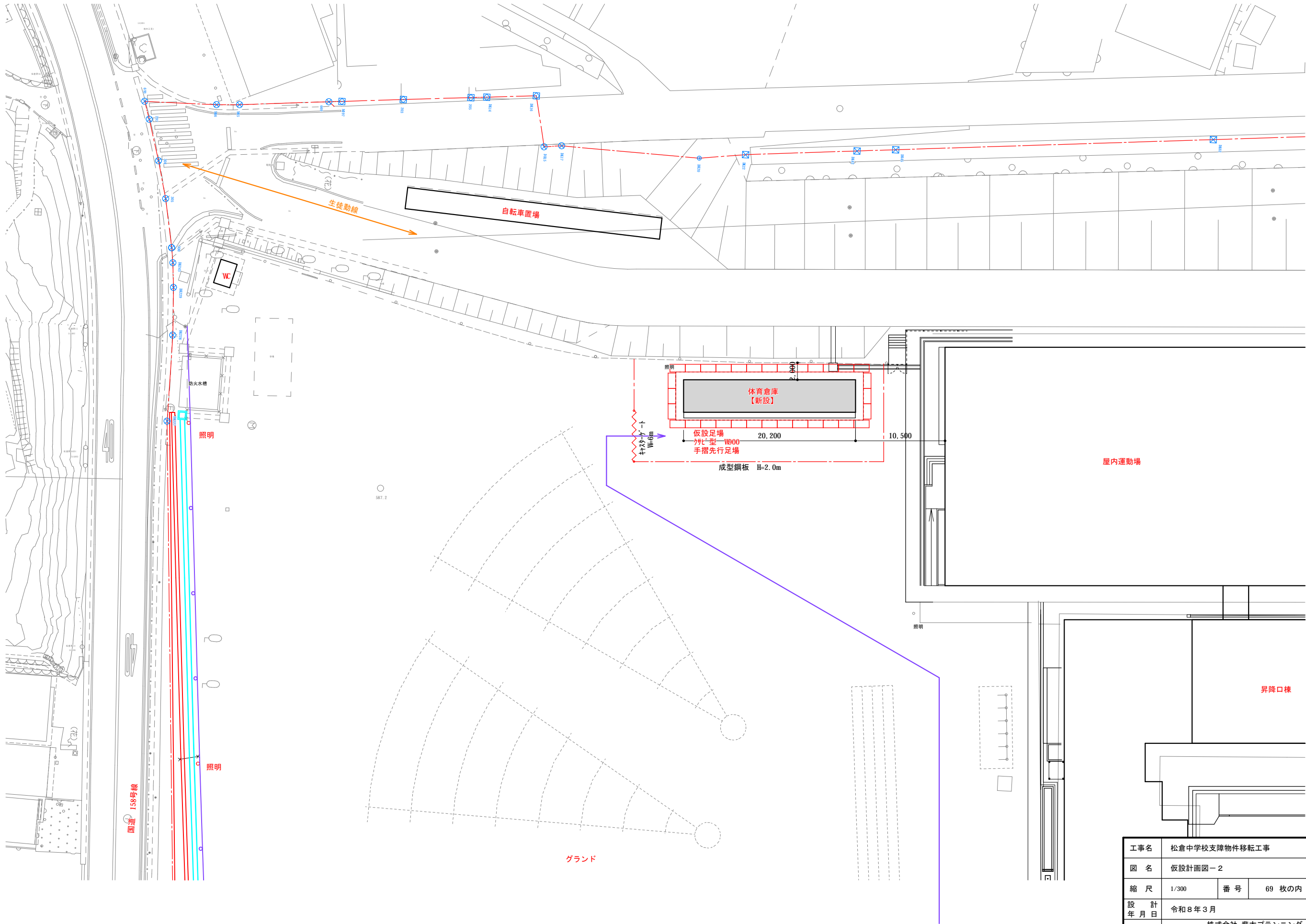


【撤去】



工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【撤去】鉄棒、PU型側溝 詳細図		
縮 尺	1/10,100	番 号	69 枚の内 A-049 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

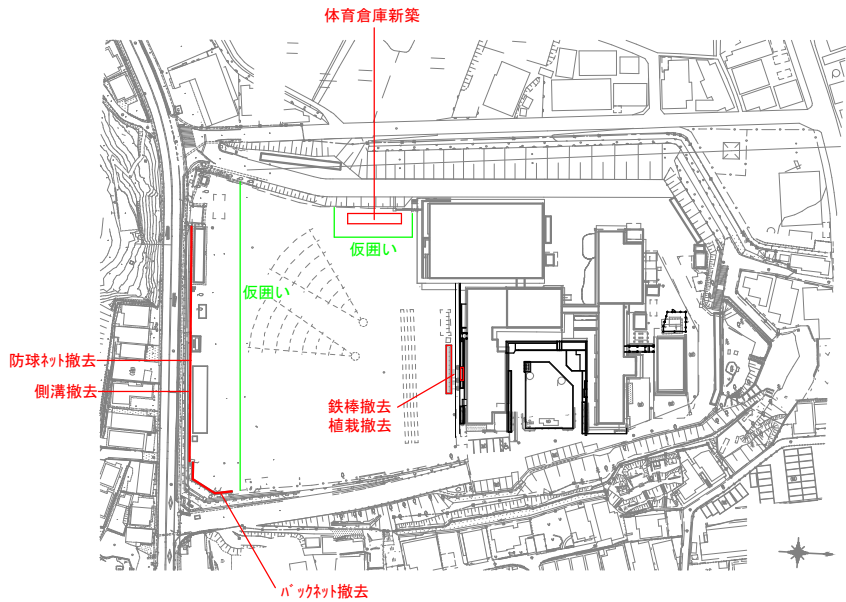




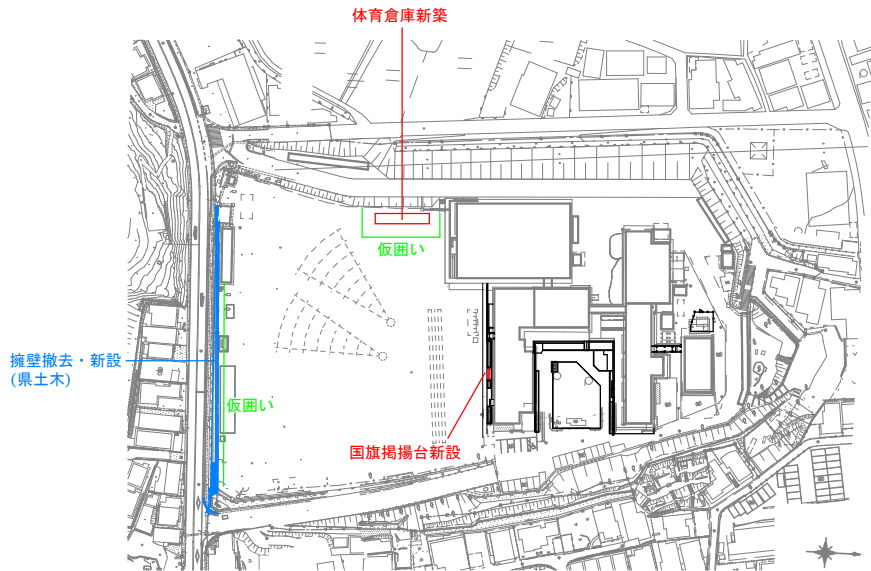
工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	仮設計画図- 2		
縮 尺	1/300	番 号	69 枚の内 A-051 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



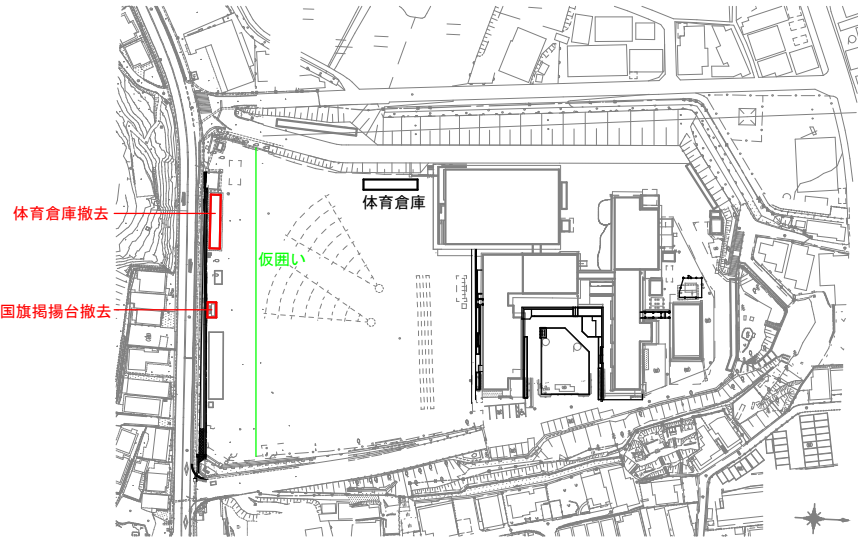
既存防球ネット・バックネット・側溝撤去、体育倉庫新設



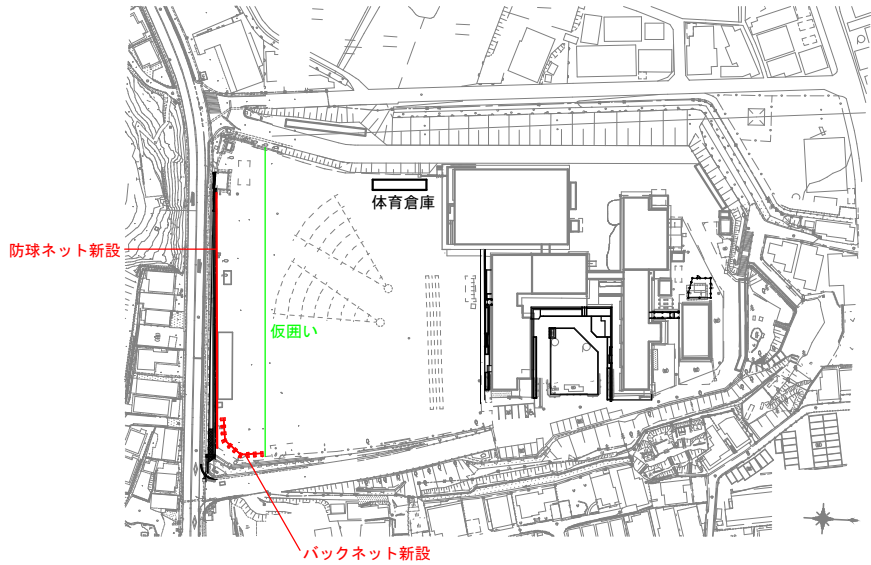
擁壁撤去・新設、体育倉庫・国旗掲揚台新設



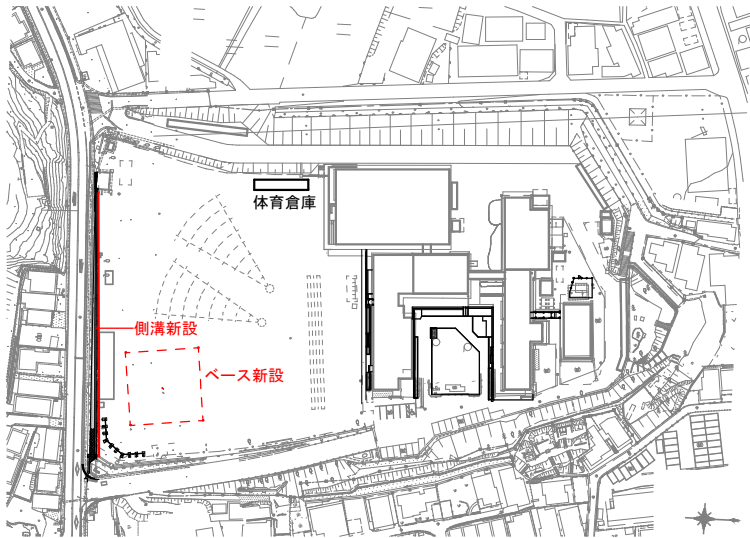
体育倉庫・国旗掲揚台撤去



防球ネット・バックネット新設



ベース・側溝新設



工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	工事計画図【参考図】		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-052 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

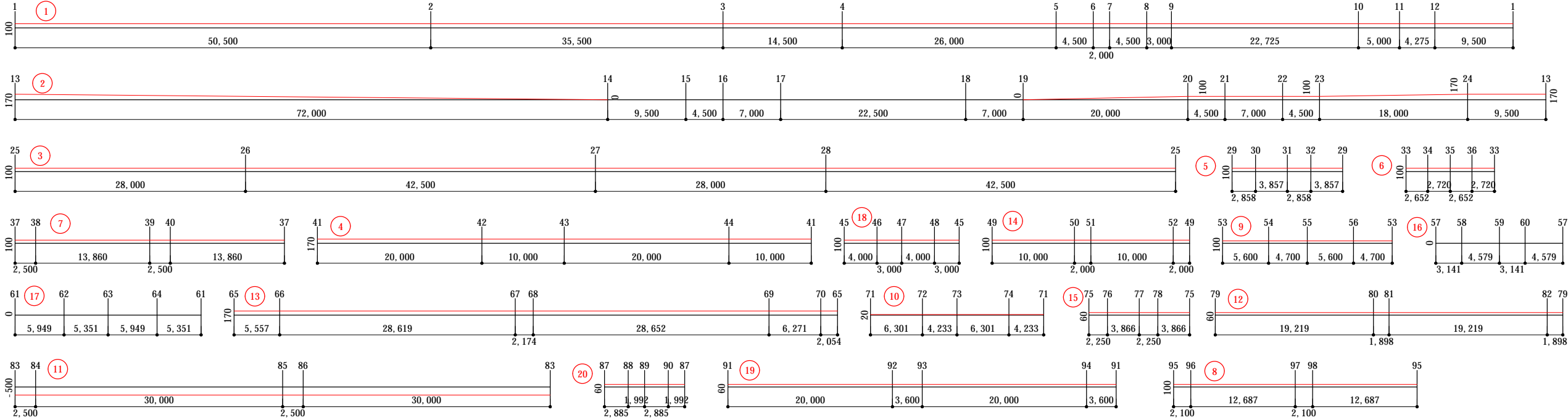
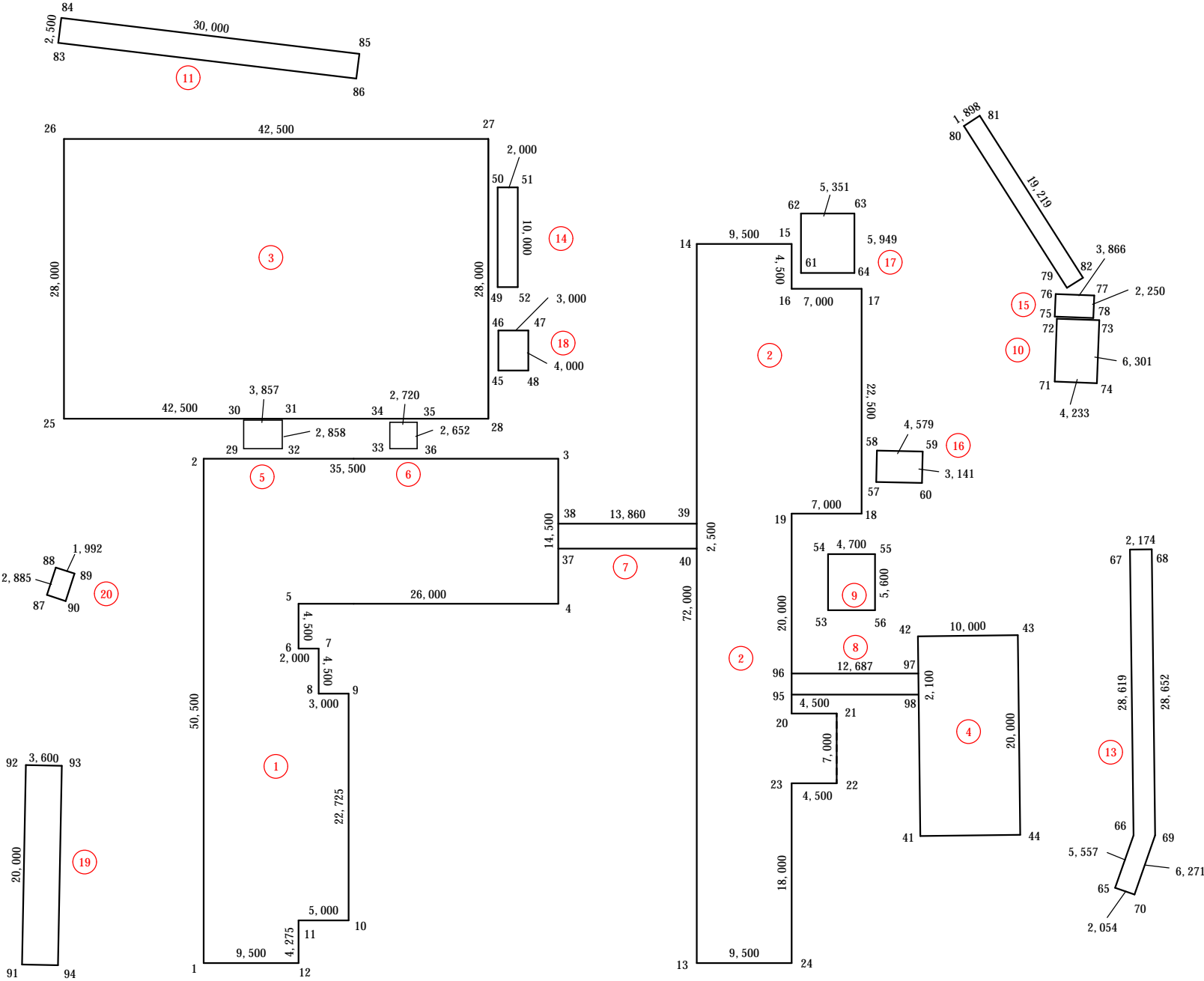
工事種別	2026年												2027年																							
	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30			
						▼ 体 育 祭				夏休み												▼ 体 育 倉 庫 引 越 し														
【高山土木事務所】																																				
【建築工事】																																				
仮設工事																																				
解体工事																																				
本体工事																																				

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	工事計画工程表【参考図】		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 A-053 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

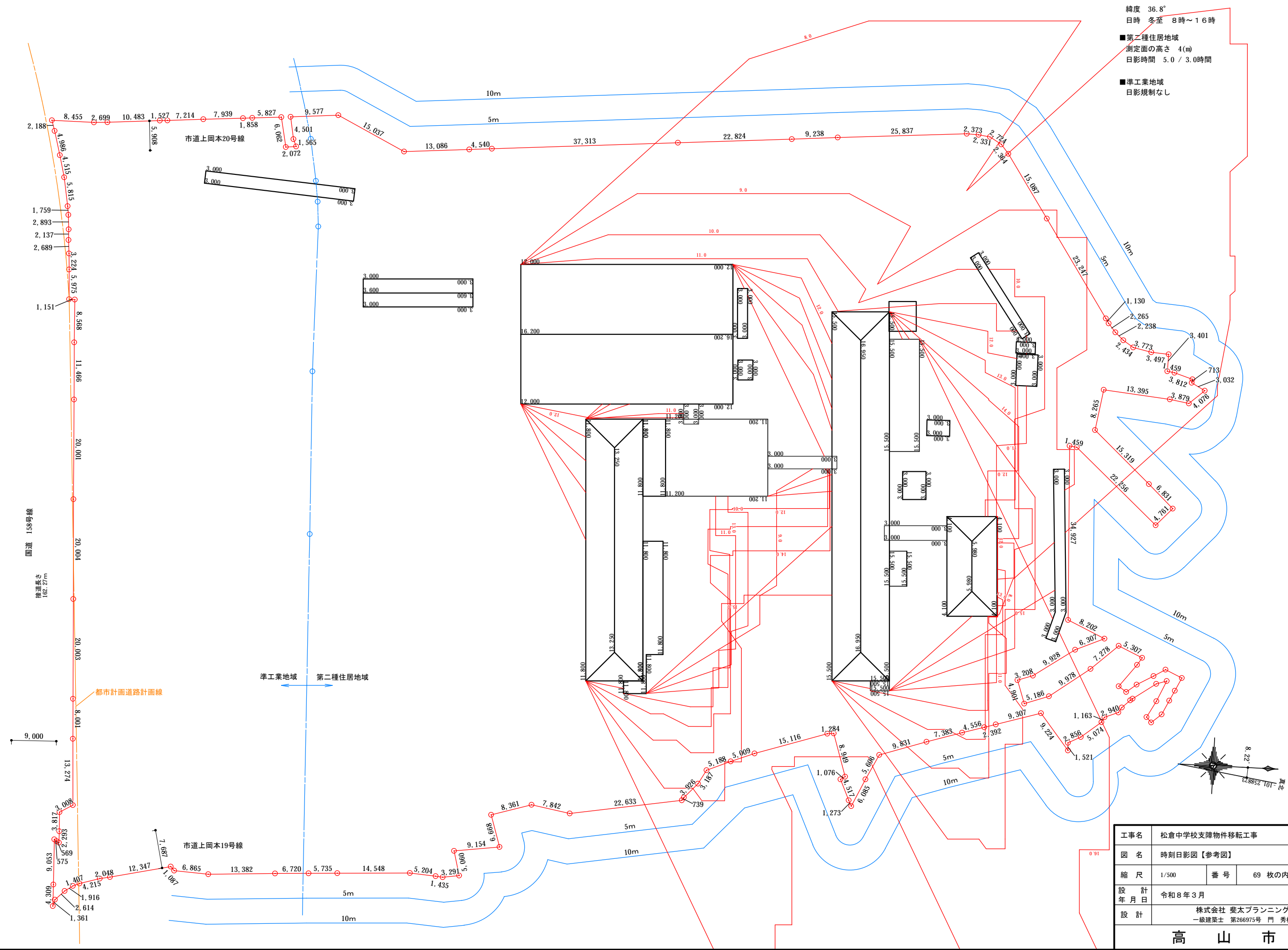
平均地盤高① 算定表					■延長算定				
	タテ①	タテ②	ヨコ	面積			長さ		
1 ~ 2	0.100		50.500	5.050	1 ~ 2		50.500		
2 ~ 3	0.100		35.500	3.550	2 ~ 3		35.500		
3 ~ 4	0.100		14.500	1.450	3 ~ 4		14.500		
4 ~ 5	0.100		26.000	2.600	4 ~ 5		26.000		
5 ~ 6	0.100		4.500	0.450	5 ~ 6		4.500		
6 ~ 7	0.100		2.000	0.200	6 ~ 7		2.000		
7 ~ 8	0.100		4.500	0.450	7 ~ 8		4.500		
8 ~ 9	0.100		3.000	0.300	8 ~ 9		3.000		
9 ~ 10	0.100		22.725	2.273	9 ~ 10		22.725		
10 ~ 11	0.100		5.000	0.500	10 ~ 11		5.000		
11 ~ 12	0.100		4.275	0.428	11 ~ 12		4.275		
12 ~ 1	0.100		9.500	0.950	12 ~ 1		9.500		
13 ~ 14	0.170		72.000	÷2 6.120	13 ~ 14		72.000		
14 ~ 15	0.000		9.500	0.000	14 ~ 15		9.500		
15 ~ 16	0.000		4.500	0.000	15 ~ 16		4.500		
16 ~ 17	0.000		7.000	0.000	16 ~ 17		7.000		
17 ~ 18	0.000		22.500	0.000	17 ~ 18		22.500		
18 ~ 19	0.000		7.000	0.000	18 ~ 19		7.000		
19 ~ 20	0.100		20.000	÷2 1.000	19 ~ 20		20.000		
20 ~ 21	0.100		4.500	0.450	20 ~ 21		4.500		
21 ~ 22	0.100		7.000	0.700	21 ~ 22		7.000		
22 ~ 23	0.100		4.500	0.450	22 ~ 23		4.500		
23 ~ 24	0.170		18.000	3.060	23 ~ 24		18.000		
24 ~ 13	0.170		9.500	1.615	24 ~ 13		9.500		
25 ~ 26	0.100		28.000	2.800	25 ~ 26		28.000		
26 ~ 27	0.100		42.500	4.250	26 ~ 27		42.500		
27 ~ 28	0.100		28.000	2.800	27 ~ 28		28.000		
28 ~ 25	0.100		42.500	4.250	28 ~ 25		42.500		
29 ~ 30	0.100		2.858	0.286	29 ~ 30		2.858		
30 ~ 31	0.100		3.857	0.386	30 ~ 31		3.857		
31 ~ 32	0.100		2.858	0.286	31 ~ 32		2.858		
32 ~ 29	0.100		3.857	0.386	32 ~ 29		3.857		
33 ~ 34	0.100		2.652	0.265	33 ~ 34		2.652		
34 ~ 35	0.100		2.720	0.272	34 ~ 35		2.720		
35 ~ 36	0.100		2.652	0.265	35 ~ 36		2.652		
36 ~ 33	0.100		2.720	0.272	36 ~ 33		2.720		
37 ~ 38	0.100		2.500	0.250	37 ~ 38		2.500		
38 ~ 39	0.100		13.860	1.386	38 ~ 39		13.860		
39 ~ 40	0.100		2.500	0.250	39 ~ 40		2.500		
40 ~ 37	0.100		13.860	1.386	40 ~ 37		13.860		
41 ~ 42	0.170		20.000	3.400	41 ~ 42		20.000		
42 ~ 43	0.170		10.000	1.700	42 ~ 43		10.000		
43 ~ 44	0.170		20.000	3.400	43 ~ 44		20.000		
44 ~ 41	0.170		10.000	1.700	44 ~ 41		10.000		
45 ~ 46	0.100		4.000	0.400	45 ~ 46		4.000		
46 ~ 47	0.100		3.000	0.300	46 ~ 47		3.000		
47 ~ 48	0.100		4.000	0.400	47 ~ 48		4.000		
48 ~ 45	0.100		3.000	0.300	48 ~ 45		3.000		
49 ~ 50	0.100		10.000	1.000	49 ~ 50		10.000		
50 ~ 51	0.100		2.000	0.200	50 ~ 51		2.000		
51 ~ 52	0.100		10.000	1.000	51 ~ 52		10.000		
52 ~ 49	0.100		2.000	0.200	52 ~ 49		2.000		

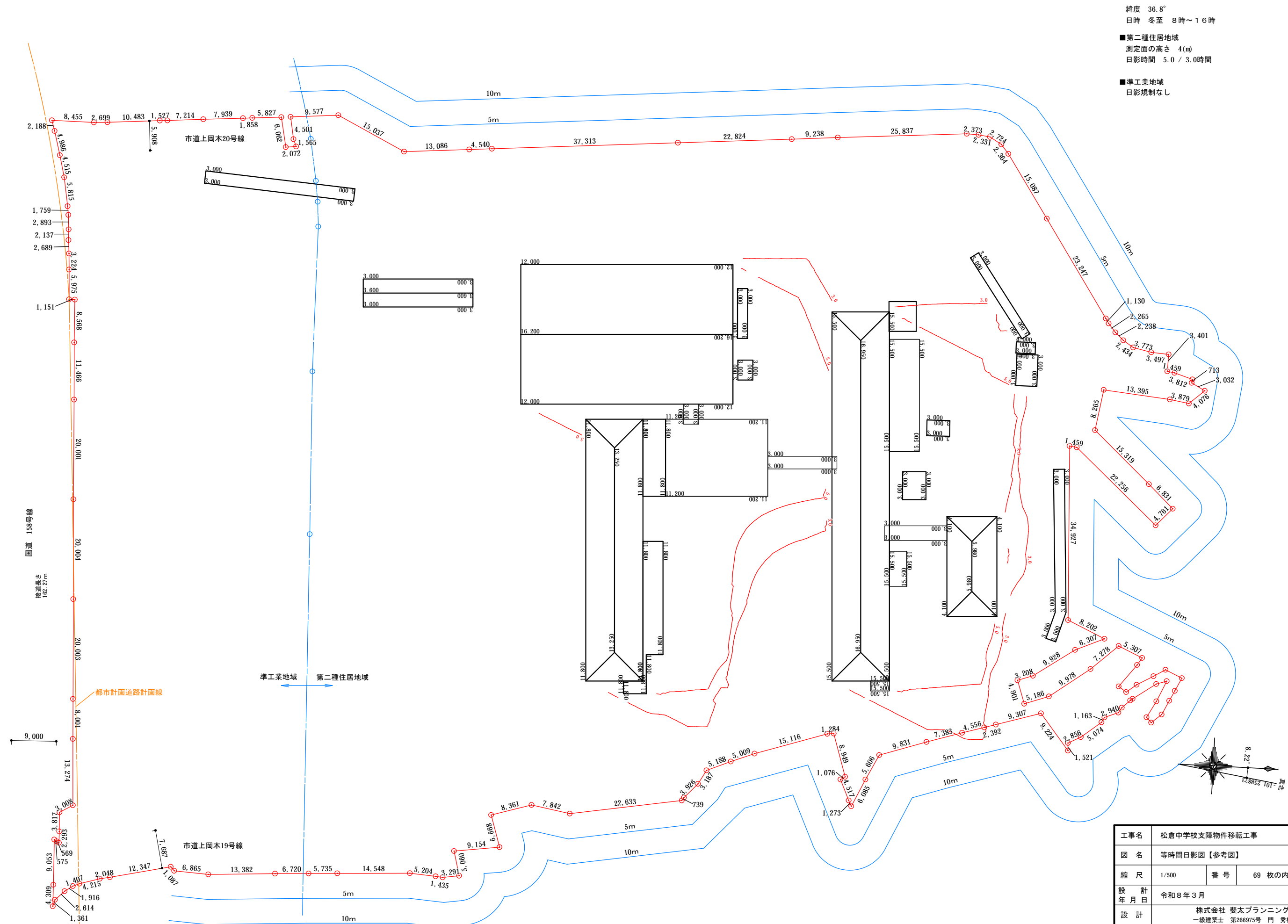
平均地盤高① 算定表					■延長算定				
	タテ①	タテ②	ヨコ	面積			長さ		
53 ~ 54	0.100		5.600	0.560	53 ~ 54		5.600		
54 ~ 55	0.100		4.700	0.470	54 ~ 55		4.700		
55 ~ 56	0.100		5.600	0.560	55 ~ 56		5.600		
56 ~ 53	0.100		4.700	0.470	56 ~ 53		4.700		
57 ~ 58	0.000		3.141	0.000	57 ~ 58		3.141		
58 ~ 59	0.000		4.579	0.000	58 ~ 59		4.579		
59 ~ 60	0.000		3.141	0.000	59 ~ 60		3.141		
60 ~ 57	0.000		4.579	0.000	60 ~ 57		4.579		
61 ~ 62	0.000		5.949	0.000	61 ~ 62		5.949		
62 ~ 63	0.000		5.351	0.000	62 ~ 63		5.351		
63 ~ 64	0.000		5.949	0.000	63 ~ 64		5.949		
64 ~ 61	0.000		5.351	0.000	64 ~ 61		5.351		
65 ~ 66	0.170		5.557	0.945	65 ~ 66		5.557		
66 ~ 67	0.170		28.619	4.865	66 ~ 67		28.619		
67 ~ 68	0.170		2.174	0.370	67 ~ 68		2.174		
68 ~ 69	0.170		28.652	4.871	68 ~ 69		28.652		
69 ~ 70	0.170		1.066	0.183	69 ~ 70		1.066		
70 ~ 65	0.170		2.054	0.349	70 ~ 65		2.054		
71 ~ 72	0.020		6.301	0.126	71 ~ 72		6.301		
72 ~ 73	0.020		4.233	0.085	72 ~ 73		4.233		
73 ~ 74	0.020		6.301	0.126	73 ~ 74		6.301		
74 ~ 71	0.020		4.233	0.085	74 ~ 71		4.233		
75 ~ 76	0.060		2.250	0.135	75 ~ 76		2.250		
76 ~ 77	0.060		3.866	0.232	76 ~ 77		3.866		
77 ~ 78	0.060		2.250	0.135	77 ~ 78		2.250		
78 ~ 75	0.060		3.866	0.232	78 ~ 75		3.866		
79 ~ 80	0.060		19.219	1.153	79 ~ 80		19.219		
80 ~ 81	0.060		1.898	0.114	80 ~ 81		1.898		
81 ~ 82	0.060		19.219	1.153	81 ~ 82		19.219		
82 ~ 79	0.060		1.898	0.114	82 ~ 79		1.898		
83 ~ 84	-0.500		2.500	-1.250	83 ~ 84		2.500		
84 ~ 85	-0.500		30.000	-15.000	84 ~ 85		30.000		
85 ~ 86	-0.500		2.500	-1.250	85 ~ 86		2.500		
86 ~ 83	-0.500		30.000	-15.000	86 ~ 83		30.000		
87 ~ 88	0.060		2.885	0.173	87 ~ 88		2.885		
88 ~ 89	0.060		1.992	0.120	88 ~ 89		1.992		
89 ~ 90	0.060		2.885	0.173	89 ~ 90		2.885		
90 ~ 87	0.060		1.992	0.120	90 ~ 87		1.992		
91 ~ 92	0.060		20.000	1.200	91 ~ 92		20.000		
92 ~ 93	0.060		3.600	0.216	92 ~ 93		3.600		
93 ~ 94	0.060		20.000	1.200	93 ~ 94		20.000		
94 ~ 91	0.060		3.600	0.216	94 ~ 91		3.600		
95 ~ 96	0.100		2.100	0.210	95 ~ 96		2.100		
96 ~ 97	0.100		12.687	1.269	96 ~ 97		12.687		
97 ~ 98	0.100		2.100	0.210	97 ~ 98		2.100		
98 ~ 95	0.100		12.687	1.269	98 ~ 95		12.687		
合計				57.474㎡	合計		1,022.923m		

■平均地盤高算定  
KBM±0 より算定  
  
57.474 ÷ 1,022.923 = KBM+ 0.06 m



工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	平均地盤高算定（日影図）【参考図】		
縮 尺	1/400	番 号	69 枚の内 A-054 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			





工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	等時間日影図【参考図】		
縮 尺	1/500	番 号	69 枚の内 A-056 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



A . 工 事 概 要

1 工事種目

◎ 印の付いたものが対象工事

建物別及び屋外 工事種別	工 事 種 別					
	棟	棟	棟			屋 外
● 電灯設備						
● 動力設備						
● 電気自動車用充電設備						
● 電熱設備						
● 雷保護設備						
● 受変電設備						
● 電力貯蔵設備						
● 発電設備						
● 構内情報通信網設備						
● 構内交換設備						
● 情報表示設備						
● 映像・音響設備						
● 拡声設備						
● 誘導支援設備						
● テレビ共同受信設備						
● 監視カメラ設備						
● 駐車場管制設備						
● 防犯・入退室管理設備						
● 火災報知設備						
● 中央監視制御設備						
◎ 構内配電線路						改修一式
● 構内通信線路						
● テレビ電波調査						

B. 工 事 仕 様 書	
1 一般仕様	<div>1）新設工事共通仕様書（A. 1 工事種目において新設・増設一式とあるもの） （1）特記仕様、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）及び公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）による。 （2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。 2）改修工事共通仕様書（A. 1 工事種目において改修・撤去一式とあるもの） （1）特記仕様、図面及び現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和7年版）及び公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和7年版）による。 （2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。 3）設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（1）～（5）の順番とおりとする。 （1）質問回答書 （2）現場説明書 （3）特記仕様 （4）図面 （5）標準仕様書及び標準図</div>
2 特記仕様	<div>1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2）特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものを適用する。 3）南海トラフ地震防災対策推進地域における工事にあっては、南海トラフ地震臨時情報が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。 上記事実が発生した場合は、契約書第27条（臨機の措置）の規定による。</div>

章	項 目	特 記 事 項
1. 一般共通事項	① 機材等	1）本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設工事材料、リサイクル製品及び特に指定したものは新品でなくともよい。また、これらの設備機材等は、監督員の承諾を受ける。 2）主要材料については、契約後、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。 3）設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等は、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。
	② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
	③ 材料搬入報告書の省略について	材料搬入報告書の作成対象は機器類のみとして、配管及び配線資材については報告書の作成を省略する。ただし、当該資材の使用に際しては、設計仕様への適合について事前に監督員の確認を受けることとする。
	④ 機器姿図	姿図の形状及び寸法は、概略を示す。
	⑤ 電気工事士	● 最大電力500kW以上の場合、第一種電気工事士により施工を行う。 ◎ 最大電力500kW未満の場合、第一種電気工事士又は認定電気工事従事者により施工を行う。
	⑥ 工事写真	本工事においては、「営繕工事写真撮影要領（令和5年改訂）」及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。
	7 施工計画書	● 工種別施工計画書 次の工種について作成し、監督員に提出する。 ● 受変電設備 ● 発電設備 ● 電力貯蔵設備
	8 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう管（P F管）及び付属品は、タイプ-25のものを使用する。なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打込み部分は金属製としても良い。ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。 また、ボックス類を外部に面した壁に打込む場合はボックスに保温・結露対策の処置を施すこと。
	9 薄鋼電線管	薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。
	⑩ 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上 P F 管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。
	⑪ 金属製電線管の塗装	次の露出配管は塗装を行う。 ◎ 屋 外 （ ） ● 屋 内 （ ）
	⑫ 保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。
	13 最上階の埋込配管	最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。
	14 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
	15 プレートの材質	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 ● 金属製（ステンレス・新金属製を含む） ● 樹脂製
	16 位置ボックス等	ケーブルころがし配線で送り配線端子のある場合は、照明器具、スピーカー、感知器の位置ボックスは、不要とする。
	⑬ E M－E E Fケーブルの仕様について	3心以上のE M－E E Fケーブルについて、1心を接地線として使用する場合は当該心線絶縁体の識別色が緑色である材料を使用すること。
	⑭ 地中配線の埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは0.6m以上とする。なお、地中配線には標識シート等（2倍長以上重ね）を設ける。
	⑮ 地中線の埋設標	構内線路における埋設標の材質及びその個数は、図面に記載のない場合は、次による。 ● 鉄製（ 箇所） ◎ コンクリート製（ 箇所）
	⑯ ハンドホールの鉄蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、鋳型流し込みで用途名を表示する。 ◎ 構内配電線路の用途名（ ◎ 電力 ● 高圧 ） ● 構内通信線路の用途名（ ● 通信 ● ） ● 共用する場合の用途名（ ● 電気 ● ）
	21 電力・電話等の引き込み	電力及び電話等引き込み線の引留方法、位置については電力会社及び電気通信事業者等と打合せのうえ監督員と協議により施工する。

工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	電気設備工事仕様書（１）		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-001 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

1.	一般共通事項
21	接地極
22	機器取付高さ
23	耐震措置

図面に特記なき場合は、次表の「接地極一覧表」による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格・数量		
・ 共同接地	E <sub>A・B・C・D</sub>	Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ 共同接地	E <sub>A・C・D</sub>	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ A 種	E <sub>A</sub>	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ B 種	E <sub>B</sub>	Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ C 種	E <sub>C</sub>	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ D 種	E <sub>D</sub>	Ω 以下	E B (D=10、L=1,000	または	W=30、L=900) × 1
● 漏電遮断器回路用	E L C B	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,000	または	W=30、L=900) × 1
・ 高圧避雷器	E <sub>L H</sub>	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ 交換装置用	E <sub>t</sub>	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ 通信用	E <sub>A t</sub>	1 0 Ω 以下	E B (D=14、L=1,500	または	W=40、L=1,200) × 3 連－2 組
・ 通信用	E <sub>D t</sub>	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,000	または	W=30、L=900) × 1
・ 電話引込口の保安器用	E <sub>D t</sub>	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,000	または	W=30、L=900) × 1
・ 測定用	E <sub>D</sub>	1 0 0 Ω 以下	E B (D=10、L=1,500	または	W=30、L=1,200) × 3 連－1 組
・ 構造体接地		Ω 以下			
・ 等電位接地		Ω 以下			

図面に特記なき場合は、次による。

名 称		測 点	取付高さ(mm)	名 称		測 点	取付高さ(mm)	
電力共通	積算計器	地 上～窓中心	1,800～2,000	出退表示	情報表示盤	床 上～中 心	天井高×0.9	
	引込開閉器	地 上～中 心	1,800～2,200		壁付発信機	床 上～中 心	1,300	
					ベル・ブザー・チャイム	床 上～中 心	2,300	
電灯	分電盤	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)	誘導支援	壁付押釦 (一般)	床 上～中 心	1,300	
	スイッチ	床 上～中 心	1,300					
	スイッチ (自動扉)	床 上～中 心	1,800		壁付インターホン (一般)	床 上～中 心	1,300	
	スイッチ (人感センサ)	床 上～中 心	1,800		〃 (身体障害者)	床 上～中 心	1,100	
					壁付アウトレット (一般)	床 上～中 心	300	
	コンセント	(一般)	床 上～中 心	300	壁付アウトレット (和室)	床 上～中 心	150	
		(和室)	床 上～中 心	150	呼出釦 (多目的便所)	床 上～中 心	900	
		(台上)	台 上～中 心	150～ 200	復帰釦	床 上～中 心	1,500～1,800	
		(土間)	床 上～中 心	500				
	ブラケット	(外壁・屋外)	地 上～中 心	800	機器収容箱	天井下～上 端	200	
力	(一般)	床 上～中 心	2,100～2,300	直列ユニット (一般)	床 上～中 心	300		
	(踊場)	床 上～中 心	2,000～2,500	直列ユニット (和室)	床 上～中 心	150		
	(鏡上)	鏡上端～中 心	150					
動力	壁掛形制御盤	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)	テレビ受信				
	手元開閉器	床 上～中 心	1,500					
	制御スイッチ	床 上～中 心	1,300		受信機・副受信機	床 上～中 心	800～1,500	
構内交換	室内端子盤	床 上～下 端	300	火災報知	機器収容箱・発信機	床 上～中 心	800～1,500	
	集合保安器箱	天井下～上 端	200		警報ベル	床 上～中 心	2,300	
	壁付電話機	床 上～中 心	1,300		表示灯	床 上～中 心	2,100	
アウトレット	(一般)	床 上～中 心	300	備考	ガス用検知器 (LPG)	床 上～上 端	300	
	(和室)	床 上～中 心	150		注) 1) 天井高3,000以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。 2) 意匠に関する部分 (正面玄関・玄関ホール・EVホール・上級室・会議室) の取付位置は、監督員と協議すること。 3) 表記は原則とし、施工前に監督員の承諾を受ける。			
		床 上～中 心						
時計	壁掛形親時計	床 上～中 心	1,500 (上端1,900以下)					
拡声	子時計	床 上～中 心	天井高×0.9					
	壁掛形スピーカ	床 上～中 心	天井高×0.9					
	壁付アッテネータ	床 上～中 心	1,300					

設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種類、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、点灯、破損等が生じないようにする。

1) 設計用水平地震力は機器重量に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。  
なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は次の表による。

<施設区分>      ・ 特定の施設                      ・ 一般の施設

<重要機器>      ・ 配電盤                                  ・ 発電装置 (防災用)                      ・ 交流無停電電源装置                      ・ 直流電源装置

・ 交換装置                                  ・ 中央監視制御装置                      ・ 自動火災報知受信機                      ・ 総合盤

・ 放送架    ・    ・    ・

<上層階の定義>      2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階

<中層階の定義>      地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

1.	一般共通事項
24	天井仕上区分
25	その他
2.	電力・受変電・発電
1	照明制御 総合動作試験
2	照度測定
3	発電機回路
4	自家発電設備の 配管工事等
5	電動機等の接地
6	分電盤等
7	〇A盤・端子盤
8	インバータ装置の 規約効率
9	低圧配電盤
10	設備機器容量等
11	ケーブルの種類

局部震度法による建築設備機器の設計用標準水平震度				
設置場所	特定の施設 (甲類・乙類)		一般施設 (乙類)	
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階、 屋上及び塔屋	2. 0 (2. 0) 〈2. 0〉	1. 5 (2. 0) 〈1. 5〉	1. 5 (2. 0) 〈1. 5〉	1. 0 (1. 5) 〈1. 0〉
中間階	1. 5 (1. 5) 〈1. 5〉	1. 0 (1. 5) 〈1. 0〉	1. 0 (1. 5) 〈1. 0〉	0. 6 (1. 0) 〈0. 6〉
地下、1階	1. 0 (1. 0) 〈1. 5〉	0. 6 (1. 0) 〈1. 0〉	0. 6 (1. 0) 〈1. 0〉	0. 4 (0. 6) 〈0. 6〉

(注) ( ) 内数値は防振支持の機器に適用する。  
( ) 内数値は水槽類に適用する。

2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

( ) 書き、または△を頭に付した室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

1) 本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。

2) 本工事において、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は岐阜県内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、調達する工事材料は岐阜県産とするよう努めること。

3) ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について

(1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。

(2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には、協力すること。

4) コンセントプレート、中継ボックス及び〇Aフロアー内ハーネスジョイントボックスには、行先分電盤名、回路名を表示すること。

5) キュービクル及び各分電盤には幹線系統図を作成し、各々に添付すること。

照明制御の総合動作試験は次に示す事項について行い、監督員に試験成績書を提出し承諾を受けること。

- 目標照度設定のための各調光センサー（夜間及び日中）
- 在不在制御機能の動作及び動作時間設定のための調光人感センサー
- タイムスケジュール制御における点滅及び調光制御の動作確認
- 外光センサーによる点滅及び調光制御のための動作確認

注) 上記試験項目は全数確認とする。

一般照明の照度測定を（ ）箇所測定し、監督員に報告する。なお、測定場所は、監督員との協議による。

発電機回路に接続されるコンセントは、回路種別が識別できるものとする。なお、特記なき場合、自家発電装置に接続する回路は原則として赤色コンセントとする。また、発電機回路用ケーブルの被覆も色分けすること。

原動機・発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線は監督員の承諾を受けて多少相連しても差し支えない。

金属管配管において、電動機容量7.5kw以下は金属管を接地線とする。

本工事の分電盤、〇A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1：付属書JC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P1E、200V2P2E）とする。

また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：附属書JC（参考）「電灯分電盤協約形回路遮断器」によるものとし、特記なき場合、JIS協約形の1Pサイズ（100V2P2E）とする。

〇A盤の端子盤部及び端子盤には、換気口を設けるものとする。

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力(kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30	37	45
規約効率(%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5

低圧配電盤に用いる配線用遮断器は埋込型（フラッシュプレートタイプ）とする。

本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相連する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督員と協議し、指示を受けること。

EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」によるものとし、次による。

呼称（図示記号）	種 類
6kv EM-CE (EE)	6600V 架橋ポリエチエレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（6600V CE/F (EE)）
6kv EM-CET (EE)	6600V トリプレックス形架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（6600V CET/F (EE)）

工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	電気設備工事仕様書（２）		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-002 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

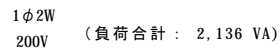


3 ・ 通 信 ・ 情 報	1	ケーブル	EM-CPEEケーブルは、EM-FCPEEを使用しても良い。 EM-UTPケーブルは、使用用途が判別できるようシース色等を変えること。
	2	非常放送用スピーカ	1W ( L級 M級 S級 ) 3W ( L級 M級 S級 )
	3	電界強度の測定	最上階フロアのコンクリート打設前に、受信電波の電界強度測定を1ヶ所以上行うこと。 また、その報告書を監督員まで提出すること。
	4	① 施 工 調 査	下記によるほか、改修工事標準仕様書による。 事前調査 調査項目 ( ● 既存資料調査 ● 既存配線ルート ・ ) 調査範囲 ( ・ 図示 ● 工事範囲 ・ ) 調査方法 ( ・ 図示 ● 目視 ・ )
		2 仮 設 備	仮設備項目 ( ・ 受変電 ・ 発電 ) 仮設備期間 ( ・ 図示 ・ ヶ月 )
		③ 養 生	既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編第1章による。 養生範囲 ( ) 養生方法 ( )
		④ 発生材の処理	・ 引き渡しを要するもの ( ・ 再使用可能な撤去機器類 ) ● PCB含有調査を要するもの ( ● 照明器具 ・ 変圧器 ) ● 再生資源化を図るもの ( ● 蛍光灯 ・ 白熱灯、HID灯 ● 金属類 ● 梱包材 ) ・ 石綿含有品 ( ・ ・ ・ ) ※照明器具安定器にPCBが使用されている場合は、安定器を本体より分離し金属箱等に収納し表示を付けて建物管理者に引き渡す。
		5 は つ り	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
		⑥ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後、取付ける。ただし、絶縁劣化等使用に耐えない場合は、監督員に報告する。
		⑦ 既設との取り扱い	本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。


工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	電気設備工事仕様書（3）		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-003 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

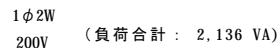
## 分電盤結線図(1)

	A 柱 開閉器 設置場所: 屋外照明柱	型式: 屋外用露出壁掛型(コンクリート柱に取付)、SUS製、鍵付 ※コンクリート柱取付用金物とも
---	---------------------	---

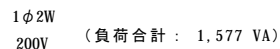


回路	電圧 (V)	容 量 (VA)	開 閉 器 容 量	負 荷 名 称
①	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)
②	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)
③	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)
④	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)


	B 柱 開閉器 設置場所: 屋外照明柱	型式: 屋外用露出壁掛型(コンクリート柱に取付)、SUS製、鍵付 ※コンクリート柱取付用金物とも
---	---------------------	---

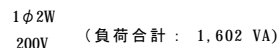


回路	電圧 (V)	容量 (VA)	開閉器容量	負荷名称
①	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)
②	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)
③	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)
④	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器 (2灯)



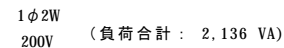
回路	電圧 (V)	容量 (VA)	開閉器容量	負荷名称
5	200	77	MCCB 2P 50AF/ 20AT	電撃殺虫器
6	200	1,500	MCCB 2P 50AF/ 20AT	B柱コンセント

	H 柱 開閉器盤	設置場所：屋外照明柱	型式：屋外用露出壁掛型(コンクリート柱に取付)、SUS製、鍵付 ※コンクリート柱取付用金物とも
---	----------	------------	--

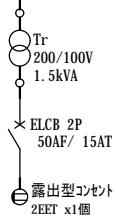


回路	電圧 (V)	容量 (VA)	開閉器容量	負荷名称
①	200	534	MCC 2P 50AF 20AT	LED投光器(2灯)
②	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器(2灯)
③	200	534	MCC 2P 50AF/ 20AT	LED投光器(2灯)










	B 柱 コンセント盤	設置場所: 屋外照明柱	型式: 屋外用露出壁掛型(コンクリート柱に取付)、SUS製、鍵付 ※コンクリート柱取付用金物とも
---	------------	-------------	---



回路	電圧 (V)	容 量 (VA)	開 閉 器 容 量	負 荷 名 称
①	200	1, 000	MCB 2P 50AF/ 20AT	単相変圧器 (コンセント)



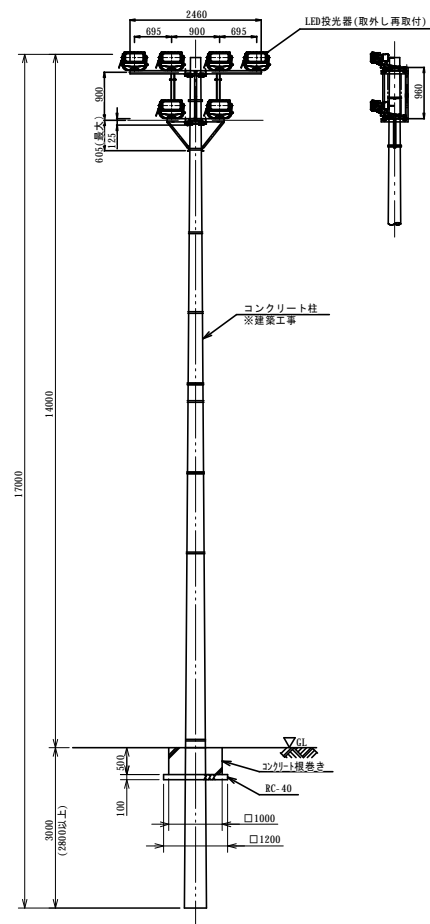
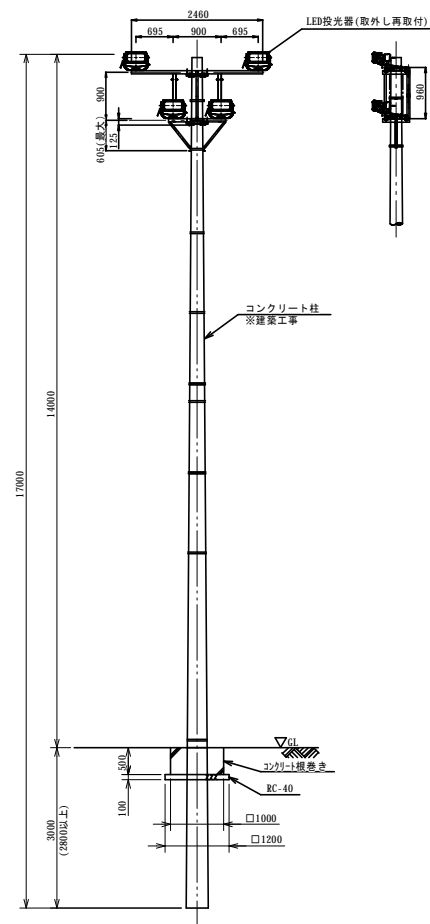
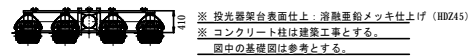
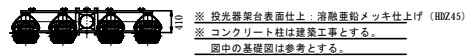
凡 例

記 号	名 称	仕 様	備 考
	ゲラント照明操作盤	既設	
	開閉器盤	既設及び、新設（分電盤結線図参照）	
	コンテンツ盤	新設（分電盤結線図参照）	
	LED投光器	既設器具	
	ハンドホール	平面図注記を参照	
	電 柱	建築工事	
	回路番号	1φ2W 100V	MCCB・ELCB
	回路番号	1φ2W 200V	MCCB・ELCB
	回路番号	3φ3W 200V	MCCB・ELCB

工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	凡例、開閉器盤結線図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-004 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

照明器具 (架台) 姿図 (参考図)

	電力柱取付ﾊﾞﾝﾄﾞ (個)	2 灯用投光器台 (個)	4 灯用投光器台 (個)	投光器台ﾊﾞﾝﾄﾞ (個)	上下ｷﾞﾀﾞ (個)	斜めｷﾞﾀﾞ (組)	補助上下ｷﾞﾀﾞ (個)	備 考
4 灯用(最大 6 灯用)	1	1	1	2	3	1	1	
6 灯用	1	1	1	2	3	1	1	



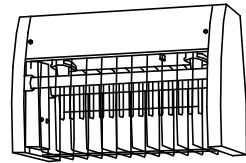
#### 4 灯用照明柱姿图

### 6 灯用照明柱姿图

A

電撃殺虫器 (FL20 W x2) 屋外用

- ・ 本体：ステンレス
- ・ コンクリート柱取付金物とも
- ・ 落下防止ワイヤー付



工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	照明器具姿図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-005 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975 門 秀樹		
高 山 市			

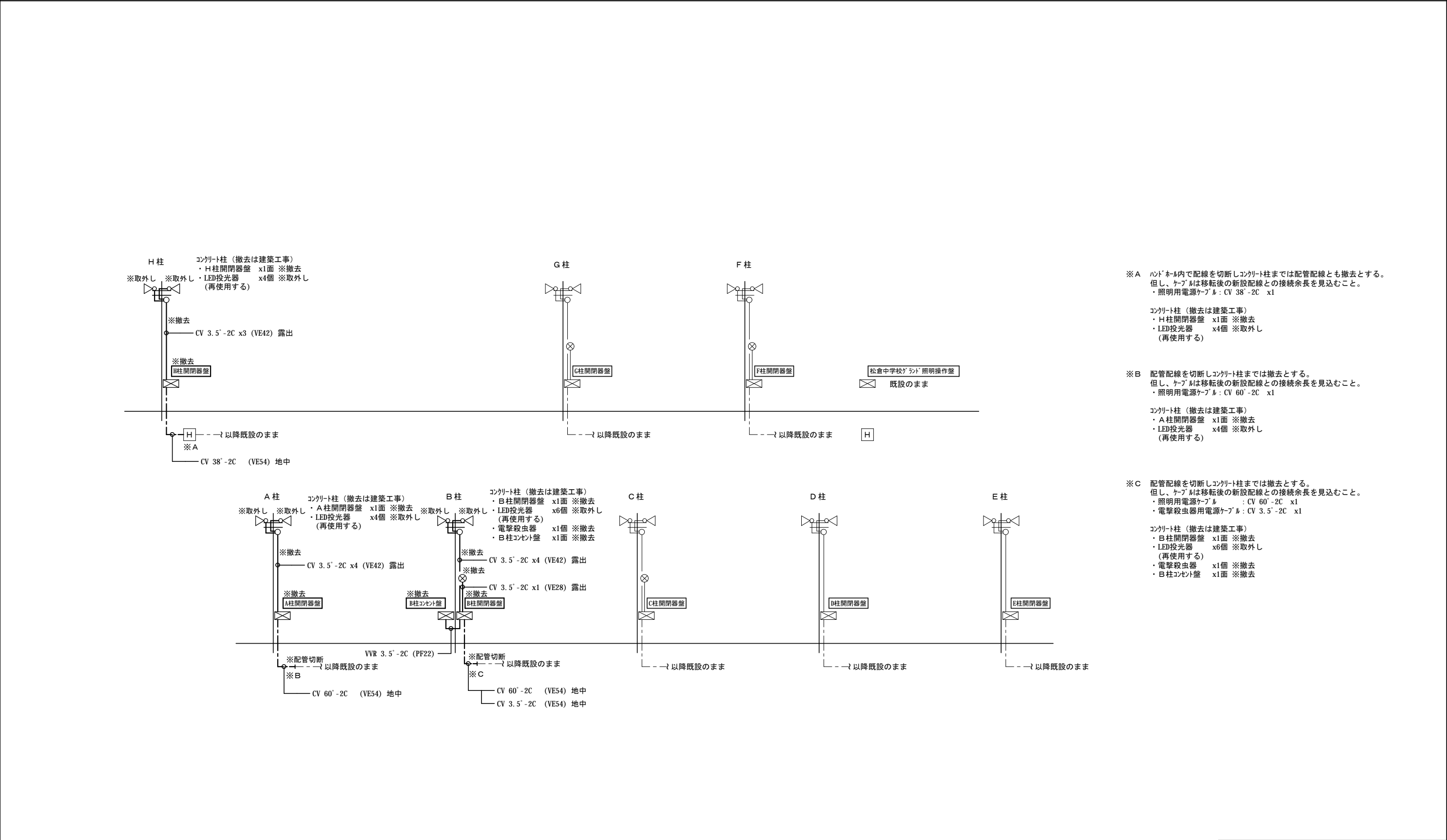
名 姓	照明器具姿図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-005 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹		
高 山 市			

縮 尺	—	番 号	69 枚の内 E-005 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹		
高 山 市			

設 計 年 月 日	令和8年3月
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹
高 山 市	

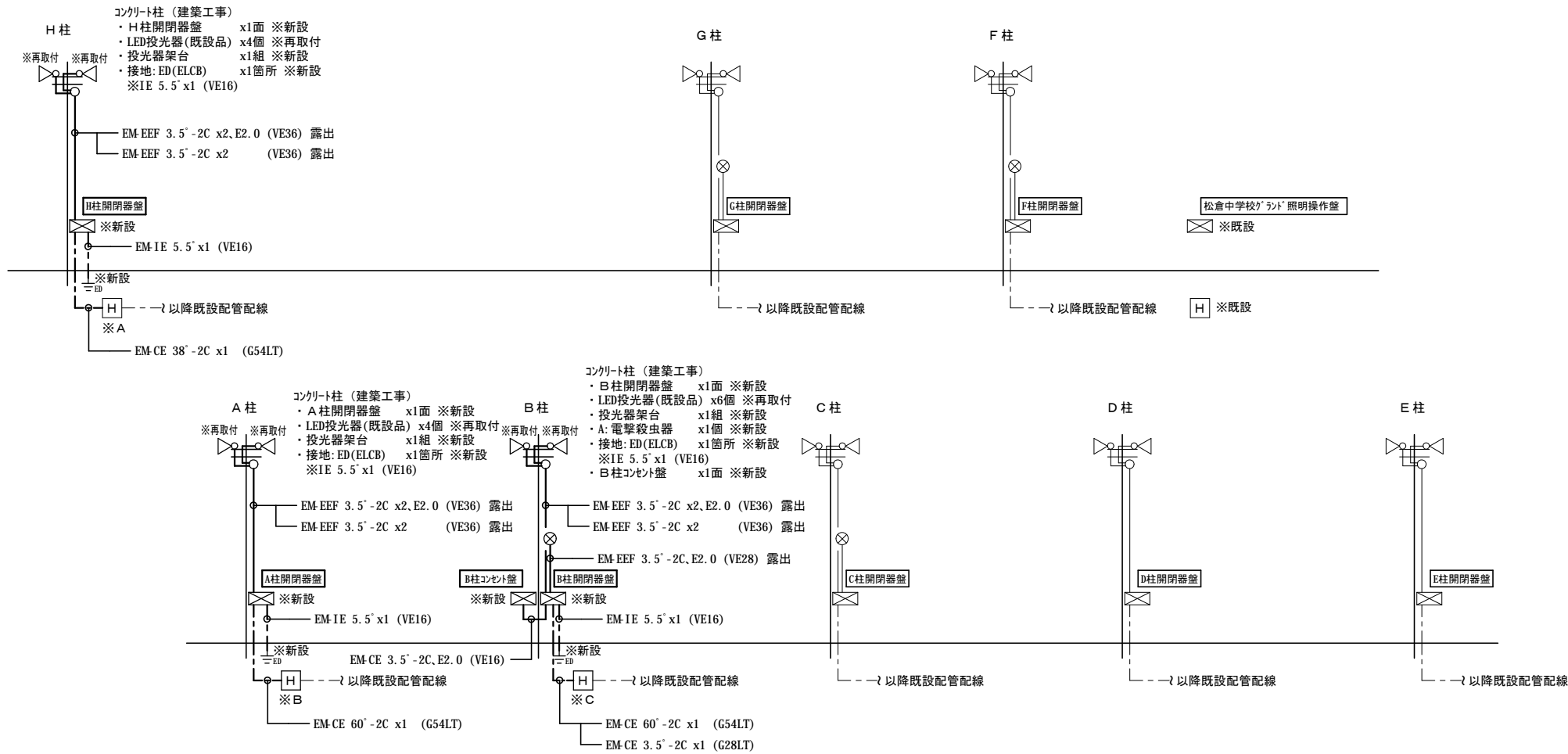
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹
高 山 市	

高 山 市

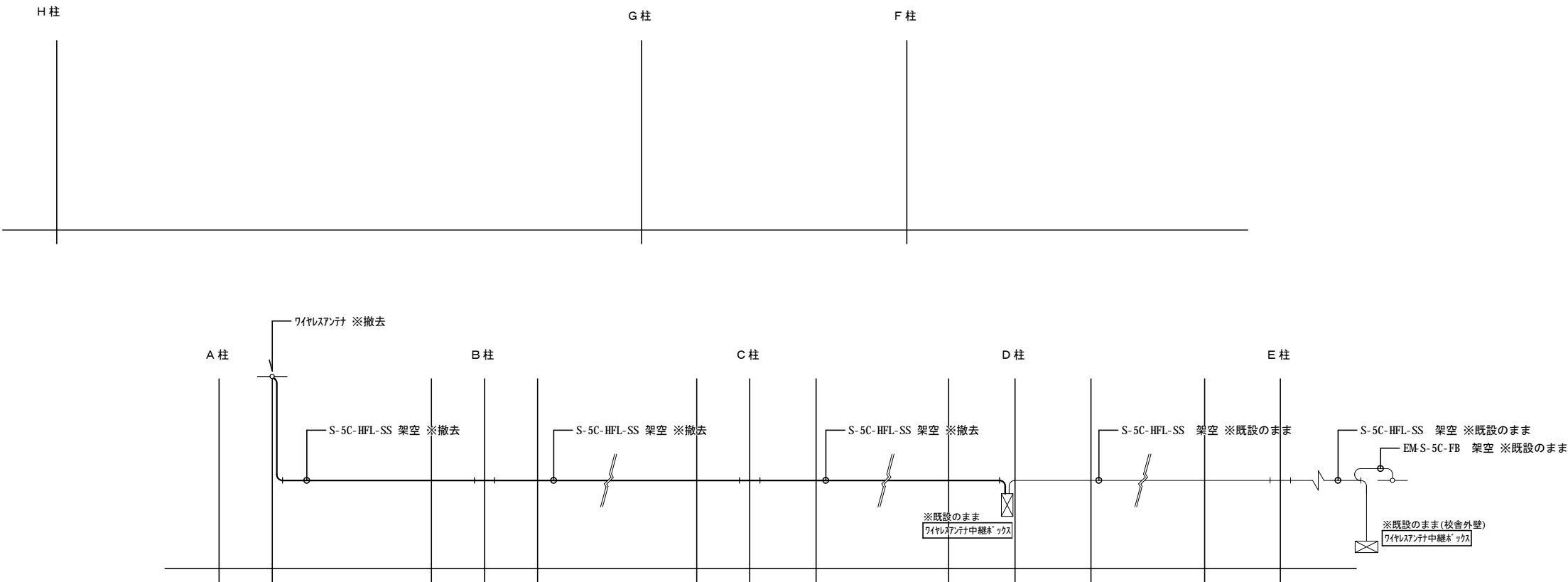


- |  |              |                                      |     |                |
|--|--------------|--------------------------------------|-----|----------------|
|  | 工 事 名        | 松倉中学校支障物件移転工事                        |     |                |
|  | 図 名          | (現況) 構内配電線路 系統図                      |     |                |
|  | 縮 尺          | －                                    | 番 号 | 69 枚の内 E-006 号 |
|  | 設 計<br>年 月 日 | 令和 8 年 3 月                           |     |                |
|  | 設 計          | 株式会社 斐太プランニング<br>一級建築士 第266975号 門 秀樹 |     |                |
|  | 高 山 市        |                                      |     |                |

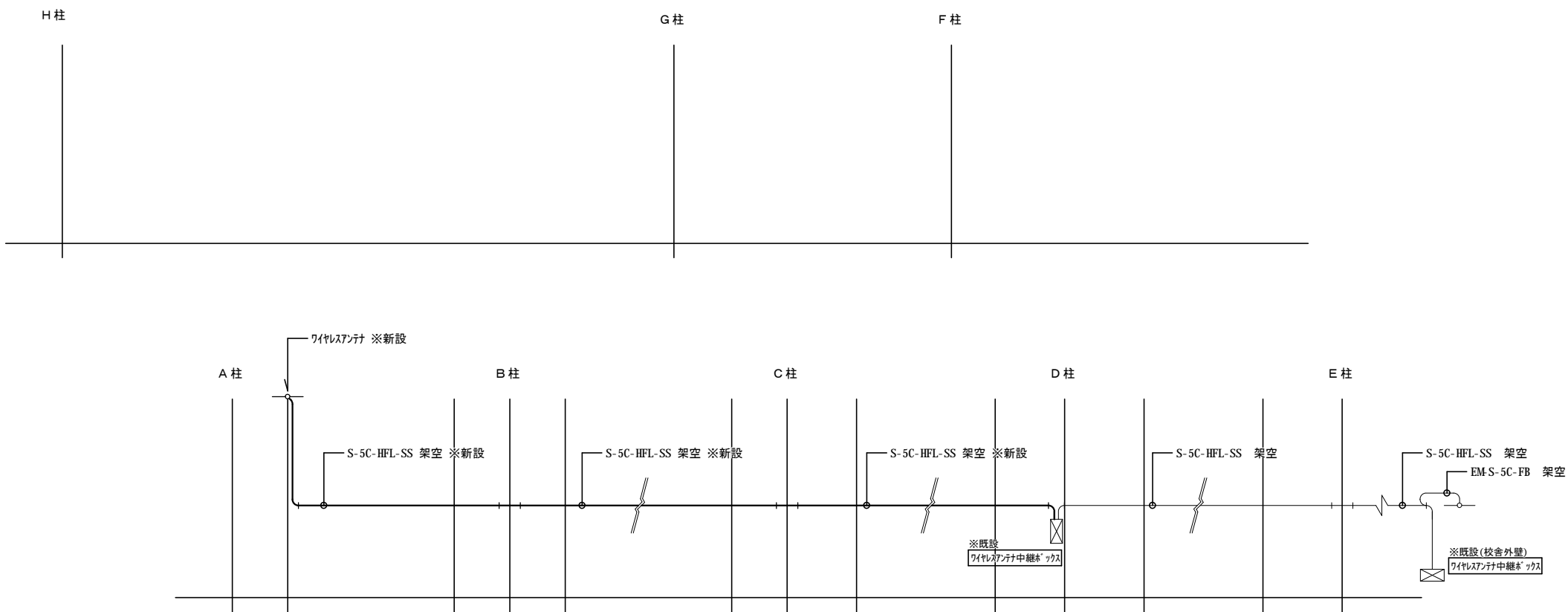
工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	(現況) 構内配電線路 系統図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-006 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【移転後】構内配電線路 系統図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-007 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

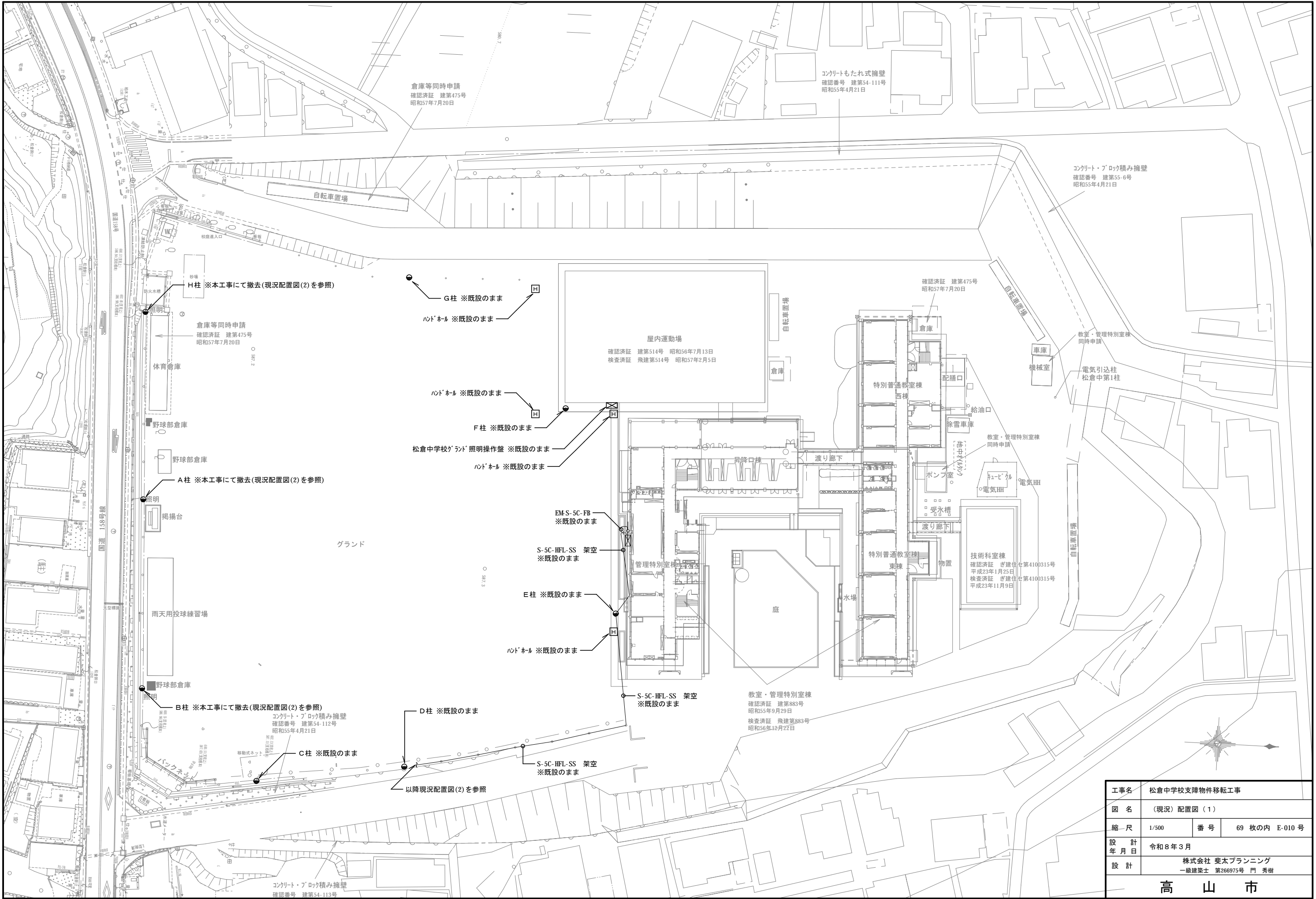


工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	(現況) 構内通信線路 系統図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-008 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

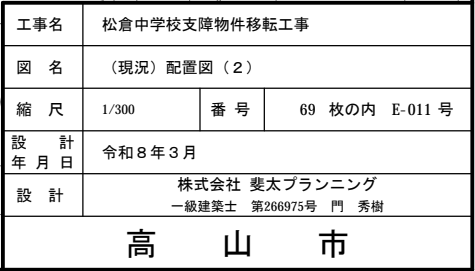


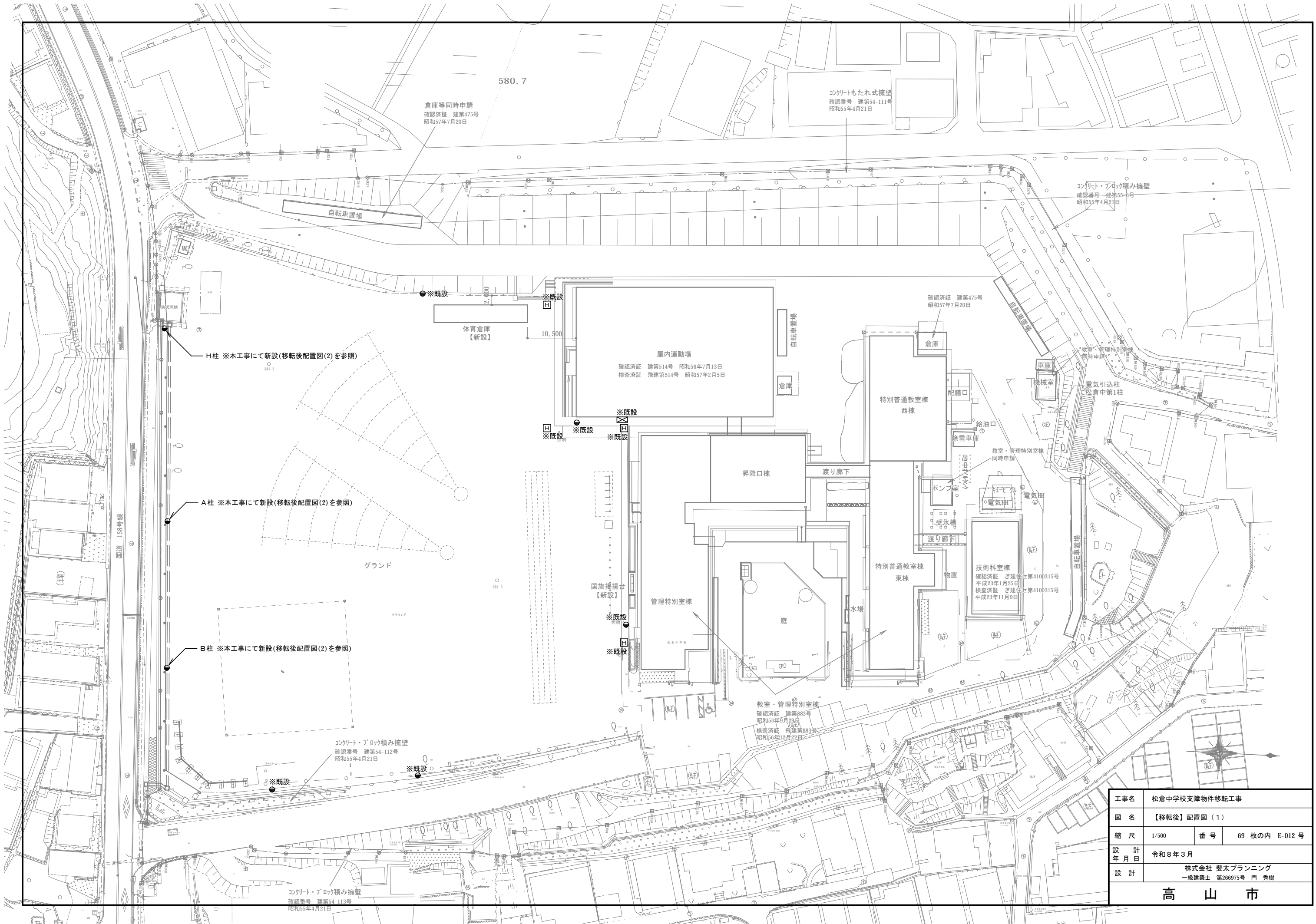
工 事 名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【移転後】構内通信線路 系統図		
縮 尺	－	番 号	69 枚の内 E-009 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



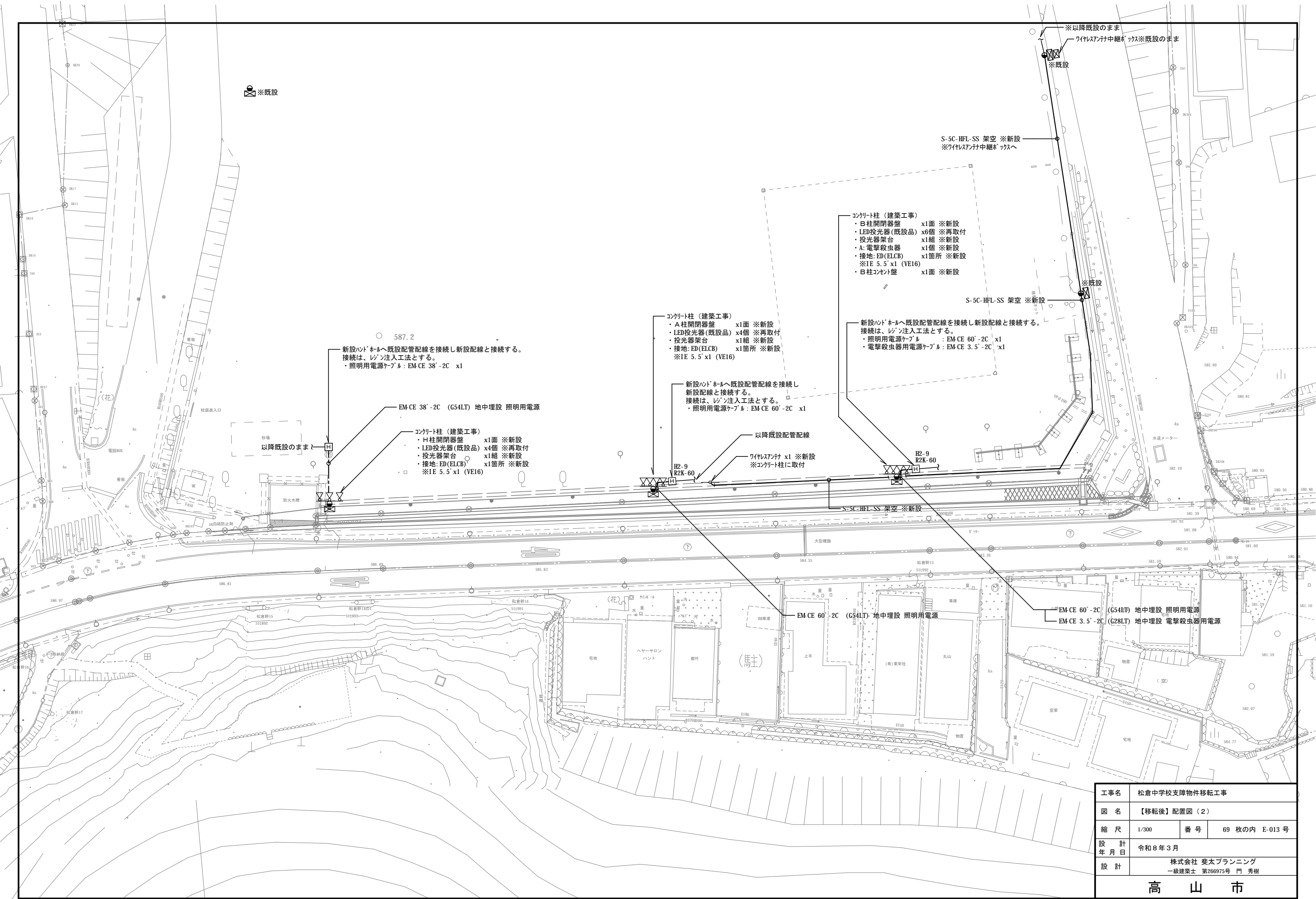


工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	(現況)配置図 ( 1 )		
縮一尺	1/500	番 号	69 枚の内 E-010 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			



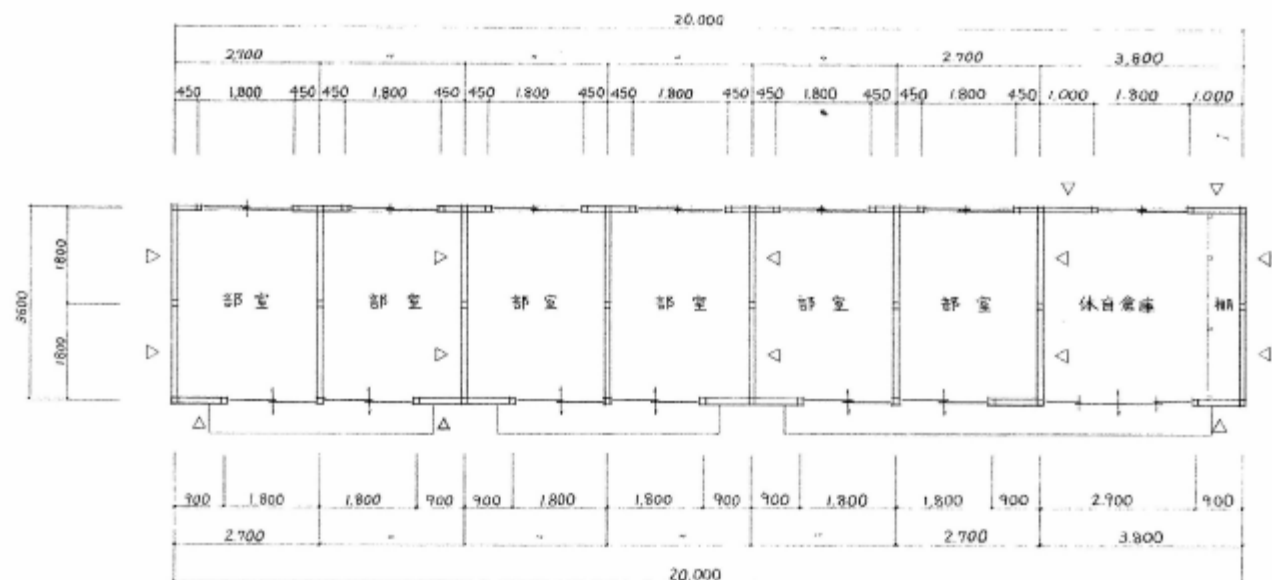


工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【移転後】配置図（１）		
縮 尺	1/500	番 号	69 枚の内 E-012 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第268975号 門 秀樹		
高 山 市			

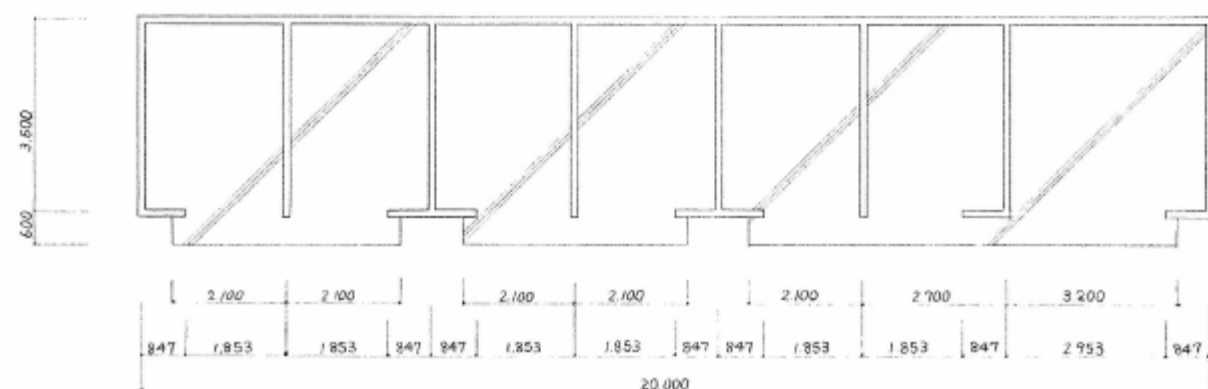


工事名	松倉中学校支障物件移転工事		
図 名	【移転後】配置図（2）		
縮 尺	1/300	番 号	69 枚の内 E-013 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	株式会社 斐太プランニング 一級建築士 第266975号 門 秀樹		
高 山 市			

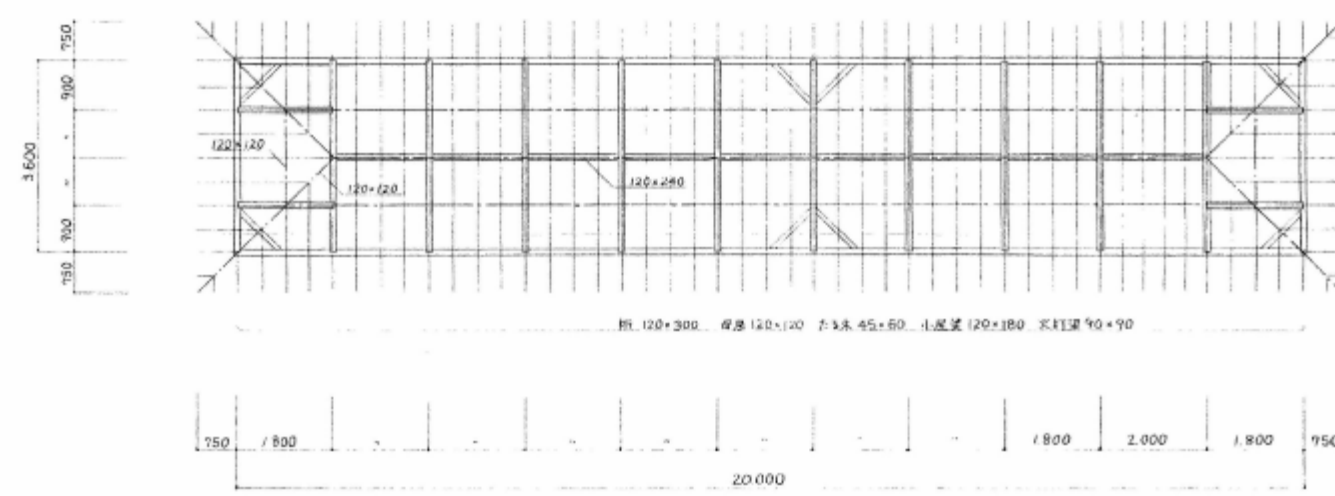




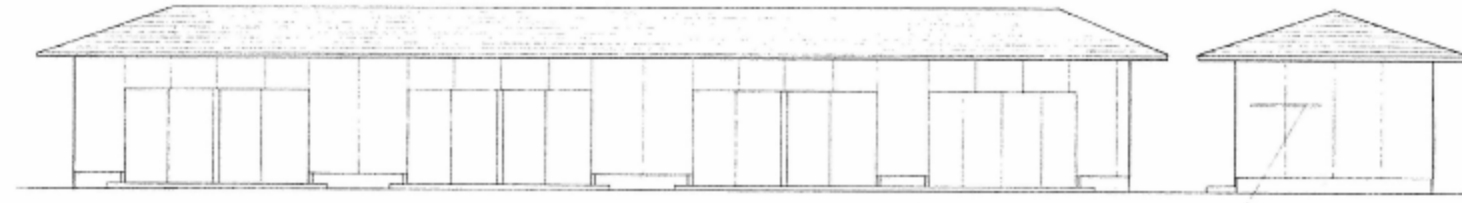
平面図 1/100



基礎伏図



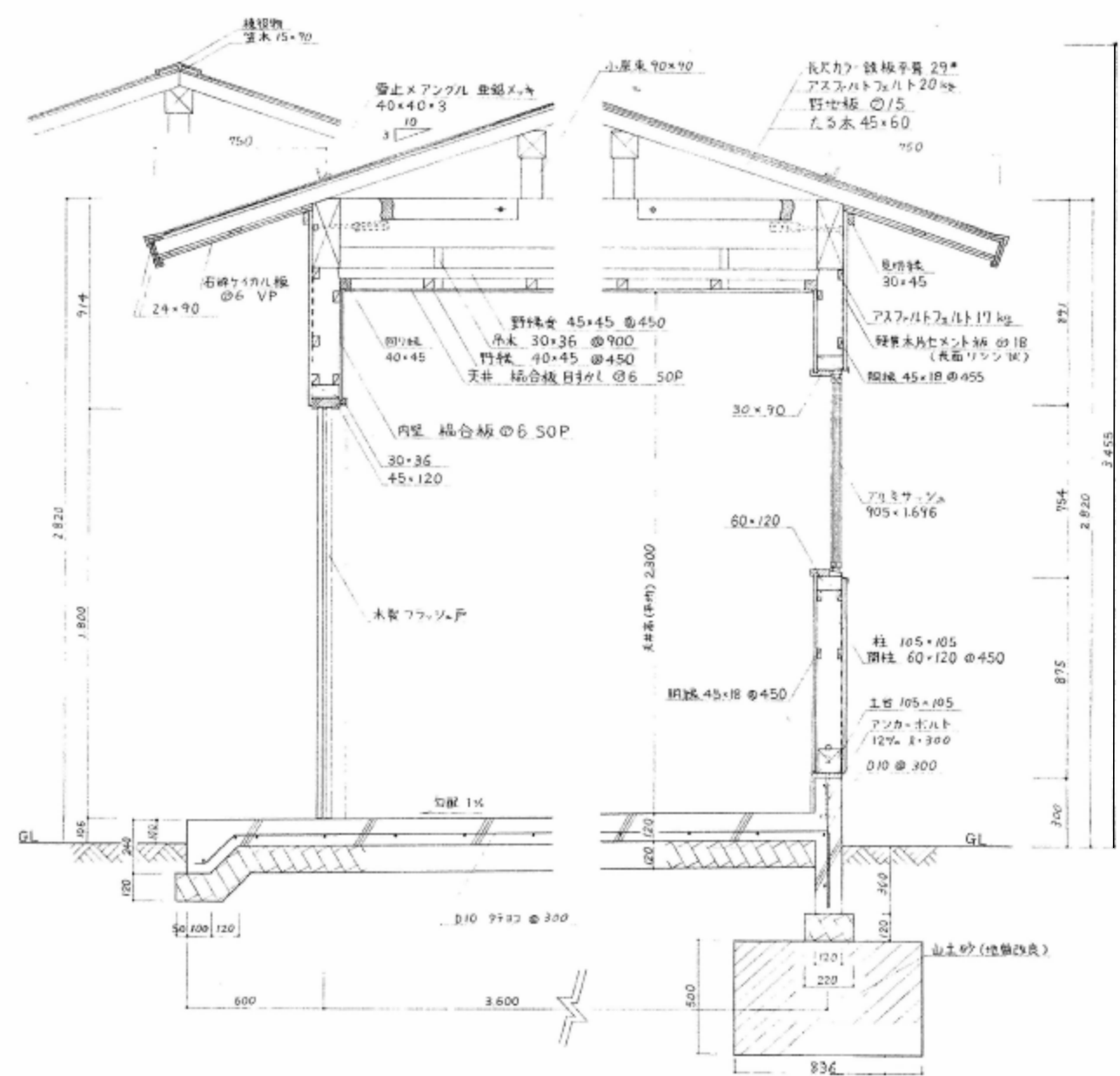
小屋伏図



北側立面図

西側立面図

◇ 筋違 45×120



断面図 1/20